

令和元年12月記者懇談会

日時 令和元年12月25日(水)

午前10時30分

場所 政策会議室

1 市長あいさつ

- 2 市政記者クラブからの質問事項 (幹事社 中日)
(時事通信社) 市政、今年一年の総括と、来年の抱負・予定

3 市からの発表事項

- (1) 新城市公共施設の「これから」を考えるシンポジウム及び
ワークショップの開催について (資産管理室)
- (2) 新城市重大ニュースについて (秘書人事課)
- (3) 市長マニフェスト進捗状況中間報告について (企画政策課)
- (4) 第12回ニューキャッスル・アライアンス会議 in スイス
におけるユースの募集について (企画政策課)
- (5) 第12回ニューキャッスル・アライアンス会議記念市民スイスツアー募集について
(企画政策課)
- (6) 第2次新城市環境基本計画(案)のパブリックコメントの実施について
(環境政策課)

4 その他

資料提供・情報提供

- (1) 新城市福祉円卓会議中間報告について (福祉課)

5 行事予定表

次回開催日 1月24日(金) 午前10時30分

議員定例報告会資料

(新城市)

提出日	令和元年12月25日	
担当課・室	総務部 財政課 資産管理室	
担当職・氏名	室長	柴田和幸
連絡先(電話)	(0536) 23-7614	
連絡先(FAX)	(0536) 23-2002	
連絡先(Eメール)	shisan@city.shinshiro.lg.jp	

件名	新城市公共施設の「これから」を考えるシンポジウム及びワークショップの開催について
----	--

内容

市の公共施設の状況及び問題点等について、市民及び議会との情報共有を図り、意見交換を通じて多様な意見を効果的に新城市公共施設個別施設計画（仮称）に反映するため、標題のシンポジウム及びワークショップを下記日程で開催します。

市は、平成29年3月に新城市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を策定しており、この計画に基づく方針により施設の統廃合を推進し、中長期的な維持管理費用の縮減を図るため、実行計画となる新城市公共施設個別施設計画（仮称。以下「個別施設計画」という。）を令和2年度までに策定することとしています。

個別施設計画の策定にあたっては、既存施設をどのように活用していくかを議論し、将来にわたり持続可能な都市を形成するための、より適切な対策・手法を講じていくことが必要であると考え、公共施設それぞれの個別の視点で検討するのではなく、“市全体の施設のあり方”を検討するため、多くの皆様の御意見をいただきたいと思い、下記のとおりシンポジウムとワークショップを開催します。

記

1 日時

令和2年1月13日（月・祝）

午後1時30分から午後4時30分まで（開場午後1時）

2 場所

新城文化会館3階 大会議室

3 参加者

地域協議会委員、議員など100名程度を予定

新城市公共施設の「これから」を考えるシンポジウム・ワークショップについて

○第1部 シンポジウム

テーマ

これまでの市の取り組みと将来的な公共施設の再配置を見据えた「厳しい」施設配置基準の説明・周知。

- 13:30 あいさつ
新城市長
- 13:45 新城市のこれまでの取組と公共施設配置基準の公表
新城市職員
- 14:05 公共施設を取り巻く現状について
講師はランドブレイン株式会社（コンサルタント）所属
認定ファシリティマネージャー
- 14:30 第二部の案内及び閉会の挨拶
- 14:30 閉会

○第2部 ワークショップ

テーマ

第1部で説明した施設配置基準について、地域の実情や特性を十分に把握した上で再編計画を策定するため、市内各地区における公共施設の整理、各地域に必要な公共施設は何か、また、代替の可能性やその他課題について、市民の意見を整理する。

- 14:45 ワークショップ実施
- 16:20 各テーブルの発表
- 16:30 次回開催の案内、閉会

報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和 元年 1 2 月 2 5 日	
担当課・室	秘書人事課	
担当職・氏名	参事	豊田 比呂子
連絡先（電話）	(0536) 23-7623	
連絡先（FAX）	(0536) 23-2002	
（メールアドレス）	info@city.shinshiro.lg.jp	

件名	平成31年・令和元年 新城市重大ニュースについて
----	--------------------------

内容

市長が選ぶ本市の重大ニュースを発表します。

平成31年・令和元年 新城市重大ニュース

タイトル	備考
第2次新城市総合計画 始まる	2月2日 パブリックコメント募集 3月8日 審議会から答申 3月22日 3月定例会で基本構想可決 4月1日 第2次新城市総合計画スタート
高速道路整備進む	3月2日 三遠南信道路 東栄-佐久間川合IC間開通 8月29日 三遠南信道路3号トンネル貫通 9月27日 東名高速道路スマートインターチェンジが国の直轄調査に 11月26日 東名・豊橋新城スマートIC 準備会の初会合
作手地区で デマンド型バス始まる	10月1日 Sバスつくであしがる線のデマンド型区域運行を開始
新城駅周辺 整備始まる	4月1日～ バリアフリー化の寄付金募る 7月1日 新城駅自転車駐車場供用開始
木質バイオマスボイラー 本格始動	11月1日 湯谷温泉加温配湯施設で木質バイオマスボイラー本格始動
災害支援の連携進む	1月11日 ルートインジャパンと包括連携協定 2月2日 コープあいち新城センターと災害時支援協力協定を再び 3月24日 東愛知生コンクリート協同組合と新城市・設楽町・東栄町・豊根村災害支援に関する協定 5月24日 みかわドローン協会と災害支援協定 9月30日 システムハウスアールアンドシー新城工場と災害時にユニットハウスなど設置に関する協定 10月24日 豊鉄バス株式会社と災害時における支援活動に関する協定
ニューキャッスル・アライア ンス絆深まる	1月25日 ニイボーク市の若者議会とスカイブ交流 5月9日 ニューキャッスル・アライアンスが第13回自治体国際交流表彰の総務大臣賞を受賞 7月2日～6日 マレーシア・コタバル市のジャパンフェスに参加 9月2日 Slack(既存アプリ)を活用した教育交流の仕組み整う 8月19日～26日 イギリス・ニューカッスル市に市内の高校生を派遣 10月～ イギリス・ニューカッスル市から協賛企業へインターンシップ招く (ビジネス交流実現)
新城有教館高校始まる	4月9日 新生240人を迎え入学式
宇連ダム漏水 34年ぶりに湖底露出	4月12日 5%節水 4月23日 10%節水 4月26日 15%節水 5月18日 貯水率0.1% 5月19日 貯水率ゼロ 5月23日 貯水率14.8%に回復し節水緩和(10%節水) 6月18日 節水全面解除
受賞等 おめでとうございます	1月18日 千郷中がキャリア教育の積極的取り組み評価され文部科学大臣賞受賞 5月21日 今村勉さん(杉山区)が旭日単光章受賞 5月21日 原田鈴子(東新町)さんが旭日双光章受賞 6月28日 竹川佳克さん(東新町区)がパワーリフティングで世界大会4位 9月20日 新城市名誉市民 山本芳央さん 9月24日 新城小学校4年 夏目玲菜さんが、カラテドリームフェスティバル2019全国大会で準優勝 11月4日 新城小学校4年 夏目玲菜さんが、第13回JKJO全国ジュニア空手道選手権大会で準優勝 11月11日 新城東陽小学校2年下山翼さんが、2019年度明るい選挙啓発ポスターコンクールで文部科学大臣・総務大臣賞を受賞 12月3日 鞍掛山麓千枚田保存会が農林水産省主催「ディスカバー農村漁村の宝」に選出

報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和元年12月25日	
担当課・室	企画部 企画政策課	
担当職・氏名	課長	杉浦 達也
連絡先（電話）	(0536) 23-7620	
連絡先（FAX）	(0536) 23-2002	
（メールアドレス）	kikaku@city.shinshiro.lg.jp	

件名	市長マニフェスト進捗状況中間報告について
----	----------------------

内容

この度、令和元年10月1日現在における第4期市長マニフェスト進捗状況中間報告を別紙のとおり公表いたします。

新城・希望都市 第4期マニフェスト

共につくろう！まち・ひと・しごと

「チームしんしろ」でまちづくりの躍進を！

進捗状況中間報告

令和元年 12月25日

新城市長 穂積亮次

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：新たな4つの機構

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
「新版・賢人会議」を創設し、人生100年時代の豊かな暮らしづくりに挑戦。若者に負担をかけない長寿社会を構築します。	・新版・賢人会議創設	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> 賢人会議準備委員会を2回開催。 9月定例会にて、「新城市しんしろ創造会議条例」及びこれに係る補正予算を上程し可決。 しんしろ創造会議を3回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> しんしろ創造会議を2回開催。 生涯現役促進地域連携協議会と連携し、市内在住の55歳以上の方10,000人を無作為に抽出し「現在の就労状況と就労意識に関するアンケート調査」を実施。 			企画政策課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
「福祉円卓会議」を創設し、福祉職がやりがいをもてる地域社会を形成。福祉人材をみんなで育てるまちをつくります。	・福祉円卓会議創設	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 準備委員会委員所属団体等への趣旨説明と協力要請。 福祉円卓会議準備委員会を2回開催。 12月定例会にて「新城市福祉円卓会議条例」及びこれに係る補正予算を上程し可決。 福祉円卓会議を2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の福祉サービス事業所に従事する方を対象に「福祉サービス従事者アンケート調査」を実施 福祉円卓会議を2回開催。 			福祉課 こども未来課 地域包括ケア推進室
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
「新城エネルギー公社」を創設し、電力事業等の収益を住民福祉の増進に振り向ける仕組みを創出。再生可能エネルギーの利用促進をはかり、公共資金の市内還流を拡大します。	・新城エネルギー公社創設	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> 電力小売事業 事業計画書作成及びエネルギー公社 設立趣意書作成に係る新城市エネルギー公社 設立支援業務委託契約を締結。 市内金融機関及び企業へ公社の趣旨説明と協力要請。 電力会社と電源調達について打合せを実施、電力卸売市場の動向を踏まえた公社による電力小売事業の採算性について検討中。 力小売事業に関わる今後の制度変更に関する調査。 	<ul style="list-style-type: none"> 電力卸売市場の動向把握。 先行事例現状把握。 新電力事業設立に関する基本的な考え方の見直しを含めた調査、検討。 			環境政策課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
「新城公共公社」を創設し、新城製品の新たな販路と市場を開拓。商品力を高め、まちの稼ぐ力を徹底強化します。	・新城公共公社創設	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 公共公社のあり方、取扱商品等の検討。 DOS事業と公共公社との違い、農林産物、商工業製品の現状分析や着地型観光やスポーツツーリズムの今後の展開を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興部内の検討会議を開催。 着地型の「スポーツ・ツーリズム」「グリーン・ツーリズム」の商品検討実施。 			商工政策課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「支え合う力」と育てる力を強めるために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況			担当課等	
				平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
首長選挙における政策討論会を常設化します。	・条例の制定（首長選挙における政策討論会）	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自治会議を6回開催。 ・公開政策討論会検討作業部会を7回開催。 ・3月4日自治基本条例に定める市民の権利を具現化するための公開政策討論会のあり方についての答申。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自治会議を2回開催。 ・公開政策討論会条例について検討。 			まちづくり推進課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
子ども園基本保育料を無償化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園基本保育料無償化 ・給食無償化の検討 	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> ・市内療育施設に通うお母さんと3歳以上児基本保育料無償化について意見交換を実施。 ・市内療育施設に通う保護者と市長との懇談会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定子ども園では3～5歳及び0～2歳の非課税世帯を対象に令和元年10月1日より利用料を無償化。 ・認可外保育施設等（障害児通園施設含む）についても条件付きで同様の無償化。 ・市子ども園に通園する3歳以上児の副食費を引き続き無償化（現物給付）。 ・児童発達支援施設のみに通所する3歳以上児の副食費を子ども園通園児と同様に無償化（償還払：上限4,500円/月）。 			子ども未来課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの貧困」対策 ・子ども食堂開設 ・子ども園、学校、放課後活動 	平成30年度	40点	<ul style="list-style-type: none"> ・JC公開例会で「子ども食堂から地域の食堂へ～はじめての一步は、ごはんの一杯～」と題し事業説明とワークショップを開催。 ・子ども食堂を「おっとり君食堂」と命名し、2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市子ども食堂・地域食堂推進事業費補助金制度を平成31年4月1日から施行。 ・市内児童養護施設「八楽児童寮」が年10回、第三土曜日に「おっとり君食堂」を開催。 			子ども未来課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
「子育て世代包括支援センター」を設置し、産前・産後の時期からさまざまなリスクを取り除き、子育てと家庭づくりをサポートします。	・子育て世代包括支援センター設置	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュとして課内に配置し、子育て世代包括支援センター事業を開始。子ども未来課窓口や子育て支援センター、保健センターなどで保護者と面接相談や育児に困難を抱える家庭に家庭訪問を開始。 ・産後ケア事業をしんしろ助産院で開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュが主体となって、市内3つの子育て支援センター連絡協議会を設置し、情報交換や支援が必要と思われる親子の早期発見や対応など協議する場を定期的に開催。 			子ども未来課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
学校施設の計画的改修をはかり、新学習指導要領に対応したICT環境や英語教育環境を整備。あわせて学校エアコンの設置や給食費無償化を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の計画的改修 ・ICT環境や英語教育環境の整備 ・学校エアコンの設置 ・給食費無償化 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・東郷中学校屋内運動場改築工事に係る基本・実施設計に着手。 ・学校エアコンの設置に向け、導入スケジュール等についての検討。 ・東郷中学校屋内運動場改築工事基本・実施設計業務については、予算繰り越しし実施。 ・小中学校校内LAN実施設計業務については、平成31年度末に完了。 ・学校エアコンの設置については、計画を前倒してH30.12月補正で予算を確保し、平成31年度中に 	<ul style="list-style-type: none"> ・東郷中学校屋内運動場改築工事の契約を締結。 ・教員用パソコンの契約を締結。 ・学校エアコンの設置工事の契約を締結 新城小学校、千郷小学校は、完了。残り17校は令和2年3月25日完了予定。 ・校内LANについては、国の動向に合わせ整備計画を検討中。 			教育総務課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「支え合い力」と育てる力を強めるために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
		平成30年度	令和3年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
新設される新城有教館高校の魅力向上へ、市の支援策を策定します。	・ニューキャッスル・アライアンスを足場にした国際交流	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市スイス・ヌシャテルのジャンピアージェ高校と短期交換留学を検討。 ・ニューキャッスル・アライアンス会議期間中、スイス・ヌシャテルの関係者と新城東高校（現在は有教館高校）の校長が、短期交換留学について打合せを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイス・ヌシャテル市から高校2年生15名と約15日間の相互交流を2021年（令和3年度）から実施したいとの連絡。有教館高校校長と日程調整中。 			企画政策課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
	・単位交換型留学制度	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・制度概要について調査。実施可能な事業内容等を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度導入によるメリットがごく一部の生徒に限られてしまい、大多数の生徒にとって本制度の魅力が得られにくいことから、単位交換型留学制度ではなく、短期留学により多くの生徒が魅力を感じ、新設校の特色ある活動になるよう検討中。 			学校教育課
		令和元年度	10点					
		令和2年度						
		令和3年度						
若者議会を日本のスタンダードに。	・若者議会を日本のスタンダードに	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市の若者政策立ち上げイベントで事例発表、今後の連携を打診。 ・NPOわかものまちと連携し、ユースカウンシル立ち上げの全国PRに協力。 ・（一社）若者議会連盟と連携し、視察受入32件、事例発表5件を実施。 ・東浦町の若者会議と意見交換、今後の連携について確認。 ・過去の若者議会正副議長、（一社）若者議会連盟と意見交換会実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOわかものまちと「わかものまちづくり全国フォーラム」に関して連携を検討。 ・市民自治会議へ若者議会の検証を諮問。 ・（一社）若者議会連盟と連携し、事例発表3件、視察受入8件実施。 			まちづくり推進課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
若者や女性の起業・創業を後押しするための、また地域でのコミュニティビジネスの芽を育てるための応援ファンドを創設します。	<ul style="list-style-type: none"> ・応援ファンド創設 ・資金的な応援をする補助制度の創設 ・日常生活のちょっとした困りごと改善や、これまでと異なる価値観で地域資源を発掘・活用するなど、新しいビジネスへのチャレンジを応援 	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・既存補助金のめざせ明日のまちづくり事業補助金及び、創業支援補助事業補助金について、応援ファンドとのつながり等を検討中。 ・しんしろ創造会議において、応援ファンドについて検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんしろ創造会議において、応援ファンドについて検討中。 			まちづくり推進課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
地域公共交通の利便性を向上させるとともに、「地域の足」を地域みんなで確保する仕組みや移動販売車支援などを充実させます。	・「地域の足」を地域みんなで確保する仕組み	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会会長会議での地域公共交通情報提供。 ・地域公共交通会議を4回開催。 ・作手地区デマンド運行検討会（ワークショップ）を3回開催。 ・鳳来南部地域の足を守る会との打合せ会を2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会等を通じ、地域公共交通の情報提供、地域との座談会開催を検討。 ・地域公共交通会議を1回開催。 ・つくでバス：ワークショップ2回、地元説明会22回開催。令和元年9月24日予約受付開始 令和元年10月1日運行開始 			行政課 公共交通対策室
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「支え合う力」と育てる力を強めるために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況			担当課等
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	
地域公共交通の利便性を向上させるとともに、「地域の足」を地域みんなで確保する仕組みや移動販売車支援などを充実させます。	・移動販売車支援	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に「移動販売事業車両購入費等補助金」を交付した2事業者から提出される事業報告により現状把握。 引き続き補助金交付事業者から月ごとの事業報告を受け、先行事業者との調整・連携を図ることにより経営の安定化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に「移動販売事業車両購入費等補助金」を交付した2事業者から提出される事業報告により現状把握。 		福祉課
		令和元年度	10点				
		令和2年度					
		令和3年度					
	・自動走行社会実験準備 ・公共交通の空白地解消 ・「Sバス敬老乗車券(無料バス)」発行	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者へのSバス回数券配布件数（31件）。 国県等の自動走行社会実験に関する情報収集。 	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者へのSバス回数券配布件数（19件）。 新城市老人クラブ連合会幹事会で公共交通に関する意見交換。 国県等の自動走行社会実験に関する情報収集。 		行政課 公共交通対策室
		令和元年度	10点				
		令和2年度					
		令和3年度					
大災害に備え、地域防災力の充実・強化をすすめます。	・自主防災会の活動をバックアップ ・防災士の育成と連携強化	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> 「新城市防災士協議会」発足式及び総会を開催。 自主防災会防災事業説明会を2回開催。 自主防災会実践講習会を4回開催。 自治区予算により防災備品を整備。 自主防災組織が整備する備品等に対し補助金交付。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会防災事業説明会を2回開催。 避難所運営ゲーム（HUG）を実施し、防災士協議会活動をバックアップ。 		防災対策課
		令和元年度	70点				
		令和2年度					
		令和3年度					
	・消防団の活動をバックアップ ・消防団車両の整備更新	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害に備え救助資機材取扱訓練を各方面隊1回実施。 市内全域で自主防災会防災訓練協力。 火災想定訓練6回実施。 平成30年度更新車両3台の契約を締結し納車。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時及び平常時の災害に備え、消防団員の災害対応能力の向上を図り、計画的に消防団活動をバックアップするための「消防団総合計画」を策定予定。 		消防総務課
		令和元年度	50点				
		令和2年度					
		令和3年度					
	・避難所体制(福祉避難所等も含む)の見直し	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害・洪水情報マップにより、各避難所の指定状況を確認。 園長会に福祉避難所部会を設けこども園を、またこども未来課で放課後児童クラブ施設を、福祉避難所として活用できないか検討。 福祉避難所とBCPへの対応として、一時的な保育士配置の計画案を作成中。 地域住民が避難所の立地状況や避難のタイミングなどを考えてもらうため、平成31年度において土砂災害マイ・ハザードマップの作成を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 作手地区における避難所の再編等について、つくで交流館、作手小学校を新たな避難所として検討。これに伴い、土砂災害警戒区域にかかっている既存の避難所を閉鎖する方向で作手総合支所の担当課と調整中。 		防災対策課
		令和元年度	10点				
		令和2年度					
		令和3年度					

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「支え合う力」と育てる力を強めるために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
介護保険事業の東三河広域連合での運営を軌道に乗せ、広域サービスと地域密着サービスの両面展開を推進します。	・介護保険事業の広域サービス ・地域密着サービス	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度より広域連合にて事業開始。 構成8市町村の窓口長会議に4回出席。 現状の課題を構成8市町村で出し合い、会議で協議の上、解決策を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> 東三河広域連合へ前年度の介護保険事業状況報告書作成過程において、実績から成果及び課題を整理し報告。 広域サービスと地域密着型サービスの利用実績を把握。 			福祉課 高齢者支援室
		令和元年度	40点					
		令和2年度						
		令和3年度						
新城市民病院を拠点に奥三河の医療統合をはかり、救急体制の不安をなくすとともに、在宅医療や地域包括ケアシステムとの連携体制を築きます。	・新城市民病院を拠点に奥三河の医療統合 ・救急体制の不安解消	平成30年度	40点	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係機関との連携会議に3回参加。 総合診療科専攻医1名が研修中。 初期研修医15名、医学生等10名を受け入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係機関との連携会議に4回参加。 近隣公立病院と医療情報閲覧を開始。 在宅医療の後方支援のため、開業医から診療情報を受理・更新中。 総合診療科専攻医1名が研修中。 年間スケジュールに沿って初期研修医・医学生等を受け入れ（現在初期研修医15名、医学生2名）。内科専攻医を新規受け入れ（現在5名）。 			総務企画課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
地域自治区を市政運営の土台に据え、その充実・強化をはかります。	・在宅医療や地域包括ケアシステムとの連携体制構築	平成30年度	40点	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進事業実施要綱策定。 医療、介護ガイド一覧の見直し。 在宅医療介護連携部会を2回開催。 ほいぶネット部会を1回開催。 多職種研修会を2回開催。 普及啓発講演会を1回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護施設ガイド一覧の修正・作成。 ほいぶネット部会を2回開催。 普及啓発講演会を2回開催。 			地域医療支援室 高齢者支援室
		令和元年度	40点					
		令和2年度						
		令和3年度						
地域自治区を市政運営の土台に据え、その充実・強化をはかります。	・全10自治区での「地域計画」策定完了後に、「地域マネージャー制」の導入を検討します。	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画策定策定中 新城自治区 千郷自治区 東郷自治区 地域計画策定済 八名自治区 鳳来中部自治区 鳳来南部自治区 鳳来東部自治区 鳳来北西部自治区 地域計画見直し着手 舟着自治区 作手自治区 	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画策定策定中 東郷自治区 地域計画策定済 新城自治区、千郷自治区 八名自治区、舟着自治区 鳳来中部自治区、鳳来南部自治区、鳳来東部自治区、鳳来北西部自治区 地域計画見直し着手 作手自治区 			自治振興課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「稼ぎ出す力」とまちの元気アップのために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
新東名インターチェンジ周辺企業用地の早期分譲をはかり、企業誘致を促進します。	・新東名インターチェンジ周辺企業用地の早期分譲	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> ・用地造成工事進捗率は約44%。 ・7/17～8/31誘致企業の方譲募集実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地造成工事進捗率は約90%。 ・1区画仮契約。 ・2区画未売却。 			用地開発課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
新東名インターチェンジ周辺企業用地の早期分譲をはかり、企業誘致を促進します。	・企業誘致の促進	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致交渉中。 ・用地購入意思のある企業への誘致訪問。 			<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 「新東名インターチェンジ周辺企業用地の早期分譲をはかり、企業誘致を促進します。」と統合 </div>	商工政策課
		令和元年度	－					
		令和2年度	－					
		令和3年度	－					
現東名高速にスマートインターチェンジ（新城・豊橋市境付近）― 新城南部地域に新しい玄関口を開きます。	・現東名高速にスマートIC開設	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的検討及び概略検討継続中。 ・勉強会を4回開催。 ・庁内説明会を3回開催。 ・アンケート調査実施。（南部地区内企業29社） ・豊橋市と連携し広域的検討及び概略検討の業務委託を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市と連携しSIC設置基礎調査業務委託（位置選定及び予備設計）を締結。 ・9/27 国の準備段階調査箇所にて採択。 			土木課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
企業立地奨励、商工業安定経営、観光産業育成、農林業振興のための諸施策と投資拡大プランを策定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業設備投資や観光事業者の新規投資を誘導する助成や規制緩和 ・中小企業の安定経営や事業継承を円滑化するための支援制度 ・雇用創出支援・新規就農者受け入れ体制の更なる充実 ・繁忙期の農作業支援労働力確保 ・森林資源活用総合プラン ・奥三河DMO事業推進 ・インバウンド観光受け入れ体制の整備 ・市内企業の新たな経営改善の取り組みサポート支援 ・海外市場への進出支援 ・若者や女性による企業・創業など新たな市場の創出支援 ・U I J タン者の採用支援 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・新城森林総合センター運営協議会を4回開催。 ・「新城市森づくり基金の設置及び管理に関する条例」制定。 ・新農業者フェアへ3回参加。 ・アグリチャレンジ相談会を2回開催。 ・新規就農希望者の現地説明会を1回開催。 ・農業インターンシップの開催。 ・農業大学校等での説明会へ参加。 ・奥三河DMOワーキングへ12回参加。 ・主要観光地の公衆トイレ洋式化4か所整備。 ・看板の英語表記は市内、21か所整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新城森林総合センター運営協議会を2回開催。 ・森づくり基本計画の見直しに係る作業部会を1回開催。 ・中小企業の安定経営や事業継承を円滑化するための支援制度検討中 ・若者や女性による起業・創業など支援実施 ・新農業者フェアへ2回参加。 ・アグリチャレンジ相談会を4回開催。 ・新規就農希望者の現地説明会を2回開催。 ・「しんしろ援農隊」の確保・育成を支援。 ・奥三河DMOワーキングへ毎月参加。（10/1現在、6回参加） 			商工政策課 農業課 森林課 観光課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
・福祉現場での介護ロボットの導入支援	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場での導入支援の協議・検討中。 ・市内業者・メーカーとの打合せを2回実施。 ・介護ロボットのデモ体験を研修会として開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の支援事業として、介護ロボット（見守り支援機器）を介護事業者へ無償貸与し効果等を検証する事業について、市内事業者へ情報を提供。1事業者から貸与の申出あり。 			福祉課 高齢者支援室	
	令和元年度	30点						
	令和2年度							
	令和3年度							

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「稼げ出す力」とまちの元気アップのために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況			担当課等	
				平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
魅力ある住宅環境整備を視野に都市計画用途区域の見直しをはかります。	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用最適化計画策定 ・若者の住宅取得補助 ・新築住宅への固定資産税減免 ・空き家活用策の充実 ・耐震補強やリフォームへのサポート ・高性能住宅の奨励 ・住宅用地を新たに開発 ・若い世帯が新城市で家を建てやすくなる制度創設 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン策定に着手。 ・定住促進推進協議会分科会を4回開催。 ・定住促進推進協議会を3回開催。 ・調整区域内における住宅用地整備のエリアと手法について検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン作業部会を2回開催。 ・都市計画マスタープラン策定委員会を1回開催。 ・住宅用地(平井地内)の整備手法について、新城市土地開発公社と協議中。 			都市計画課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
2018年ニューキャッスル・アライアンス会議を成功させ、「世界の新城」を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる若者国際交流 ・新たなビジネスマッチング 	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・10名で構成する「ニューキャッスル会議」を10回開催し目標指標を設定。文化、観光、教育、ビジネスをテーマに議論。 10月3日～9日にかけて、ニューキャッスル・アライアンス会議が開催され、文化、教育、観光、教育、ビジネスについて議論された。共同声明に基づいて、モンテネグロでニューキャッスルの日が制定され、新城市からも職員が祭典に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスのアライアンス事務局やユース代表者と定期的にスカイプ会議を行い、ユースの議論により提案された、観光アプリの改良を進める。 ・東三河の企業のビジネス交流の機会を求め、マレーシアで開催されたジャパンフェスティバルに参加。収集した情報をデータベース化。 ・8月に市内在住・在学の高校生15名をニューキャッスル・アボン・タインへ派遣し、地元若者会議のメンバーと交流。 ・ニューキャッスル・アボン・タインのノーザンブリア大学よりインターンシップ生を協賛企業が受け入れた。昨年度の会議で採択された「都市間の研修生の交換制度をつくる」というビジネス交流を実現。 			企画政策課
		令和元年度	80点					
		令和2年度						
		令和3年度						
インバウンド観光の促進		平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューキャッスルアライアンス会議へ参加、出席者との情報交換を行い、観光情報を発信するよう検討中。 ・情報端末等を使い、SNSで本市の魅力の世界に向けて発信するよう調整中。 ・インバウンド観光ツアーの検討及び情報把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マップ等、多言語対応版を随時作成。 ・昨年ニューキャッスルアライアンス会議の参加者が帰国し、自国から情報端末等を使い、SNSで本市観光の魅力の世界に向けて情報発信中。 			観光課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
新城駅前広場整備とこ線橋へのエレベーター設置を実現させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新城駅ホームにエレベーターを設置 ・送迎車の停車スペースのある駅広場建設 	平成30年度	40点	<ul style="list-style-type: none"> ・協定に基づく基本設計完了。成果品について精査中。 ・歳入確保（寄付・ふるさと納税等）については、先行事例の湖西市（新所原駅橋上化に伴う寄付）を参考に検討中。 ・駅前広場用地については、地権者と交渉中。 ・「新城駅構内バリアフリー化等基金の設置及び管理に関する条例」制定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化寄付(9月末現在) 61名、4,562,992円 			都市計画課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						
鳳来地区拠点整備事業の促進—総合支所改築整備と長篠地区開発計画を策定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳳来総合支所改築整備 ・長篠地区開発計画策定 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・鳳来総合支所周辺総合開発計画策定委員会を9回開催。 ・計画区域内の現地調査、アンケート調査の実施。 ・鳳来総合支所周辺総合開発計画（基本計画）を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計・実施設計業務委託契約を締結。 ・受託者と3回打合せを開催。 ・建設に関する諸課題を整理。 			地域課（鳳来）
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「稼げ出す力」とまちの元気アップのために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
		平成30年度	令和3年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
作手創生事業を推進します。	・作手創生事業推進	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯共育課と古宮城を中心とした城跡整備や鬼久保再編等についての情報交換。 ・企画部内会議を開催し事業計画を検討。 ・支所内打合せを2回開催。 				地域課（作手）
		令和元年度	10点					
		令和2年度						
		令和3年度						
桜瀬公園再整備計画を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・プール跡地の活用 ・バリアフリー化 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市民プールの建築物・工作物等の撤去。 ・さくらの木育成、整備を実施中。 ・旧市民プール跡地に大芝生広場を整備。（令和元年10月完成、現在芝生養生中） ・豊川右岸側整備工事の発注の手続きを整えた。 （工事内容 バリアフリー化するため右岸駐車場の舗装工事、デッキスロープの造成、笠岩橋のタイル補修・花月橋改修） 				観光課
		令和元年度	40点					
		令和2年度						
		令和3年度						
新体育館建設構想を第2次総合計画に組み入れます。	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に向けた協議 ・第2次総合計画に組み入れ 	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市体育協会との打合せを1回実施。 ・新体育館建設構想の今後の方針について、検討委員会設置に向けての課内・庁内検討、及び、関係団体との調整を継続。 ・新城市体育協会から、競技団体（スポーツ施設利用状況等のアンケート）を実施。市に対して結果の報告有。 ・庁内での検討を実施。 				生涯共育課
		令和元年度	10点					
		令和2年度						
		令和3年度						
新城ラリー、トレイルレース、自転車競技などを国際水準に引き上げ、新城をスポーツ・ツーリズムのメッカにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年アジア大会競技誘致 ・新城ラリー、トレイルレース、自転車競技などを国際水準に引き上げ ・新城をスポーツツーリズムのメッカにする ・廃校や道の駅を活用しフォトログ ・観光サイクリング 	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・奥三河パワートレイルの開催。 ・三河高原トレイルランニングの開催。 ・ツール・ド・新城の開催。 ・AACAカップを2回開催。 ・フォトログイニング大会の開催。 ・WRC世界ラリー日本招致準備委員会が設立され、協力団体として愛知、岐阜開催及び新城コースについて協議中。 ・新城ラリーを2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥三河パワートレイルの開催。 ・三河高原トレイルランニングの開催。 ・フォトログイニング大会の開催。 ・2020年WRC世界ラリー選手権14戦として、Rally Japanの開催決定。 			スポーツツーリズム推進課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
名古屋圏との経済的つながりを強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・藤が丘に新城アンテナショップ追求 ・名古屋市長東区や長久手をターゲットに、新城市の魅力を積極的にPR 	平成30年度	50点	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ開設にかかる要綱・要領の作成。 ・出店者の募集→決定 ショップの装飾、商品陳列、オープンに向けての宣伝、広告の実施。 ・アンテナショップのオープン。 ・来店者へのアンケート実施中。 ・しんしろマルシェを2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんしろマルシェを2回開催。（今年度4回開催予定） ・ショップの認知度及び来客回数等アンケートを実施。 ・アンテナショップ内の装飾を変更。 ・アンテナショップ内及び、マルシェ時に情報発信を実施。 			企画政策課
		令和元年度	50点					
		令和2年度						
		令和3年度						

市長マニフェスト進捗管理表（令和元年度公表）

令和元年10月1日現在

【進捗状況の評価目安】

0点 未着手 10点 現状把握 30点 計画策定着手 40点 計画策定 50点 事業着手又は予算化 70点 事業完了 71点～100点 効果の発生

大項目：「稼ぎ出す力」とまちの元気アップのために

中項目	小項目	平成30年度～令和3年度の進捗状況		取組状況				担当課等
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
名古屋圏との経済的つながりを強化します。	・名古屋中心部への高速バス乗り入れ追求	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋中心部への乗り入れについて、豊鉄バスと協議中。 ・名古屋中心部への乗り入れに関して、高速バス利用者を対象としたアンケートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋中心部への乗り入れについて、名古屋駅、栄駅だけでなく、最寄り駅や県庁周辺なども含め検討中。 ・実証実験検証を進め、乗降調査、マーケティングの実施を検討中。 ・貨客混載による新城産野菜等の販路拡大の検討会を開催。（2回） ・藤が丘駅改札正面に「山の湊号」を利用した新城市への観光客誘致ポスターの作成と掲示。 			行政課 公共交通対策室
		令和元年度	10点					
		令和2年度						
		令和3年度						
名古屋圏との経済的つながりを強化します。	・名古屋圏との産業交流追求	平成30年度	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋圏の企業との交流を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融関係機関との連携による交流を計画。 ・産業振興部内の関係機関と調整。 			商工政策課
		令和元年度	30点					
		令和2年度						
		令和3年度						
三遠南信道路、三河・東美濃高規格道路でリニア軸に直結。豊橋・浜松三ヶ日道路で三河港・太平洋岸地帯に短時間アクセス実現に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信道路事業促進 ・三河・東美濃高規格道路事業促進 ・豊橋・浜松三ヶ日道路事業促進 	平成30年度	10点	<ul style="list-style-type: none"> 【三遠南信道路】 ・適時に地元調整を実施中。 ・要望活動を1回実施。 【三河・東美濃高規格道路】 ・要望活動を2回実施。 【豊橋・浜松三ヶ日道路】 ・要望活動を3回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 【三遠南信道路】 ・適時に地元調整を実施中。 ・要望活動を2回実施。 ・8/26 三遠道路3号トンネル貫通 【豊橋・浜松三ヶ日道路】 ・要望活動を2回実施。 			土木課
		令和元年度	10点					
		令和2年度						
		令和3年度						

報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和元年12月25日	
担当課・室	企画政策課	
担当職・氏名	参事	森玄成
連絡先(電話)	(0536) 23-7696	
連絡先(FAX)	(0536) 23-2002	
(メールアドレス)	newcastle@city.shinshiro.lg.jp	

件名	第12回ニューキャッスル・アライアンス会議 in スイスにおけるユースの募集について
----	--

内容

令和2年4月21日(火)から4月28日(火)までの8日間、スイスのヌシャテル市で第12回ニューキャッスル・アライアンス会議が開催されます。新城市からの派遣団のうち、若者5名を一般公募します。

記

- 1 派遣都市 スイス ヌシャテル市
- 2 派遣期間 令和2年4月20日(月)から4月29日(水)まで(10日間)(予定)
- 3 目的 各都市のユース(若者議会)とニューキャッスルアプリ「コネクスル」の改善・発展について議論する。
- 4 参加費 無料(渡航費及び参加負担金は市で負担)
※参加負担金に含まれる費用は、現地空港から会場までの往復料金、宿泊費、交通費等を含む
- 5 募集人数 5名程度
- 6 参加資格 ①市内に在住、在学、または在勤の方
②おおむね16歳からおおむね29歳(新城市若者議会条例に基づく)
③英語で議論ができる方
④ニューキャッスル・アライアンスへの理解があり、独自の視点で発展についての展望を持っている方
⑤観光アプリ「コネクスル」の改善点や周知方法を議論できる方
- 7 周知方法 市ホームページ
- 8 申込方法 下記の2つのテーマから1つ選び、1200字程度でまとめたものを郵便、またはメールで申込用紙と共に事務局に提出。
テーマ① ニューキャッスル・アライアンスの発展に対する展望
テーマ② ニューキャッスル・アプリ「コネクスル」の改善点
- 9 申込用紙 別紙のとおり
- 10 チラシ 別紙のとおり

- 1 1 募集期間 令和元年12月25日（水）から令和2年1月15日（水）まで
- 1 2 選考方法 第一次・書類選考、第二次・面接。
- 1 3 選考期間 令和2年1月16日（木）から1月28日（水）まで
《予定》
- 1月16日（木）から1月21日（火）書類選考
 - 1月22日（水）書類選考の結果通知
 - 1月25日（土）から1月28日（火）面接
 - 1月29日（木）最終結果通知

《参加申込書》

氏 名		性別	写真
ふりがな		男・女	
住 所			
〒 ー		S・H 西暦	年 月 日生 歳
電話番号 ()		携帯番号 ()	
食べられない食材等についてご記入ください。 (アレルギー、ベジタリアン、宗教等)		メールアドレス	
保有している英語資格があればご記入ください。(資格名、級/点、取得日)			
ニューキャッスル・アライアンスへの関わり			
あり 参加イベント・参加形態			
なし			
海外経験の有無(短期旅行は除く)			
あり 滞在国・滞在期間・滞在理由(語学留学、インターンシップ等)			
なし			
志望理由			

※本申込書と作文を郵便、FAX、またはメールで下記連絡先にお送りください。

〒441-1392 愛知県新城市字東入船 115 番地
 新城市役所 企画部 企画政策課 ニューキャッスル交流推進係
 TEL: 0536-23-7696 FAX: 0536-23-2002
 e-mail: newcastle@city.shinshiro.lg.jp

第12回ニューキャッスル・アライアンス 会議 in スイス・ヌシャテル



ニューキャッスル・アライアンス加盟都市の若者と、ニューキャッスルアプリ「コネクスル」の改善・発展について議論しましょう！！

派遣都市 スイス ヌシャテル市

派遣期間 2020年4月20日（月）～4月29日（水）(10日間)(予定)

※公欠等の手続きについては市役所としてバックアップします。

参加費 無料（渡航費、参加負担金は市が負担します）

- 参加負担金に含まれる費用
 - ・現地空港から会場までの往復料金
 - ・宿泊費、交通費、その他必要経費

募集人数 5名程度

参加資格 ①市内に在住、在学または在勤の方

②高校生以上29歳以下の方（令和2年4月1日現在）

※新城市若者議会条例に基づく

③英語で議論ができる方

④ニューキャッスル・アライアンスへの理解があり、独自の視点でニューキャッスル・アライアンスの発展について展望を持っている方

⑤観光アプリ「コネクスル」の改善点や周知方法を議論できる方

申込方法 下記の2つのテーマから1つを選び、1200字程度でまとめたものを郵便、FAXまたはメールで申込用紙と一緒に事務局にご提出ください。

テーマ① ニューキャッスル・アライアンスの発展に対する展望

テーマ② ニューキャッスル・アプリ「コネクスル」の改善点

申込締切 2020年1月15日（水）まで（必着）

選考方法 第1次：書類選考 第2次：面接

申込後の日程（予定）

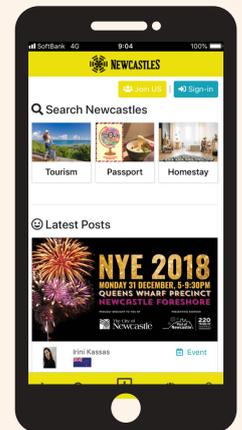
1月22日（水） 書類選考の結果通知

1月25日（土）～28日（火）面接

1月29日（木）最終結果通知

こんな方にオススメ

- ・若者議会経験者
- ・これまでのニューキャッスルに関わりがある（参加者、ボランティア等）



観光アプリ『コネクスル』
アクセスはこちらから
<http://newcastle-world.jp/>



ニューキャッスル・アライアンスとは？

「新しい城」という同じ名前の都市が同盟を結んで2年ごとに集まり、話し合いや交流を行う国際会議のことです。世界各地に、100以上の“ニューキャッスル”と名の付く地名があります。現在、ニューキャッスル・アライアンスに加盟しているのは15カ国17都市です。

詳しくはこちら⇒ <http://newcastle.moon.bindcloud.jp/about-us.html>

新城市役所

441-1392 愛知県新城市字東入船115番地
企画部企画政策課 ニューキャッスル交流推進係
TEL：0536-23-7696 FAX：0536-23-2002
e-mail：newcastle@city.shinshiro.lg.jp



報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和元年12月25日	
担当課・室	企画政策課・新城市国際交流協会	
担当職・氏名	企画政策課参事	森玄成
担当職・氏名	新城市国際交流協会事務局長	松元健二
連絡先（電話）	(0536) 23-7696	
連絡先（FAX）	(0536) 23-2002	
（メールアドレス）	newcastle@city.shinshiro.lg.jp	

件名	第12回ニューキャッスル・アライアンス会議記念市民スイスツアー募集について
----	---------------------------------------

内容

令和2年4月にスイスのヌシャテルで第12回ニューキャッスル・アライアンス会議が開催されます。会議期間中に開催都市であるヌシャテル市を含む、スイスの都市を巡るツアーを開催します。会議参加者とは別に、市民からツアー参加者を募集する予定です。参加費等詳細が確定し次第、改めて報告いたします。

記

- 1 訪問予定の都市 ジュネーヴ、ヌシャテル、ベルン、インターラーケン、チューリッヒ（予定）
- 2 派遣期間 令和2年4月19日（日）から4月28日（火）まで（10日間）
- 3 参加費 40万円程度（予定）
- 4 募集人数 15名程度
- 5 参加資格 市内に在住、在学、または在勤の方
- 6 委託先 新城市国際交流協会
- 7 申込用紙 広報ほのか、新城市国際交流協会および市のホームページ
- 8 募集期間 令和2年1月10日（金）から令和2年2月7日（金）まで（予定）

報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和 元年 1 2 月 2 5 日	
担当課・室	環境政策課	
担当職・氏名	課長	村田方恵
連絡先（電話）	(0536) 23 - 7690	
連絡先（FAX）	(0536) 23 - 7047	
（メールアドレス）	e-seisaku@city.shinshiro.lg.jp	

件名	第2次 新城市環境基本計画（案）のパブリックコメントの実施について
----	-----------------------------------

内容

新城市環境基本計画は、環境基本条例第7条に基き、環境の保全及び創造に関する基本的計画として定めるものです。

前計画から10年以上が経過し、近年の社会情勢や多様化する環境問題の状況を踏まえ、市民や環境団体、事業者で構成された新城市環境基本計画策定委員会を設置し、検討を進めてきました。

計画（案）は、豊かな自然環境や生物多様性の保全、地球温暖化対策、ごみの減量と資源化、健やかに暮らすことのできる生活環境、環境教育の推進を目指し、5つのビジョンを設定するとともに、「新城市生物多様性地域戦略」及び「新城市温暖化対策実行計画」（区域施策編）を含めて策定する総合的な計画とし、令和2年度から令和13年度までの12年間の計画期間としています。

今回、作成した計画（案）に対し、パブリックコメント手続き制度により、意見を募集します。

なお、指標などを示す行動計画については、令和2年度に作成を行う予定です。

別添資料

第2次新城市環境基本計画（案）のパブリックコメント実施方法について

第2次新城市環境基本計画（案）のパブリックコメント実施方法について

新城市の基本的な計画等に係る素案の事前公表と市民意見の提出手続きに関する要綱（新城市パブリックコメント手続要綱）により、第2次新城市環境基本計画（案）を下記のとおりパブリックコメントに付します。

- 1 募集期間 令和2年1月16日（木）から令和2年2月13日（木）
※市ホームページ、広報2月号に掲載
- 2 趣 旨 新城市の環境に関する計画を本年度中に策定するため、計画策定委員会を設置し検討を行った「第2次新城市環境基本計画（案）」に対して、パブリックコメント手続き制度により、意見を募集します。
- 3 計画の内容 (1) 計画の基本的事項
(2) 計画の基本方針
(3) わたしたちの環境ビジョン
(4) 新城市生物多様性地域戦略
(5) 新城市地球温暖化対策実行計画
(6) 計画の総合的運用
- 4 閲覧期間 募集期間と同じ
- 5 閲覧場所 (1) 新城市ホームページ
(2) 窓口での閲覧
午前8時30分から午後5時15分まで（閉庁日を除く。）
本庁環境政策課、鳳来総合支所地域課、作手総合支所地域課
- 6 意見提出方法 住所と氏名を記入の上、(1) から (4) のいずれかの方法による。
(1) 本庁環境政策課に持参
※ただし、閉庁日を除く午前8時30分から午後5時15分まで
(2) 郵送（募集期間最終日消印有効）
宛先：〒441-1392（住所不要）
新城市役所 環境政策課あて
(3) ファックスで送信
ファックス番号 0536-23-7047
新城市役所 環境政策課
(4) Eメールで送信
メールアドレス e-seisaku@city.shinshiro.lg.jp
※電話による意見の提出は、受け付けません。
- 7 公 表 提出された意見に対する個別の回答は行いませんが、市の考え方を整理して本庁環境政策課、市ホームページで公開します。
- 8 問い合わせ先 新城市 市民環境部 環境政策課
電 話 0536-23-7690
Eメール e-seisaku@city.shinshiro.lg.jp

【新城市環境基本計画の概要】

1 計画の位置づけ

新城市環境基本計画は、環境基本条例第7条に基き、環境の保全及び創造に関する基本的計画として定めるものです。

2 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和13年度（2031年度）までの12年間とします。

3 計画の目的と役割

前計画策定（平成20年10月）から10年以上が経過し、人口減少や超高齢化社会や多様化する環境問題の状況を踏まえ、「第2次新城市総合計画」に掲げるまちの将来像「つながる力 豊かさ開拓 山の湊しんしろ」の実現に向け、豊かな自然環境や生物多様性の保全、地球温暖化対策、ごみの減量と資源化、健やかに暮らすことのできる生活環境、環境教育の推進を目指して、5つの基本方針を設定するとともに、地球温暖化対策の推進に関する法律第19条に基づく「新城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び生物多様性基本法第13条に基づく「新城市生物多様性地域戦略」を含めて策定する総合的な計画とします。

なお、基本方針を実現するために取り組むべき具体的な行動や施策は、令和2年度に策定予定の「新城市環境行動計画（仮称）」に定めます。

4 施策体系

基本方針	基本施策
1 多様な生態系と共存するまち	①豊かな生物多様性を育む自然環境の保全・活用
	②自然に親しむ
2 低炭素なまち	①エネルギー自治
	②環境にやさしい交通行動
	③気候変動への適応策
	④森林吸収源対策
3 ものが循環するまち	①ごみの減量
	②持続可能な消費行動
	③健全な水循環
4 安全・安心・快適なまち	①災害対策
	②公害等の未然防止
	③防犯対策
	④地産地消
	⑤歴史文化の保全・整備・活用
5 みんなで取り組むまち	①環境人材の育成（市民、職員）
	②パートナーシップの強化
	③環境教育の実施

環境ビジョン1 多様な生態系と共存するまち

自然環境を大切に作る心を育み、多様な生態系を維持・保全しながら、地域資源を有効に活用する「多様な生態系と共存するまち」を創造します。

環境ビジョン2 低炭素なまち

エネルギーを人任せにしないエネルギー自治を通じて、省エネや再エネの利用促進などの取り組みにより、地球温暖化を抑制する「低炭素なまち」を創造します。

環境ビジョン3 ものが循環するまち

一人ひとりの生活習慣を見直し、ごみの減量、持続可能な消費行動、健全な水循環の構築により、「ものが循環するまち」を創造します。

環境ビジョン4 安全・安心・快適なまち

歴史的・文化的資源を保全・整備しながら活用するとともに、災害に強く、公害のない地域だけではなく、魅力的な「新城らしさ」あふれる「安全・安心・快適なまち」を創造します。

環境ビジョン5 みんなで取り組むまち

環境人材の育成、環境教育の実施、パートナーシップを充実・強化し、地球環境問題や地域の課題に対して「みんなで行くまち」を創造します。

5 新都市生物多様性地域戦略

生物多様性への意識を高め、生きものがすむ場所が確保され、本来、その場所にいるべき野生の生きものと、人がともに生きていくことができるまちを目指します。なお、計画期間は第2次新都市環境基本計画と同じ令和2年度（2020年度）から令和13年度（2031年度）までの12年間とし、対象地域は新都市全域とします。

《目標を実現するための2つの行動計画》

行動計画1 豊かな生物多様性を育む自然環境の保全・活用

行動計画2 自然に親しむ

6 新都市地球温暖化対策実行計画

平成24年4月に策定した旧新都市地球温暖化対策実行計画を改定し、平成27年12月の国連機構変動枠組条約締約国会議で採択された国際的な合意「パリ協定」に向けた国の目標を踏まえ、新しい温室効果ガス排出削減目標と環境ビジョンに合わせた施策を定めます。なお、計画期間は第2次新都市環境基本計画と同じ令和2年度（2020年度）から令和13年度（2031年度）までの12年間とし、対象地域は新都市全域とします。

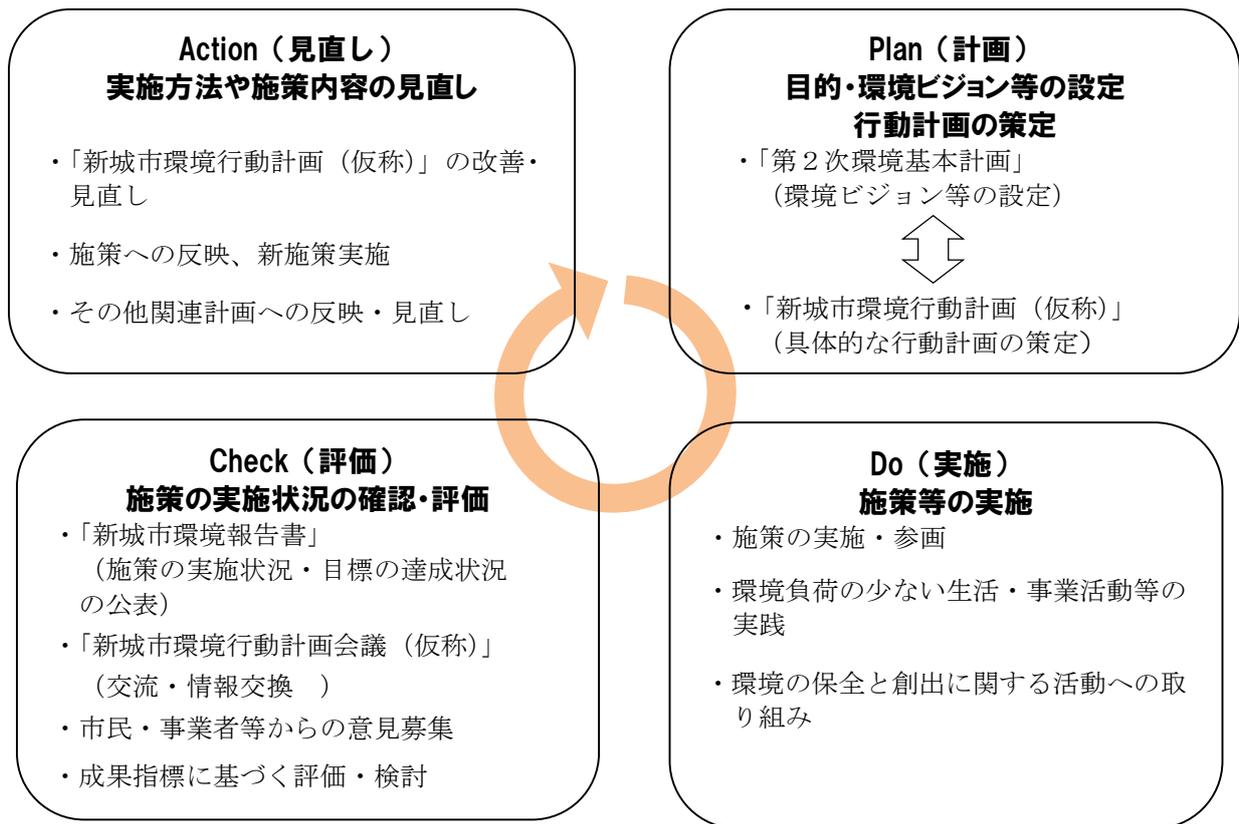
《地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の施策》

- 1 エコな暮らしプロジェクト
- 2 スマートエナジープロジェクト
- 3 育成と共生の森づくりプロジェクト
- 4 みのりがめぐるまちづくり推進プロジェクト
- 5 環境学習都市づくりプロジェクト

7 計画の推進体制

ビジョン実現のためには、自ら環境に対して行動を実践する環境人材の育成や教育の他、多様な主体が連携し、持続可能な活動や環境行動を進めていく必要があります。

本計画では新城市環境基本条例の基本的な考え方を踏まえ、新城市自治基本条例の基本原則に沿ってみんなで協力してまちづくりを推進し、環境ビジョンの実現を目指します。



報道機関発表資料

(新城市)

提出日	令和元年12月25日	
担当課・室	福祉課	
担当職・氏名	課長	大橋健二
連絡先(電話)	(0536) 23-7624	
連絡先(FAX)	(0536) 23-7699	
(メールアドレス)	fukushi@city.shinshiro.lg.jp	

件名	新城市福祉円卓会議中間報告について
----	-------------------

内 容

新城市は、社会福祉事業に従事する者の社会的評価の向上及び地域社会全体での人材育成の推進を図ることを目的に、平成30年度に新城市福祉円卓会議を設置しました。福祉円卓会議には、介護や障がい、児童、地域の各福祉分野の従事者や学識経験者、住民代表が委員に就任し、分野の垣根をなくし完全対等な立場で議論を重ねています。令和元年12月4日に中間報告が提出されました。

別添資料

- ・新城市福祉円卓会議中間報告
- ・新城市福祉サービス従事者アンケート調査結果報告書

新城市福祉円卓会議中間報告

令和元年 1 2 月
新城市福祉円卓会議

新城市福祉円卓会議中間報告

新城市は、平成30年度に、社会福祉事業に従事する者の社会的評価の向上及び地域社会全体での人材育成の推進を図ることを目的に、新城市福祉円卓会議を設置しました。

福祉円卓会議には、介護や障がい、児童、地域の各福祉分野の従事者や学識経験者、住民代表が委員に就任し、分野の垣根をなくし完全対等な立場で議論を重ねています。答申に向けて議論の途中ですが、これまでの検討経過、アンケート分析及び委員からの施策提案についてとりまとめましたので、中間報告します。

<検討経過>

◇第1回福祉円卓会議（平成31年1月9日 災害対策本部室2）

市長から福祉円卓会議委員13人に辞令が交付され、正副会長を選出の後、「福祉職がやりがいを持てる地域社会を形成するため、福祉人材を皆で育てるまちづくり」について諮問されました。

続いて、地域診断（仮称「福祉職労働実態調査」）と施設・事業所等視察について協議しました。

（1）地域診断（仮称「福祉職労働実態調査」）について

福祉円卓会議において、課題の把握や今後の施策を検討するため、市内で福祉サービス等に従事する方に対して働き方や処遇などの現状を把握することを目的に、福祉サービス従事者アンケートを実施することについて、検討を行いました。

アンケートの様式は、愛知県の保育労働実態調査を見本に、事務局が用意した案を各委員に送付し、意見をFAXやメールで事務局に提出、調整して、3月の実施を目指すこととしました。アンケート対象者及び配布施設・事業所についても同様に確認し、回収率を上げるため、直接、施設・事業所に出向き配布し、回収することとしました。

（2）施設・事業所等視察について

委員間の情報共有を図ることを目的に、市内の様々な福祉施設について、2回に分けて視察を行うこととして、1回目を2月1日(金)に行うことを決めました。

◇施設・事業所等視察（平成31年2月1日 市内事業所）

現状の課題として福祉各分野における相互理解が十分でないとの意見を踏まえ、現状把握及び相互理解と今後の議論を深めることを目的とした、委員による施設視察を実施しました。

◎視察先

- ・障害福祉 もくせいの家ほうらい
- ・障害福祉 レインボーはうす
- ・高齢者福祉 デイサービスゆうなぎ
- ・障害福祉 西部福祉会館（地域生活支援事業）
- ・児童福祉 児童発達支援事業おひさま
- ・障害福祉 やすらぎの家
- ・障害福祉 矢部ホーム

施設・事業所によって、施設基準や職員配置等の決まりが異なり、各施設・事業所が創意工夫して対応していることを、参加委員が互いに知り合うことで、今後の業務や施設運営に役立つものと認識されました。

◇第2回福祉円卓会議（平成31年3月19日 災害対策本部室3）

福祉従事者アンケートの調査項目について協議を行い、3月中に様式を確認し4月に事業所へ配布することとしました。

（※実際には、アンケート内容の確定に時間がかかり、6月発送となった。）

第2回施設・事業所等視察について確認を行い、4月実施に向けて調整することとされた。

（※実際には、施設と参加者のスケジュール調整がうまくいかず、実施できなかった。）

◇福祉サービス従事者アンケート

令和元年6月14日～28日で福祉サービス従事者アンケート調査を実施しました。市内の福祉事業所に対して事前に職員数調査を行い、事務局が施設・事業所を訪問し配付及び回収を行いました。

アンケート配布 126事業所 1,719人

アンケート回収 1,507人（回収率87.7%）

◇第3回福祉円卓会議（令和元年8月29日 勤労青少年ホーム研修室B）

福祉従事者アンケートの分析と施策案検討を2班に分かれグループワーク形式で行いました。

◇第4回福祉円卓会議（令和元年9月26日 災害対策本部室3）

中間報告に向け、施策案について検討を行いました。

◇施設・事業所等視察（令和元年11月11日 市内事業所）

第1回施設・事業所等視察で行くことのできなかつた施設視察を実施しました。

◎視察先

- ・児童福祉 八楽児童寮
- ・高齢者福祉 静巖堂医院デイケアセンター及びグループホーム好日庵
- ・高齢者福祉 麗楽荘

◇第5回福祉円卓会議（令和元年11月22日 災害対策本部室2）

中間報告書について検討を行いました。

<アンケートの分析>

アンケートについては、人間関係等の「職場環境」、収入や労働条件等の「処遇」、社会的評価や人材育成等の「支援環境」の3つの視点で仮説を設けて分析を行いました。

その結果、次のことが導き出されました。

- ①人の役にたっていること、利用者と過ごす楽しさを感じることで仕事の継続意向が関係している。
- ②離職意向がある人が、特に人間関係にストレスを抱えている訳ではない。
- ③離職意向のある人で、ハラスメントを受けた経験のある人の割合が高い。
- ④研修を受けた経験のある人ほど、自分の能力を活かしている、成長を感じている。
- ⑤離職意向のある人は、悩みを相談できる人がいない人が多い。
- ⑥仕事の継続意向のある人は、自分の能力を活かしている、自分の成長を感じている、目標とした先輩・同僚がいるとした人が多い。
- ⑦離職意向がある人で、給料・賃金に不満を感じている人が特に多い。
- ⑧時間外労働時間が長い人で、仕事量の削減を求める割合が高い。
- ⑨職種や正規、非正規といった立場の違いで、労働環境の改善要望が異なる。
- ⑩非正規の女性では、福祉の仕事が合っていると感じている人の割合が高い。

一方で、アンケートでは、労働条件の改善に重要だと思う項目の上位回答として、正規職員は第1位「賃金引き上げ」、第2位「職員一人が受け持つ利用者の数や業務の量を減らして余裕を持つ」、第3位「有給が取得しやすい環境」と、非正規職員は第1位「賃金引き上げ」、第2位「非正規の処遇改善」、第3位「職員一人が受け持つ利用者の数や業務の量を減らして余裕を持つ」となっています。正規・非正規ともに「賃金引き上げ」が最も重要だと回答しており、第2位

の回答と比較して倍の割合となっており、賃金が切実な問題となっていることを把握しました。

また、職場編成の改善に重要だと思う項目の上位回答として、正規職員は第1位「職員の増員」、第2位「職員の質の向上」、第3位「職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気改善」と、非正規職員は第1位「職員の増員」、第2位「職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気改善」、第3位「職員の質の向上」と回答しています。正規・非正規ともに「職員の増員」が最も重要だと回答しており、職員が1人で受け持つ利用者数や業務量が過大と感じている実態が判かりました。

＜施策提案＞

福祉円卓会議では、各委員から様々な施策提案がされています。

○合同職員研修

講師を呼んでの講習・講演など、事業所単独では実施できない研修会の開催。名古屋など遠方で実施される勉強会、研修を新城市内で実施。スキルアップ、モチベーションアップをはかる。

○就職前研修

福祉職に興味があるが初めての仕事に対して不安のある方、福祉職から離れて時間がたっており復職に際して不安のある方に研修を実施する。

○事業所に出向いて現場を確認しての出前研修

施設によって困りごとなどは様々である。現場を確認して、その施設で本当に必要とされる研修を実施する。施設での問題点を一緒になって考える（世直し隊）。

○階層別の研修を実施

現場職員や現場責任者だけでなく代表者（経営者）に対しても研修を実施する。

○雇用者、管理者、リーダーに対する研修

職場のマネジメントを行う立場にある管理者等に対して、生産性向上による介護サービスの質の向上を目指し研修を実施する。働く人のモチベーションの向上、楽しい職場・働きやすい職場作りをすることにより、介護サービスの質の向上や人材の定着・確保につなげる。

○市政番組「いいじゃん新城」、広報しんしろ「ほのか」等を活用した情報発信
市民の方に福祉職・介護職や市内の福祉サービス等について知ってもらう。

○誰でも参加できるイベントで周知

シルバー祭り、RUN伴等のイベントで情報発信することにより、福祉の仕事について関心のなかった方にアピールできる。

○行事・イベントに関する作り物を共通利用できる体制を整える

季節ごとの行事・イベントに関する飾りなどの作り物を各事業所において作成しているが、作成には手間や時間がかかり保管場所にも苦慮している。各事業所で保管している作り物の情報交換できる体制を整え、貸し借りできるようになれば、経費や時間を他業務へまわすことができ業務の効率化につながる。

また、地域の方に作成してもらう機会を設けることで、地域とのつながりが生まれる。

○外国人向けの日本語研修に対する支援

外国人技能実習生を受け入れる際に、日本語の能力が問題となってくる。日本語研修を支援することにより、外国人技能実習生の受け入れも進み人材不足解消の一助になる。

○福祉職の魅力を伝える写真展

施設等を利用している人でなければ、福祉職の方が働いている姿を見ることはできない。やりがいを持って働いている姿を写真にすることで、一般の方にも魅力を伝える。

○中高校生向けの体験型イベント、講座を開催

体験することにより福祉の仕事について興味を持ってもらい、将来の福祉人材確保へつなげる。

○新城市福祉・介護フェア、新城市福祉・介護市民フォーラム

高齢者疑似体験・介護体験等の体験イベント、介護ロボットの展示、作品展、授産商品の販売などにより多くの方に福祉について関心を持ってもらう。市内の事業所にも参加してもらい施設紹介や就職相談を実施する。市民フォーラムを開催し福祉・介護職員による実践発表や講演会等を行う。

○福祉・介護の資格取得に対する助成

新城市内の事業所で働きながら資格取得を目指す方に対して、資格取得のためにかかった経費の一部を補助する。

○就職祝金、永年勤続表彰

新城市に新規の福祉人材を呼び込むために、新城市内の福祉サービス事業所に就職した方に就職祝金を支給する。また、福祉人材の流出予防のために、新城市内の福祉サービス事業所に継続して勤務されている方に永年勤続表彰を行う。

○ICTネットワークや介護ロボット導入に対する助成

ICTネットワークや介護ロボットを導入することにより、これまで時間を割いていた利用者の記録や書類作成などの事務が簡素化され、常時どこでも情報共有できることで業務の時間短縮につながったり、身体的負担・精神的負担の軽減につながる。

○備品購入、施設改修に対する助成

経年劣化で更新が必要な備品の購入や施設改修を行うことができず、利用者や職員の負担となっている。市の助成制度があれば、改善しやすくなる。

○無料相談窓口の設置

職場で悩み等を相談できない場合に離職へとつながる可能性が高い。対面での相談の他に電話やSNSでも仕事に関する悩みを相談できる窓口を設置し離職予防をはかる。

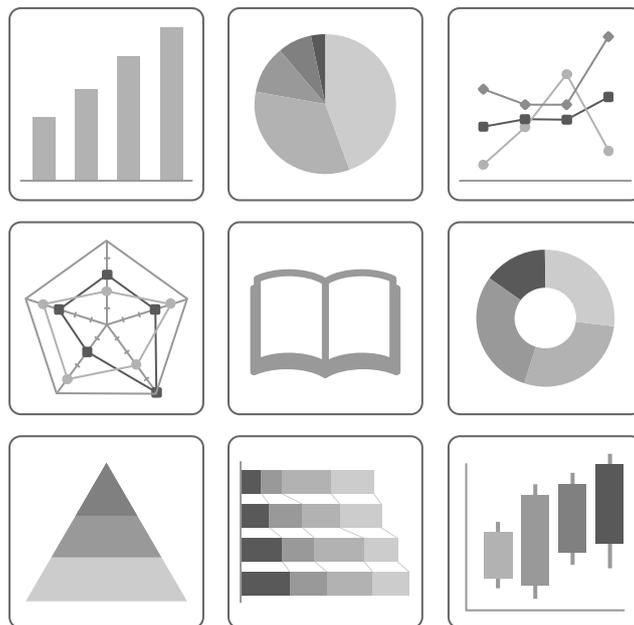
○福祉・介護サービス連絡協議会、新城福祉介護学会

市内の福祉事業所に参加してもらい連絡協議会をつくり、事例研究、情報交換や交流を行う場とする。

○「ほいっぷネットワーク」の利用拡大

現在、介護事業所は「ほいっぷネットワーク」を使用し、事業所利用者の情報共有を行っているが、福祉事業所も「ほいっぷネットワーク」が使用できるように進める。

新城市
福祉サービス従事者アンケート
調査結果報告書



令和元年 8 月

新 城 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	正規社員用アンケート	2
(1)	回答者属性	2
(2)	時間外の労働実態について	9
(3)	休憩について	12
(4)	休日や休暇、時差勤務について	18
(5)	仕事に対しての感じ方や心身の状況について	21
(6)	賃金や生計についての感じ方、現状について	33
(7)	労働の改善について	35
2	非正規社員用アンケート調査	39
(1)	回答者属性	39
(2)	労働実態について	45
(3)	仕事に対しての感じ方や心身の状況について	55
(4)	賃金や生計についての感じ方、現状について	66
(5)	労働の改善について	69
3	正規社員・非正規社員の比較	72
(1)	回答者属性	72
(2)	仕事に対しての感じ方や心身の状況について	79
(3)	賃金や生計についての感じ方、現状について	85
(4)	労働の改善について	86

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内で福祉サービス等に従事する方の働き方や処遇などの現状を把握し、「新城市福祉円卓会議」で課題や今後の施策を検討することで、福祉従事者の方の社会的評価、労働条件、労働環境などの改善等を行うことを目的として実施したものです。

2 調査対象

市内の福祉サービス事業所に従事する方を悉皆調査

3 調査期間

令和元年6月13日から令和元年6月28日

4 調査方法

新城市役所福祉課職員から福祉サービス事業所に従事する方に直接配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
正規社員用アンケート	790 通	675 通	85.4%
非正規社員用アンケート	929 通	832 通	89.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

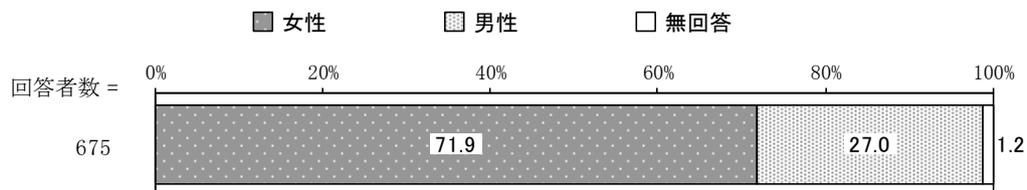
II 調査結果

1 正規社員用アンケート

(1) 回答者属性

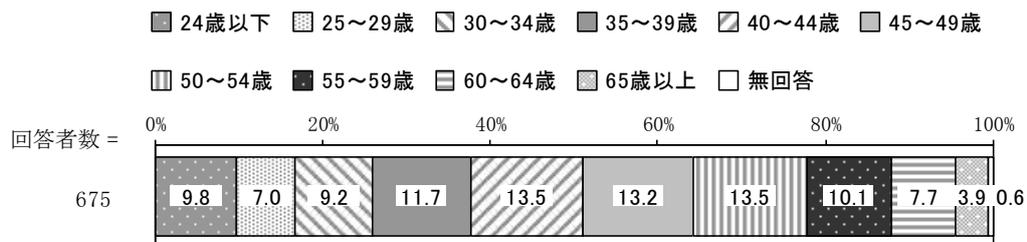
問1 あなたの性別をお答えください。(回答は一つ)

「女性」の割合が71.9%、「男性」の割合が27.0%となっています。



問2 あなたの年齢はいくつですか。(回答は一つ)

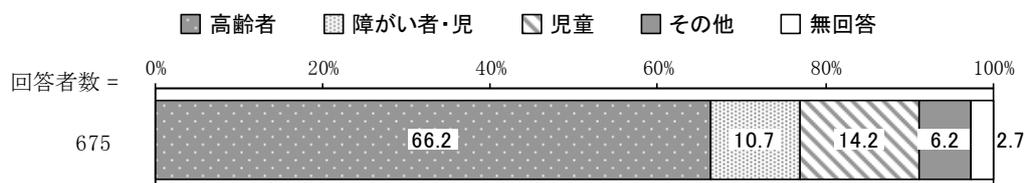
「40～44歳」、「50～54歳」の割合が13.5%と最も高く、次いで「45～49歳」の割合が13.2%となっています。



問3 あなたはどのような職場で働いていますか。主な対象者と勤務形態をお答えください。(回答は各一つ)

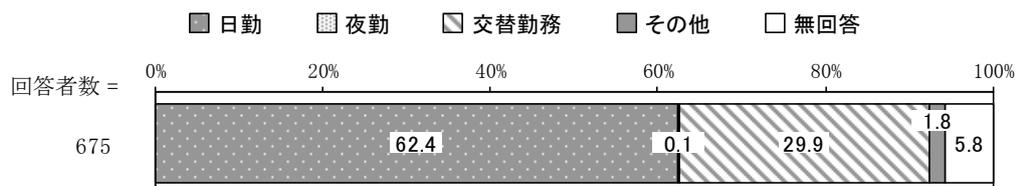
ア 主な対象者

「高齢者」の割合が66.2%と最も高く、次いで「児童」の割合が14.2%、「障がい者・児」の割合が10.7%となっています。



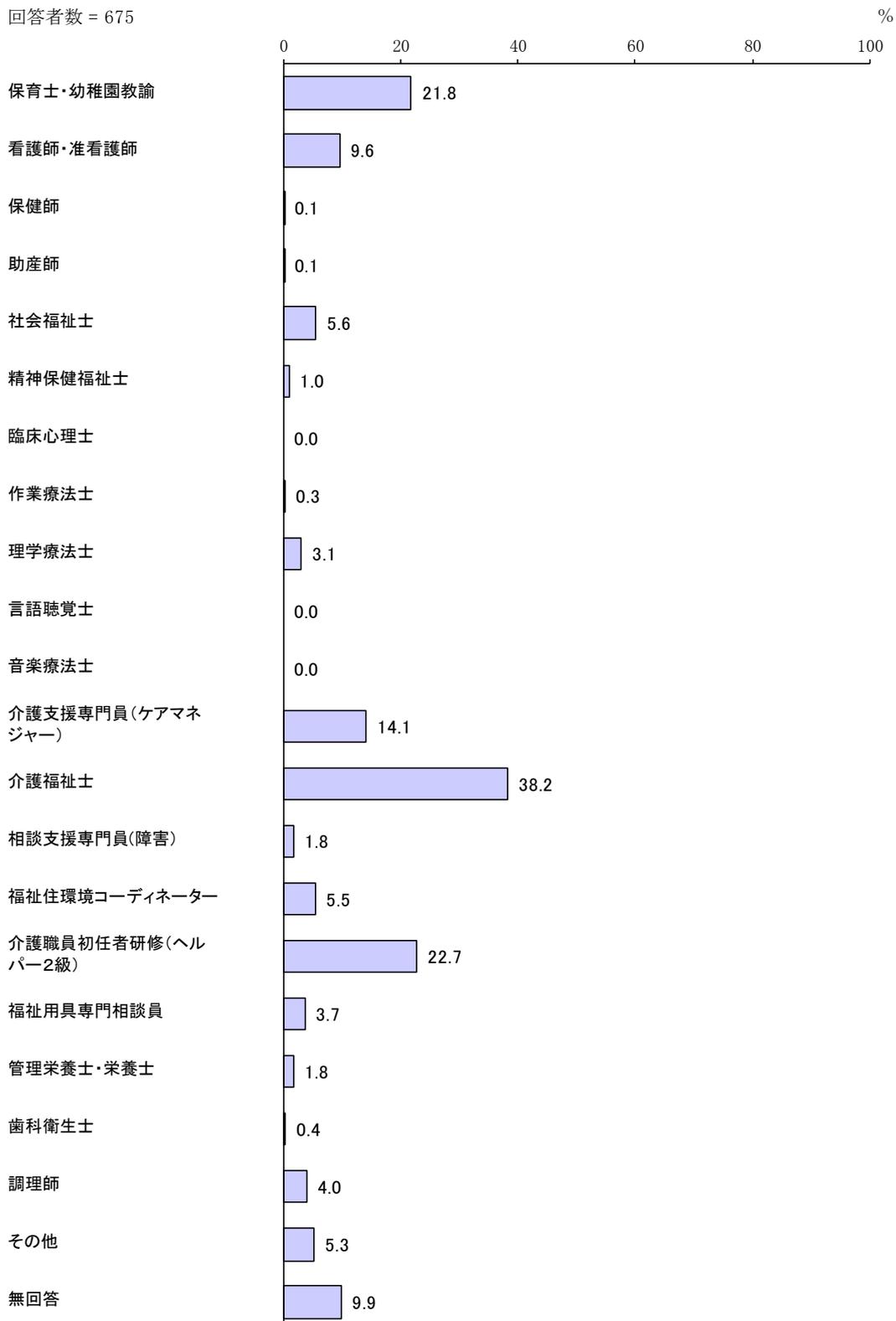
イ 勤務形態

「日勤」の割合が62.4%と最も高く、次いで「交替勤務」の割合が29.9%となっています。



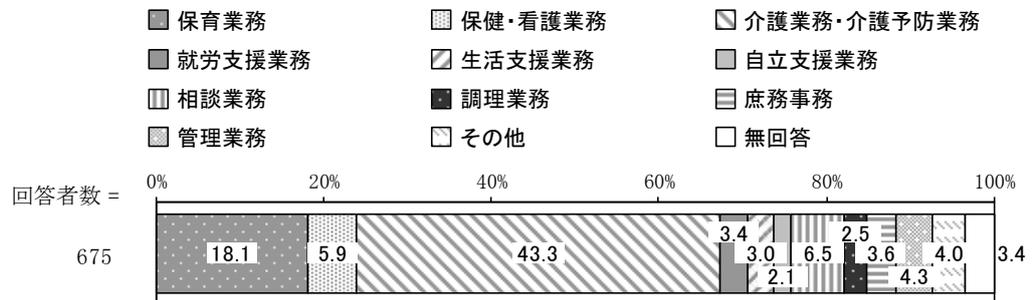
問4 以下のうち、あなたがお持ちの資格をお答えください。(あてはまるものすべて)

「介護福祉士」の割合が38.2%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修(ヘルパー2級)」の割合が22.7%、「保育士・幼稚園教諭」の割合が21.8%となっています。



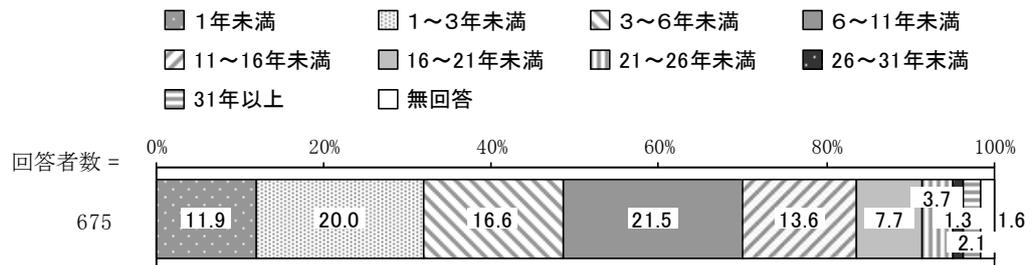
問5 あなたの主な業務は。(回答は一つ)

「介護業務・介護予防業務」の割合が43.3%と最も高く、次いで「保育業務」の割合が18.1%となっています。



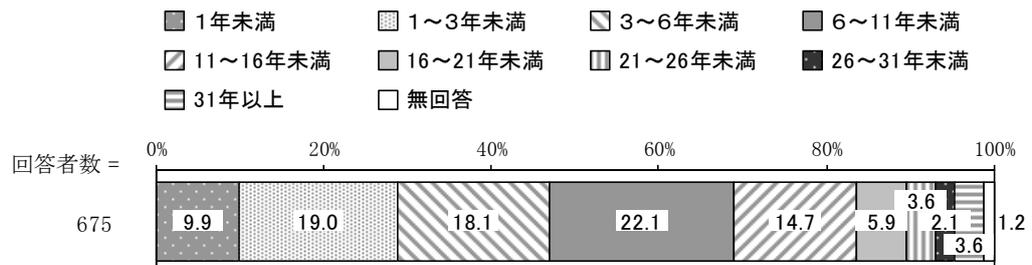
問6 現在勤務する事業所で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

「6～11年未満」の割合が21.5%と最も高く、次いで「1～3年未満」の割合が20.0%、「3～6年未満」の割合が16.6%となっています。



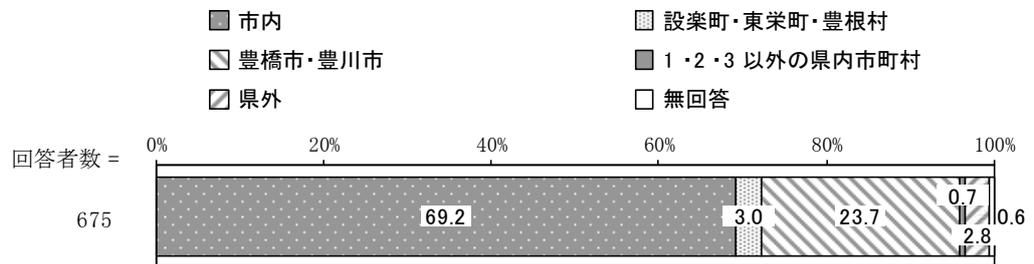
問7 現在担当する業務で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

「6～11年未満」の割合が22.1%と最も高く、次いで「1～3年未満」の割合が19.0%、「3～6年未満」の割合が18.1%となっています。



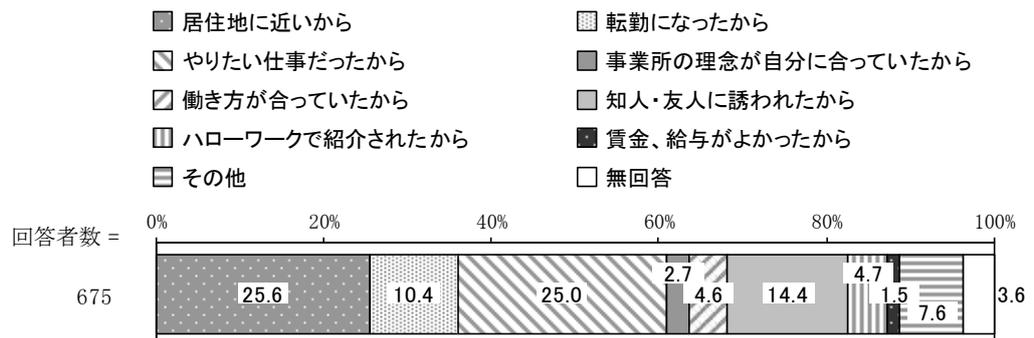
問8 どこから通勤していますか。(回答は一つ)

「市内」の割合が69.2%と最も高く、次いで「豊橋市・豊川市」の割合が23.7%となっています。



問9 今の事業所を選んだ理由をお答えください。(回答は一つ)

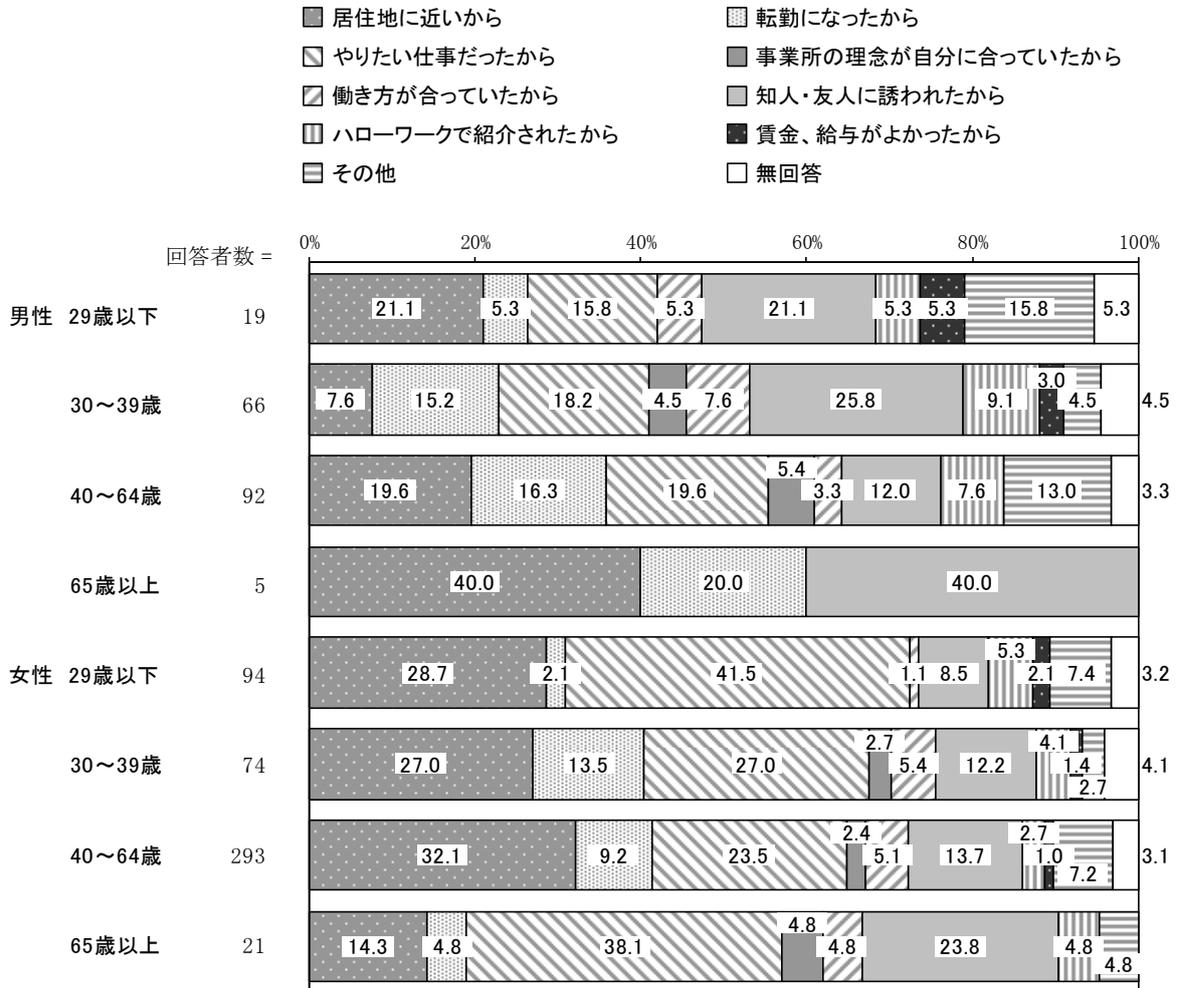
「居住地に近いから」の割合が25.6%と最も高く、次いで「やりたい仕事だったから」の割合が25.0%、「知人・友人に誘われたから」の割合が14.4%となっています。



【性・年齢別】

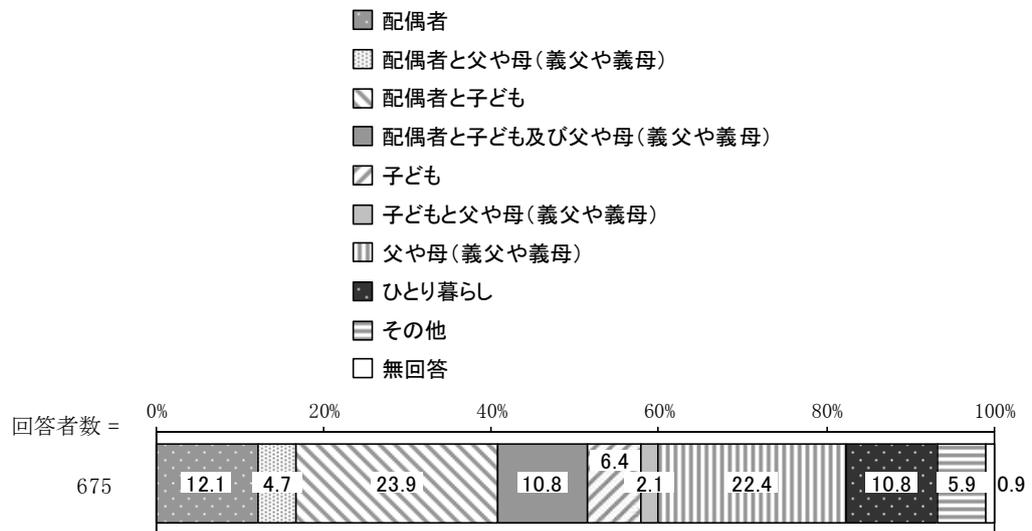
性・年齢別で比較すると、女性の29歳以下で「やりたい仕事だったから」の割合が高くなっています。また、男性の30～39歳で「知人・友人に誘われたから」の割合が、女性の40～64歳で「居住地に近いから」の割合が高くなっています。

※回答者数が少ない区分は比較対象から除いています。



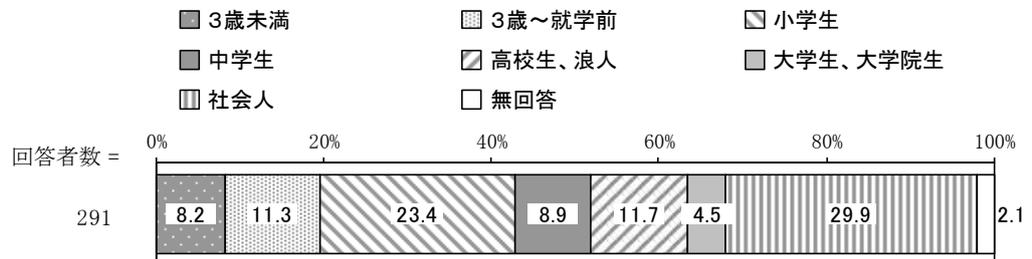
問 10 あなたと同居している人の構成をお答えください。(回答は一つ)

「配偶者と子ども」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「父や母（義父や義母）」の割合が 22.4%、「配偶者」の割合が 12.1%となっています。



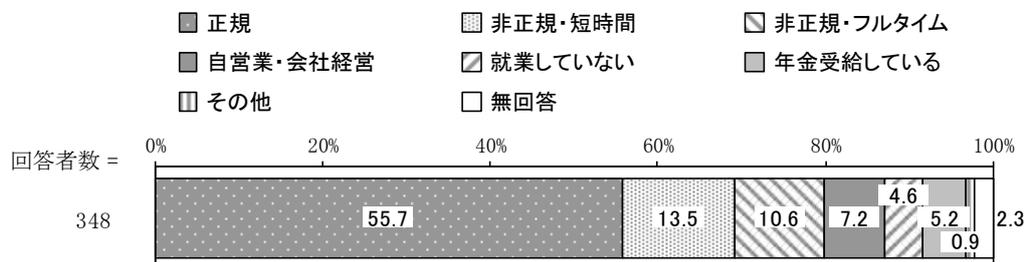
問 11 同居しているお子様がいる方に伺います。末子はおいくつですか。(回答は一つ)

「社会人」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「小学生」の割合が 23.4%、「高校生、浪人」の割合が 11.7%となっています。



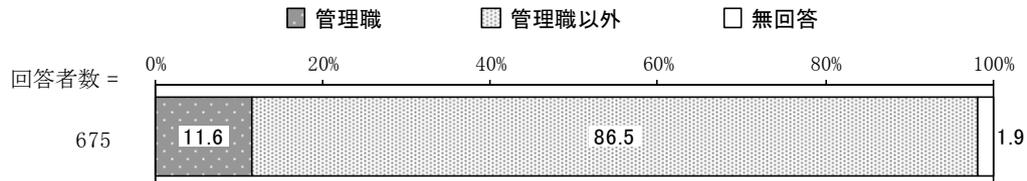
問 12 配偶者(同棲や事実婚を含む)がおられる方にお聞きします。配偶者の就業状況をお答えください。(回答は一つ)

「正規」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「非正規・短時間」の割合が 13.5%、「非正規・フルタイム」の割合が 10.6%となっています。



問 13 あなたの施設での職務はどちらに該当しますか。(回答は一つ)

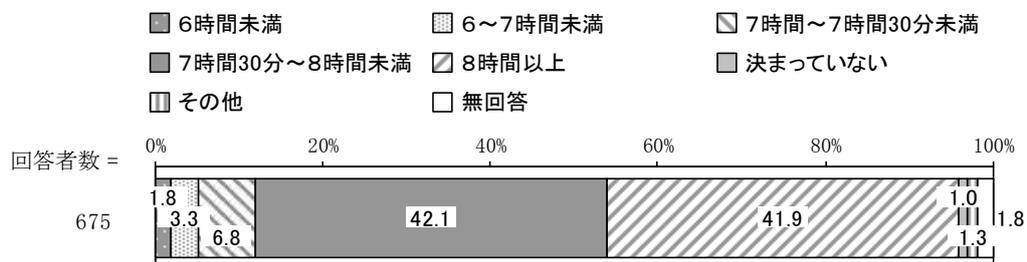
「管理職 (就業規則で定められた始業、終業時刻に拘束されることなく出退勤の時刻を自由な裁量で決定することのできる立場にある人のこと。福祉施設では、施設長、事務長が該当。)」の割合が 11.6%、「管理職以外」の割合が 86.5%となっています。



(2) 時間外の労働実態について

問 14 あなたの1日の決められた就業時間(休憩を除く)をお答えください。(回答は一つ)

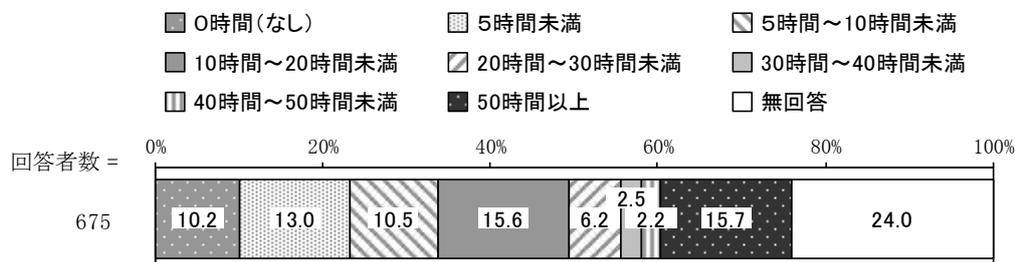
「7時間30分～8時間未満」の割合が42.1%と最も高く、次いで「8時間以上」の割合が41.9%となっています。



問 15 先月1か月間で時間外労働はどれくらいありましたか。(サービス早出、サービス残業、休憩中のサービス作業等を含む実際の時間外労働時間をおおよそで) また、超勤手当は何時間分、支給されましたか。

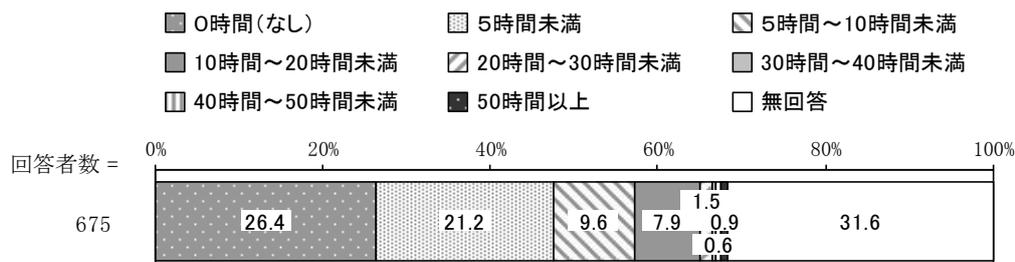
ア 実際働いた時間

「50時間以上」の割合が15.7%と最も高く、次いで「10時間～20時間未満」の割合が15.6%、「5時間未満」の割合が13.0%となっています。



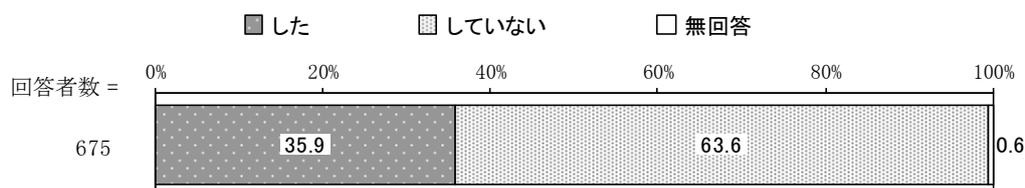
イ 超勤手当が支払われた時間

「0時間(なし)」の割合が26.4%と最も高く、次いで「5時間未満」の割合が21.2%となっています。



**問 16 あなたは先月の1か月で勤務開始時間の30分以上前に出勤して仕事をしましたか。
(回答は一つ)**

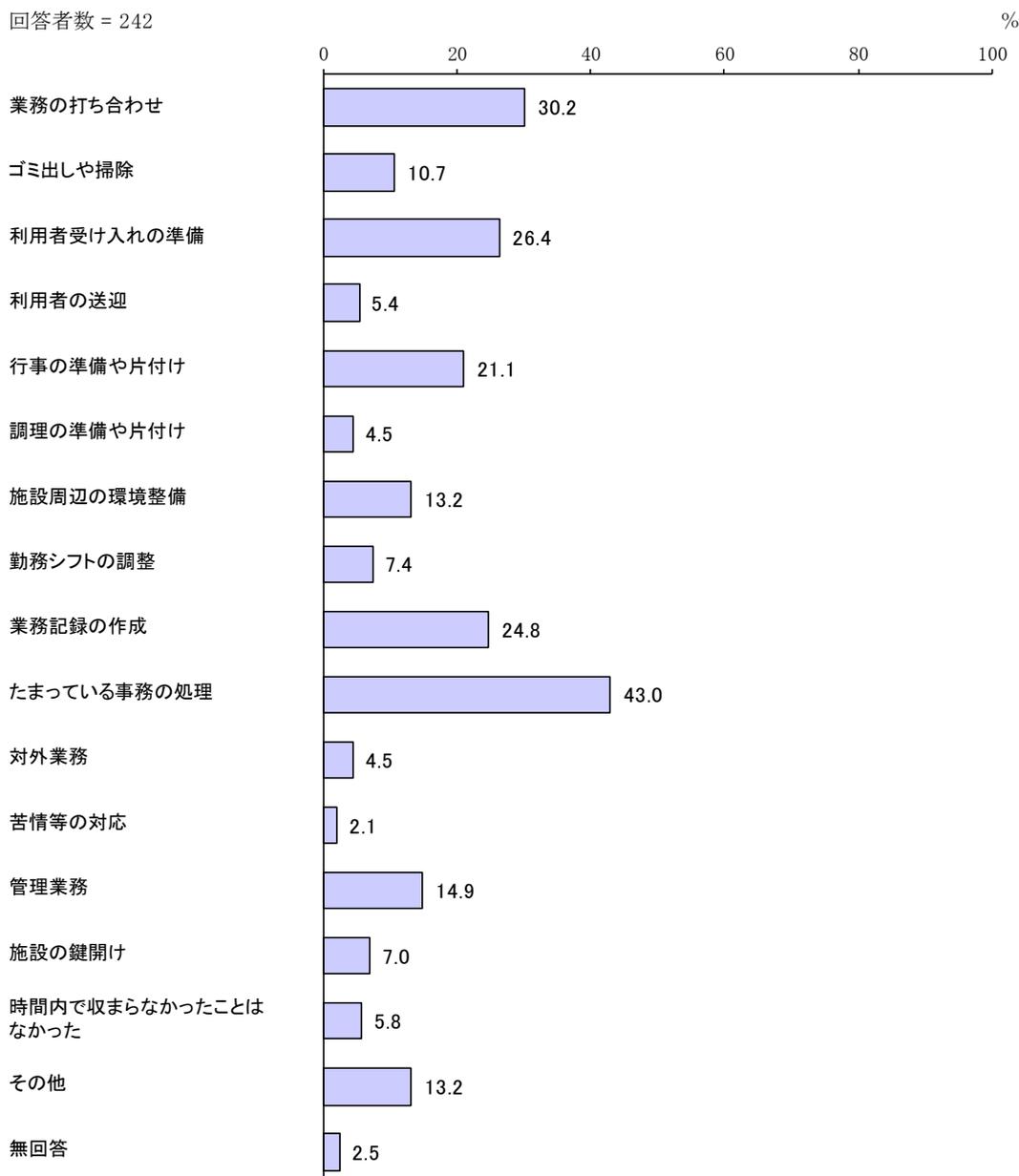
「した」の割合が35.9%、「していない」の割合が63.6%となっています。



問16で「1. した」と答えた方にお聞きします。

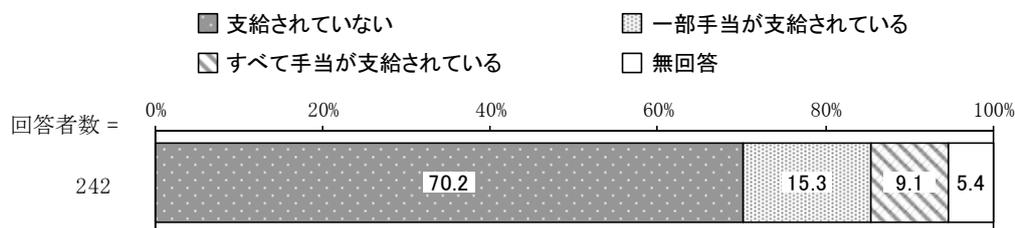
問 16-1 先月1か月の間に、時間内で収まらなかった仕事はありますか。ある場合は、どのような仕事を時間外に行いましたか。(あてはまるものすべて)

「たまっている事務の処理」の割合が43.0%と最も高く、次いで「業務の打ち合わせ」の割合が30.2%、「利用者受け入れの準備」の割合が26.4%となっています。



問 16-2 先月の勤務時間前の仕事に超勤手当は支給されましたか。(回答は一つ)

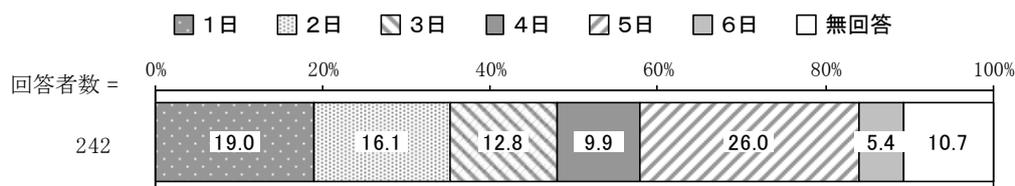
「支給されていない」の割合が70.2%と最も高く、次いで「一部手当が支給されている」の割合が15.3%となっています。



問 16-3 先月1か月で、勤務時間前に仕事したのは、平均すると何日ですか。また、勤務時間前に仕事をする日はおおよそ平均で1日何分ぐらいでしたか。(回答は各一つ)

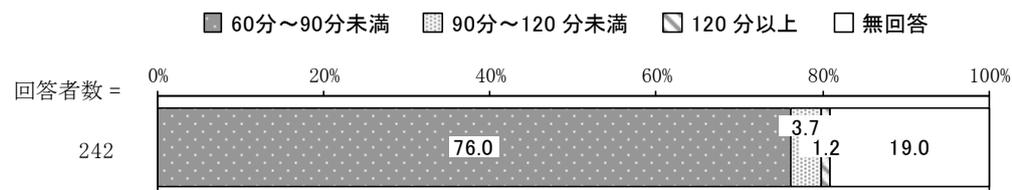
ア 週平均日数

「5日」の割合が26.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.0%、「2日」の割合が16.1%となっています。



イ 1日あたりの時間

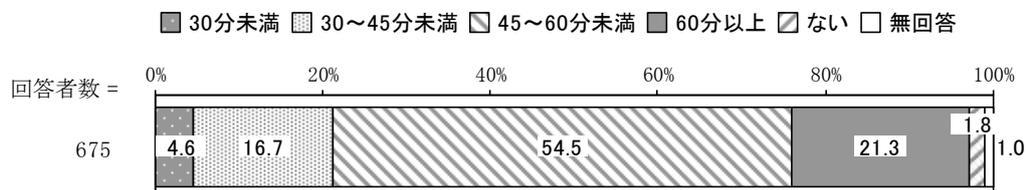
「60分～90分未満」の割合が76.0%と最も高くなっています。



(3) 休憩について

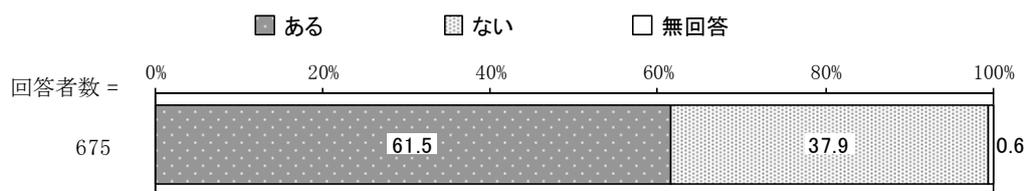
問 17-1 あなたの、決められた休憩時間(実際とれる休憩時間ではない)は何分ですか。(回答は一つ)

「45～60分未満」の割合が54.5%と最も高く、次いで「60分以上」の割合が21.3%、「30～45分未満」の割合が16.7%となっています。



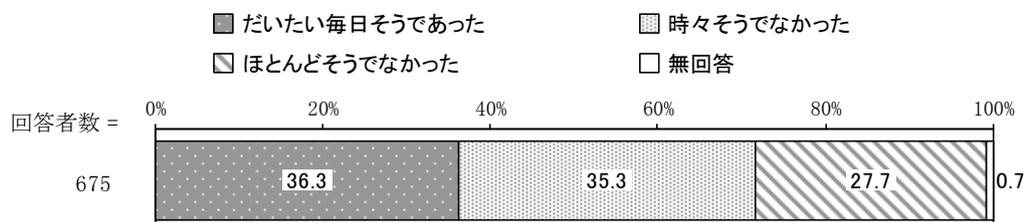
問 17-2 あなたの勤務する施設に(事務室以外の)職員(スタッフ)のための休憩室はありますか。(回答は一つ)

「ある」の割合が61.5%、「ない」の割合が37.9%となっています。



問 17-3 あなたは、先月の1か月、付与されている休憩のすべての時間を(業務から離れて)自由に過ごせましたか。(回答は一つ)

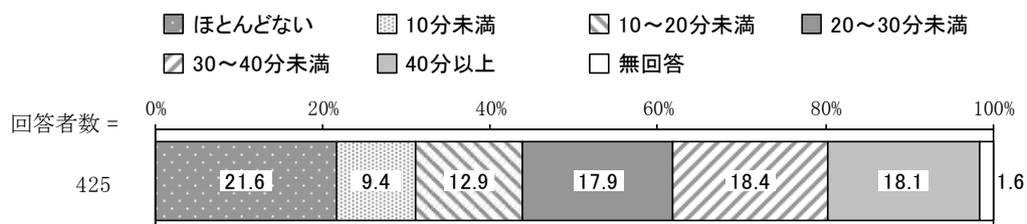
「だいたい毎日そうであった」の割合が36.3%と最も高く、次いで「時々そうでなかった」の割合が35.3%、「ほとんどそうでなかった」の割合が27.7%となっています。



問 17-3 で「2. 時々そうでなかった」「3. ほとんどそうでなかった」と答えた方にお聞きします。

問 17-4 先月の1か月、休憩時間に、仕事をしないで自由に過ごせたのは、1日平均で何分くらいですか。(回答は一つ)

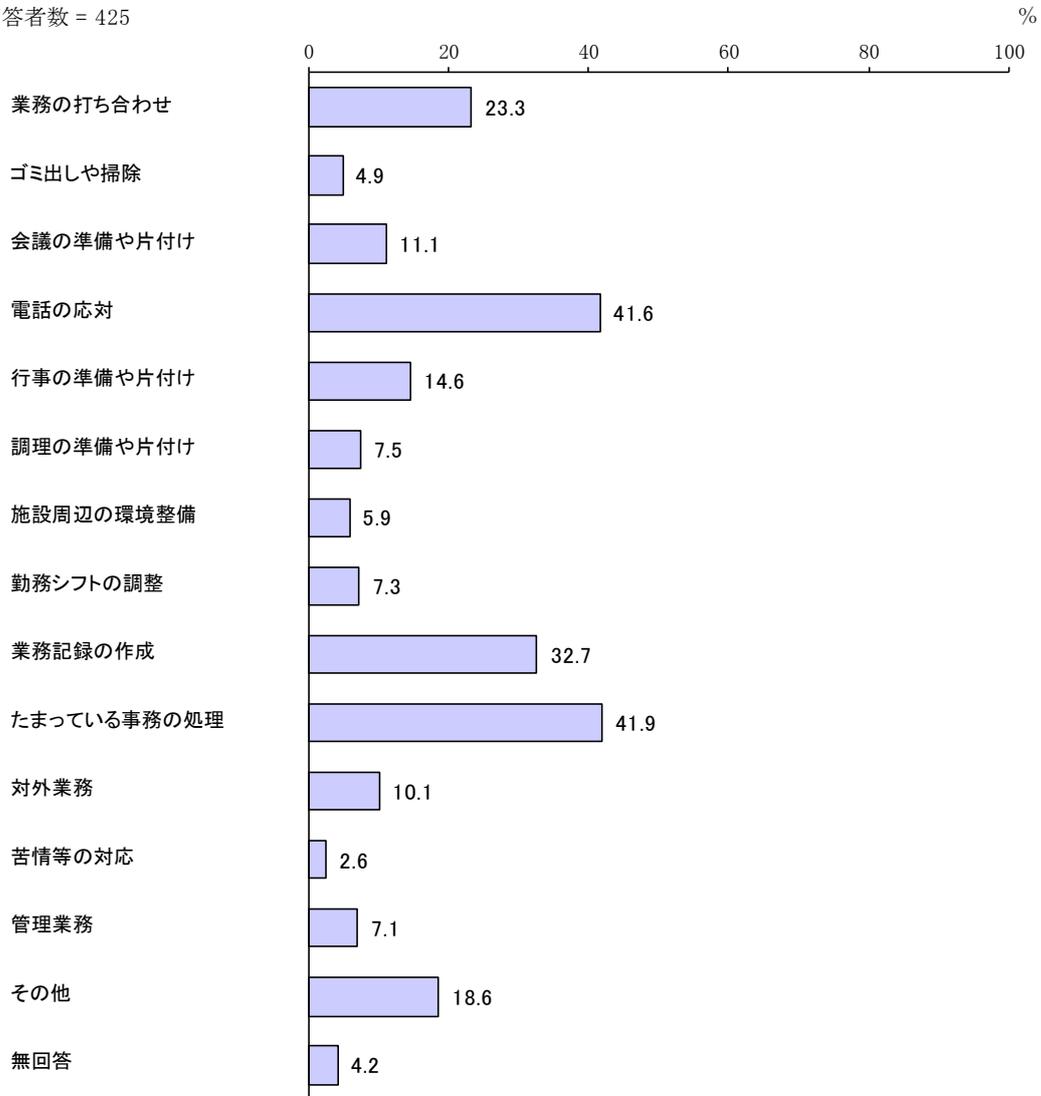
「ほとんどない」の割合が21.6%と最も高く、次いで「30~40分未満」の割合が18.4%、「40分以上」の割合が18.1%となっています。



問 17-5 以下のうち、先月の1か月、休憩中に行った業務はどれですか。
(あてはまるものすべて)

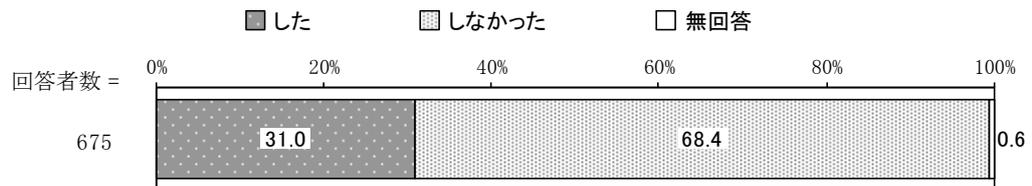
「たまっている事務の処理」の割合が41.9%と最も高く、次いで「電話の応対」の割合が41.6%、「業務記録の作成」の割合が32.7%となっています。

回答者数 = 425



問 18-1 先月の1か月で、あなたは家に持ち帰って仕事をしましたか。(回答は一つ)

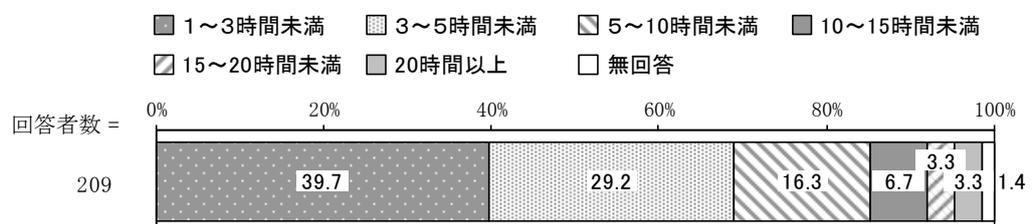
「した」の割合が31.0%、「しなかった」の割合が68.4%となっています。



問 18-1 で「1. した」と答えた方にお聞きします。

問 18-2 先月の持ち帰り仕事時間は月あたり何時間くらいでしたか。(回答は一つ)

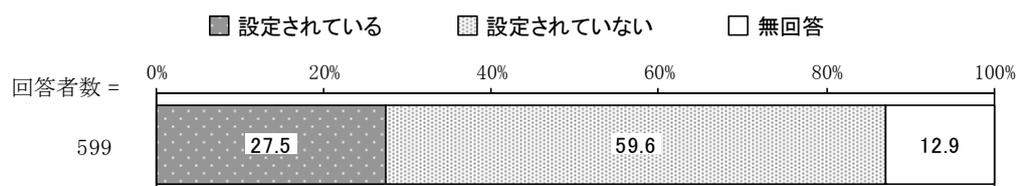
「1～3時間未満」の割合が39.7%と最も高く、次いで「3～5時間未満」の割合が29.2%、「5～10時間未満」の割合が16.3%となっています。



事務職、管理者以外の方に、事務作業についてお聞きします。

問 19-1 あなたの職場では、本来の業務から離れて事務を行う時間が勤務時間内に設定されていますか。(回答は一つ)

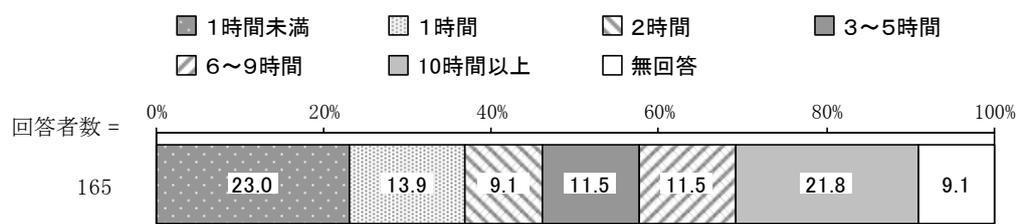
「設定されている」の割合が27.5%、「設定されていない」の割合が59.6%となっています。



問 19-1 で「設定されている」と答えた方にお聞きします。

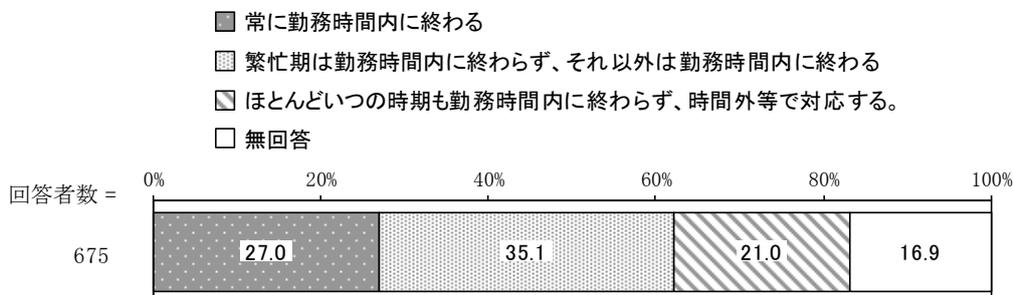
問 19-2 1か月に設定されている事務時間はおよそ何時間ですか。(回答は一つ)

「1時間未満」の割合が23.0%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が21.8%、「1時間」の割合が13.9%となっています。



問 20 年間を通して、業務は勤務時間内に終わりますか。(回答は一つ)

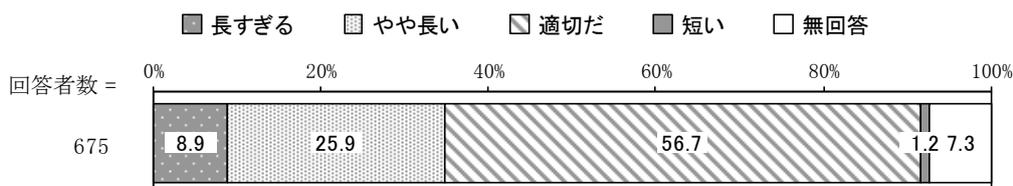
「繁忙期は勤務時間内に終わらず、それ以外は勤務時間内に終わる」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「常に勤務時間内に終わる」の割合が 27.0%、「ほとんどいつの時期も勤務時間内に終わらず、時間外等に対応する。」の割合が 21.0%となっています。



問 21 現在の業務での労働について、あなたはどのように感じていますか。

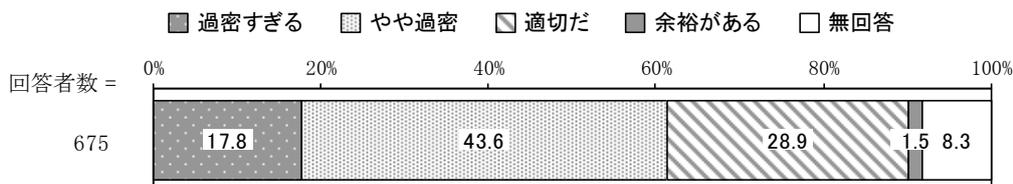
ア 労働時間

「適切だ」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「やや長い」の割合が 25.9%となっています。



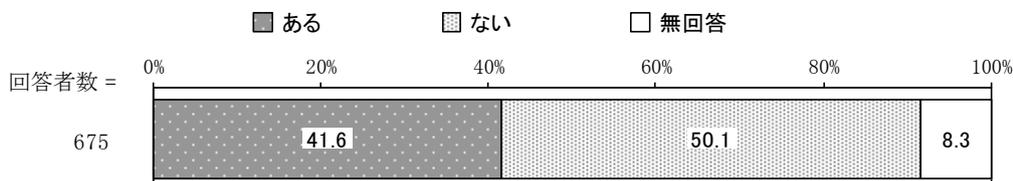
イ 労働密度

「やや過密」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「適切だ」の割合が 28.9%、「過密すぎる」の割合が 17.8%となっています。



問 22 時間外労働をし、残業時間申請をしようとしたとき、ハードルはありますか。(回答は一つ)

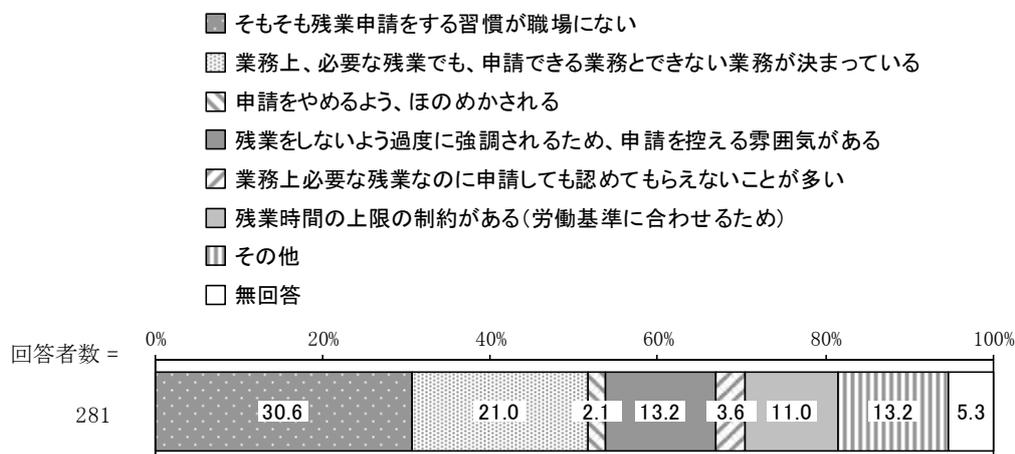
「ある」の割合が 41.6%、「ない」の割合が 50.1%となっています。



問 22 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 22-1 残業時間申請のハードルは何ですか。(回答は一つ)

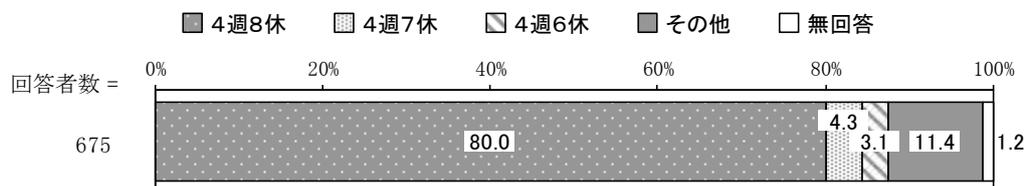
「そもそも残業申請をする習慣が職場にない」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「業務上、必要な残業でも、申請できる業務とできない業務が決まっている」の割合が 21.0%、「残業をしないよう過度に強調されるため、申請を控える雰囲気がある」の割合が 13.2%となっています。



(4) 休日や休暇、時差勤務について

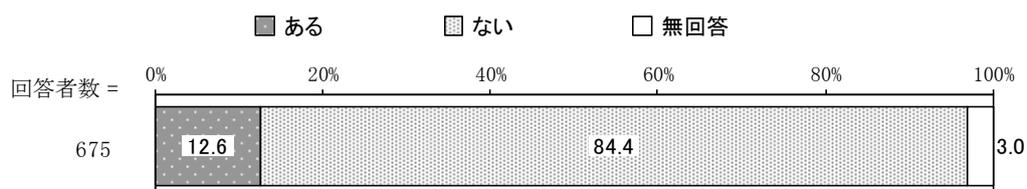
問 23-1 あなたの施設では職員個人の休日は何日ですか。(回答は一つ)

「4週8休」の割合が80.0%と最も高くなっています。



問 23-2 あなたは休日に利用者やその家族等との話し合いをすることがありますか。(回答は一つ)

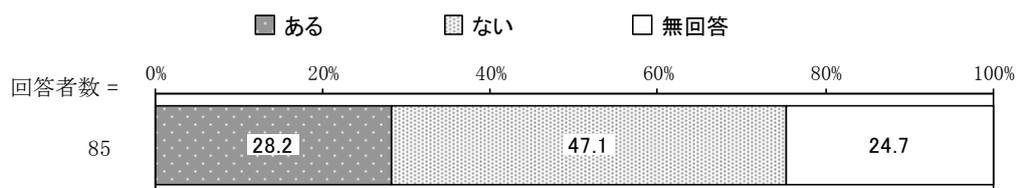
「ある」の割合が12.6%、「ない」の割合が84.4%となっています。



① 「ある」と回答した人の手当・代休の有無

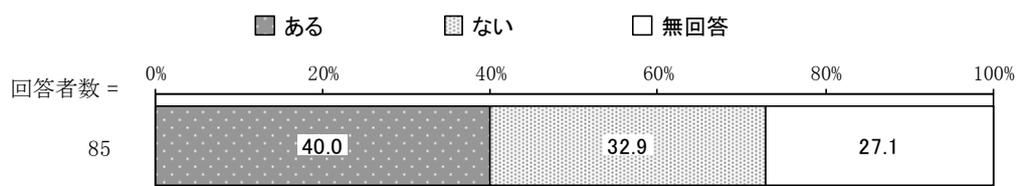
ア 手当

「ある」の割合が28.2%、「ない」の割合が47.1%となっています。



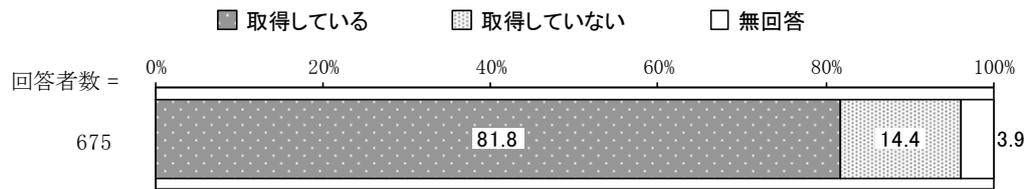
イ 代休

「ある」の割合が40.0%、「ない」の割合が32.9%となっています。



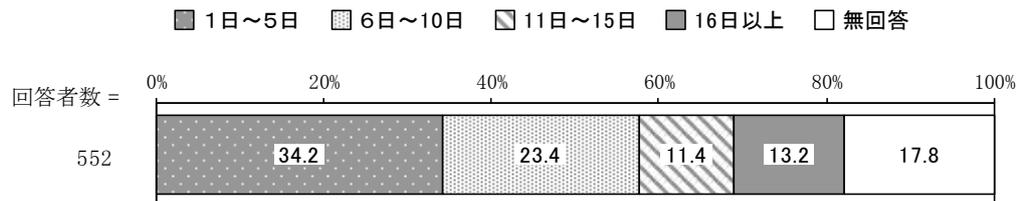
問 24 あなたは有給休暇を取得していますか。(回答は一つ)

「取得している」の割合が81.8%、「取得していない」の割合が14.4%となっています。



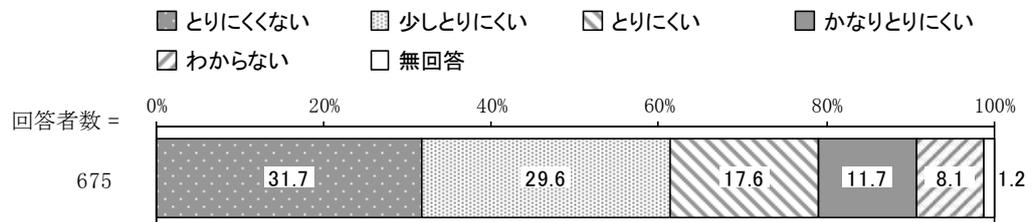
年次有給休暇取得日数

「1日～5日」の割合が34.2%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が23.4%、「16日以上」の割合が13.2%となっています。



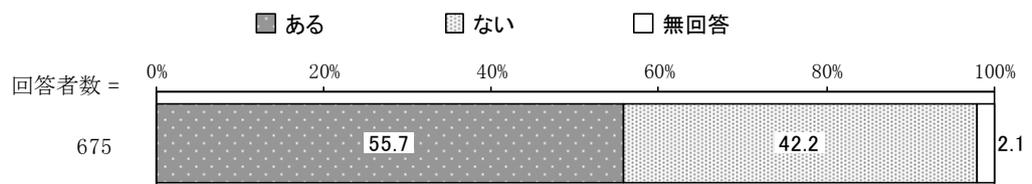
問 25 あなたは有給休暇をとりにくく感じていますか。(回答は一つ)

「とりにくくない」の割合が31.7%と最も高く、次いで「少しとりにくい」の割合が29.6%、「とりにくい」の割合が17.6%となっています。



問 26 休日に気分転換に行っていることはありますか。(回答は一つ)

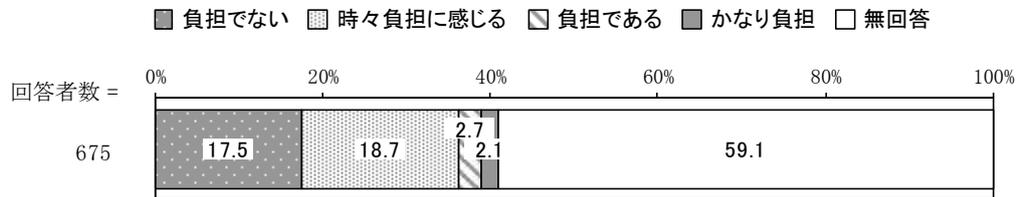
「ある」の割合が55.7%、「ない」の割合が42.2%となっています。



時差勤務のある方にお聞きします。

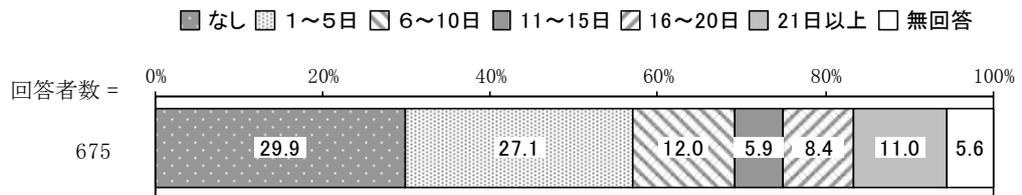
問 27 あなたは、時差勤務について、どのように感じていますか。(回答は一つ)

「時々負担を感じる」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「負担でない」の割合が 17.5%となっています。



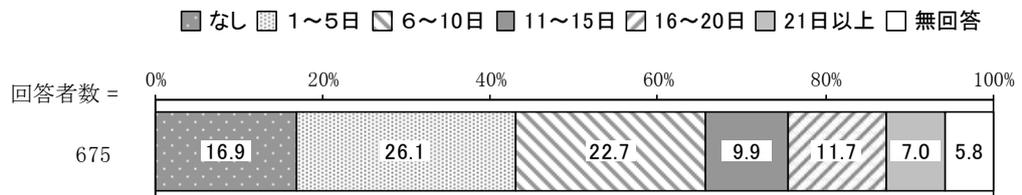
問 28-1 先月の1ヶ月間で、早出や時差勤務等を問わず、実際に7時59分より前に施設に来た日は何日ありましたか。(回答は一つ)

「なし」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「1～5日」の割合が 27.1%、「6～10日」の割合が 12.0%となっています。



問 28-2 先月の1ヶ月間で、残業や時差勤務等を問わず、実際に18時以降に施設を出た日は何日ありましたか。(回答は一つ)

「1～5日」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が 22.7%、「なし」の割合が 16.9%となっています。

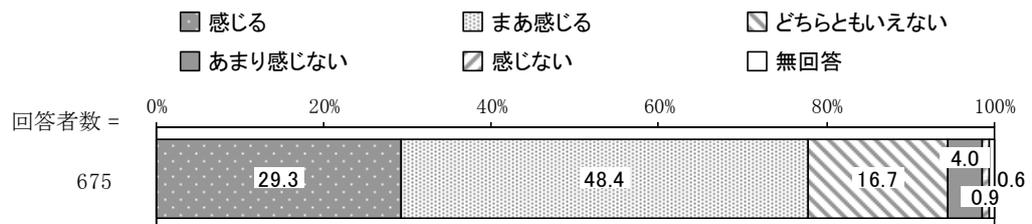


(5) 仕事に対しての感じ方や心身の状況について

問 29 現在の業務で働くやりがいなどについて。それぞれの項目でどの程度感じていますか。もっともあてはまるものを選んでください。(回答は各一つ)

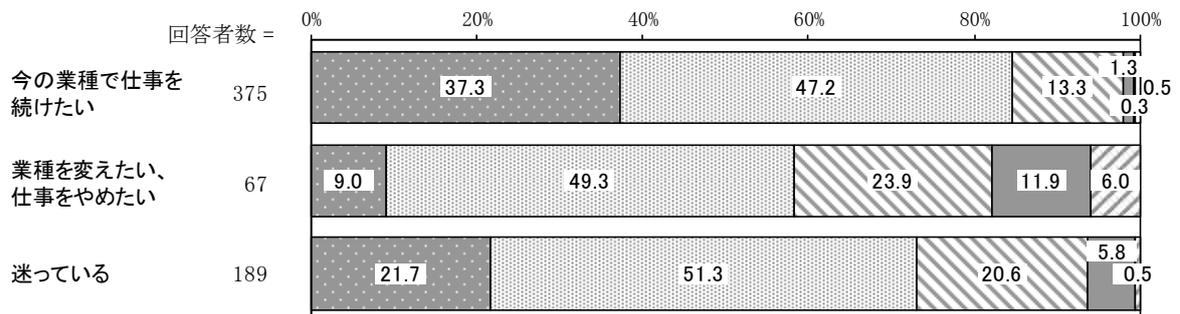
ア 人の役に立っている

「感じる」と「まあ感じる」をあわせた“感じる”の割合が77.7%、「どちらともいえない」の割合が16.7%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が4.9%となっています。



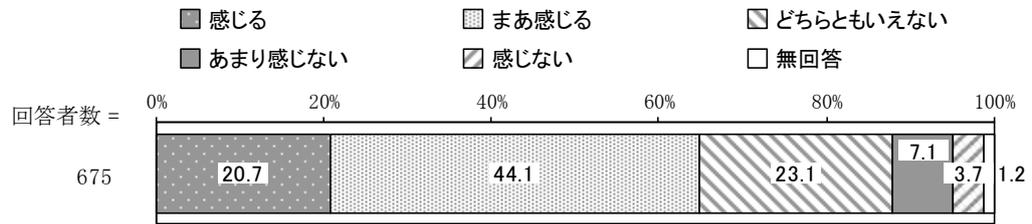
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



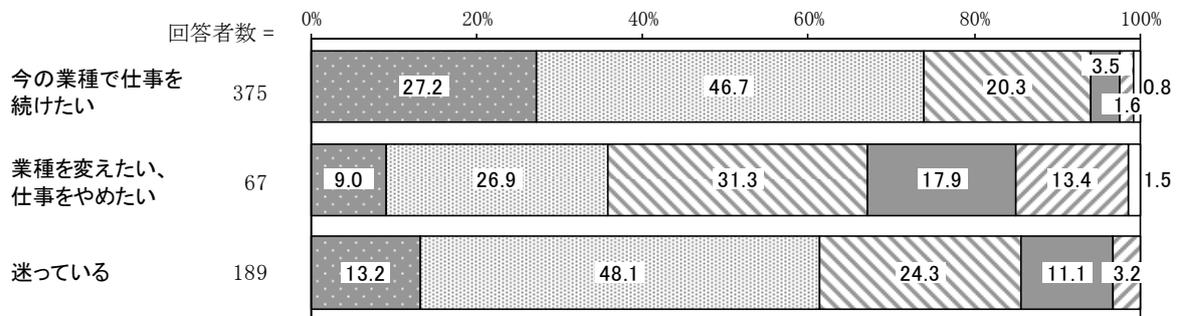
イ 自分の資格や持ち味が活かしている

“感じる”の割合が64.8%、「どちらともいえない」の割合が23.1%、“感じない”の割合が10.8%となっています。



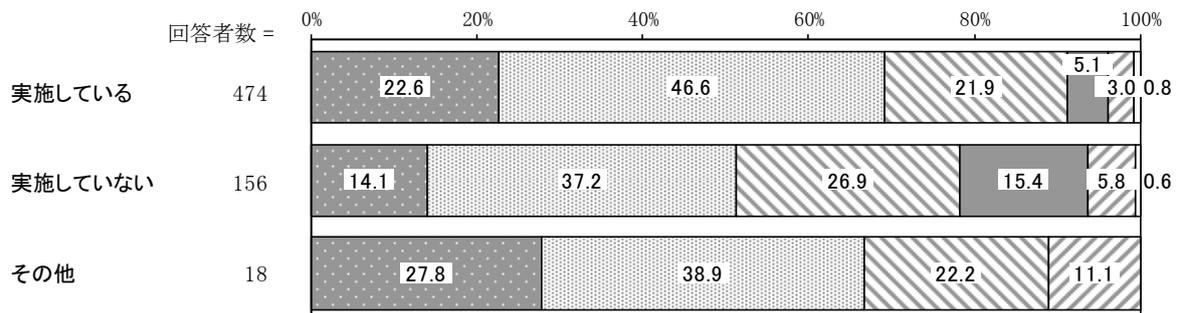
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



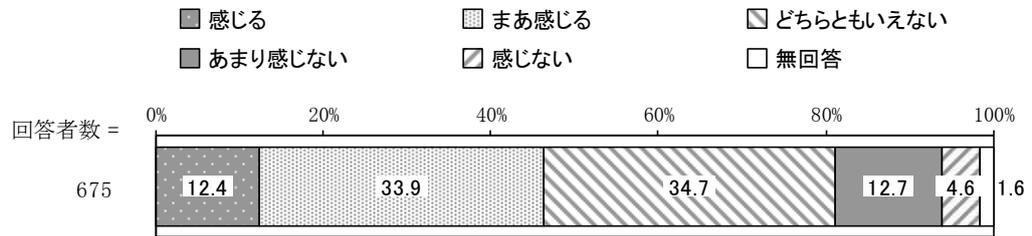
【職員研修実施の有無別】

職員研修実施の有無別で比較すると、実施しているで“感じる”の割合が高くなっています。一方、実施していないで“感じない”の割合が高くなっています。



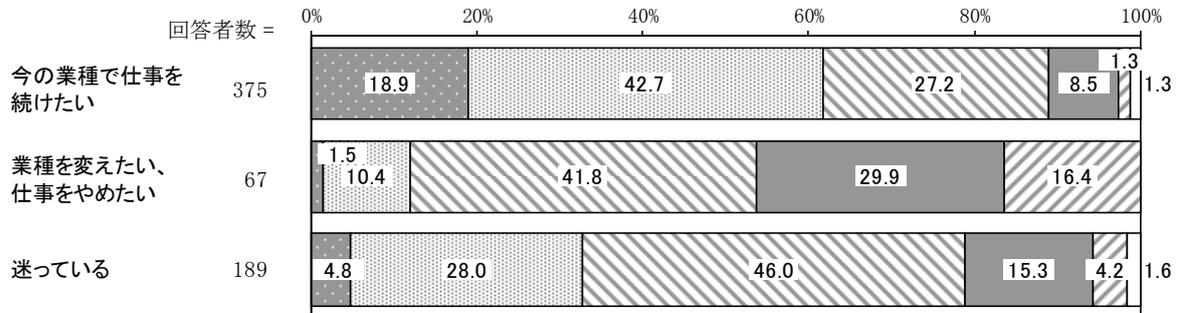
ウ 事業所の方針と自分のやりたいことが合っている

“感じる”の割合が46.3%、「どちらともいえない」の割合が34.7%、“感じない”の割合が17.3%となっています。



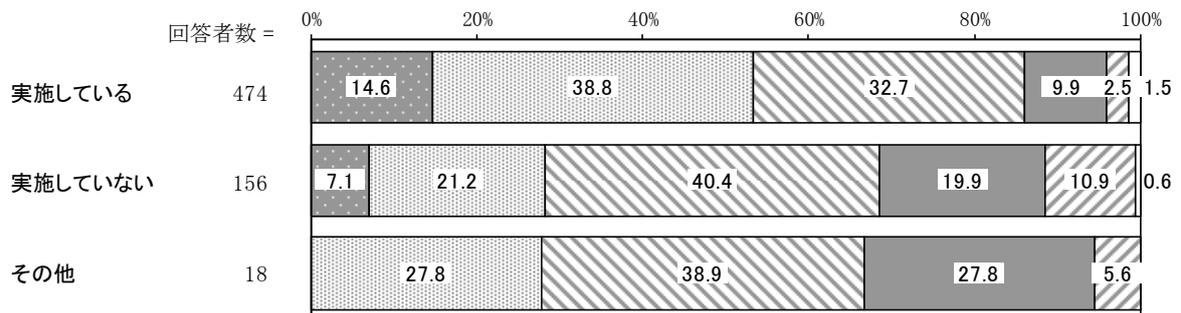
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



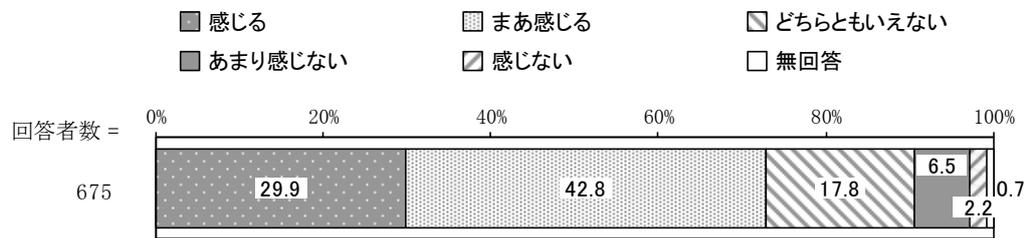
【職員研修実施の有無別】

職員研修実施の有無別で比較すると、実施しているで“感じる”の割合が高くなっています。一方、実施していないで“感じない”の割合が高くなっています。



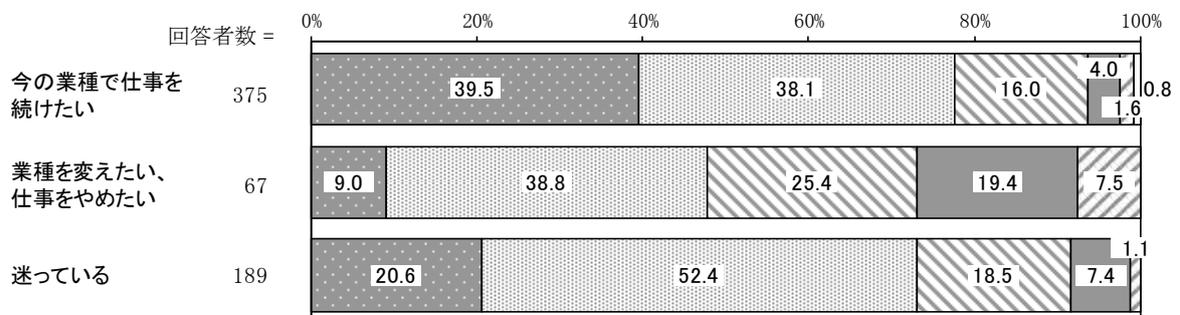
エ 利用者と過ごす楽しさ

“感じる”の割合が72.7%、「どちらともいえない」の割合が17.8%、“感じない”の割合が8.7%となっています。



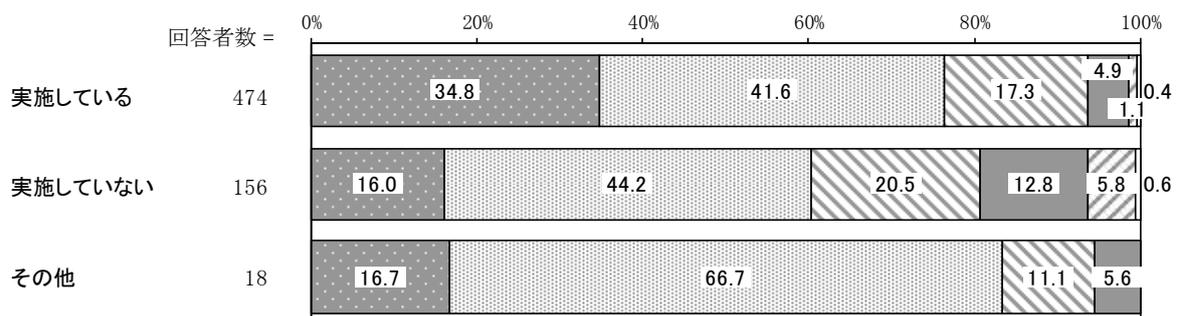
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



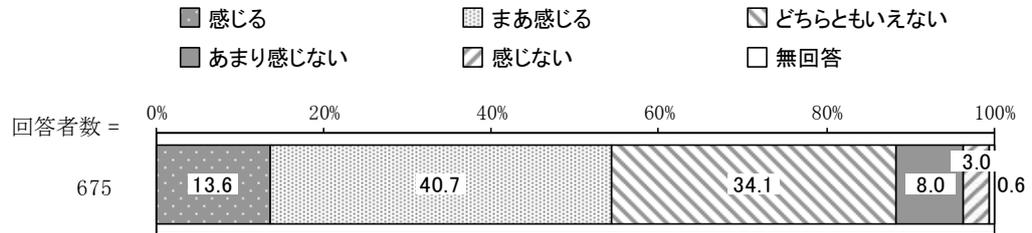
【職員研修実施の有無別】

職員研修実施の有無別で比較すると、実施しているで“感じる”の割合が高くなっています。一方、実施していないで“感じない”の割合が高くなっています。



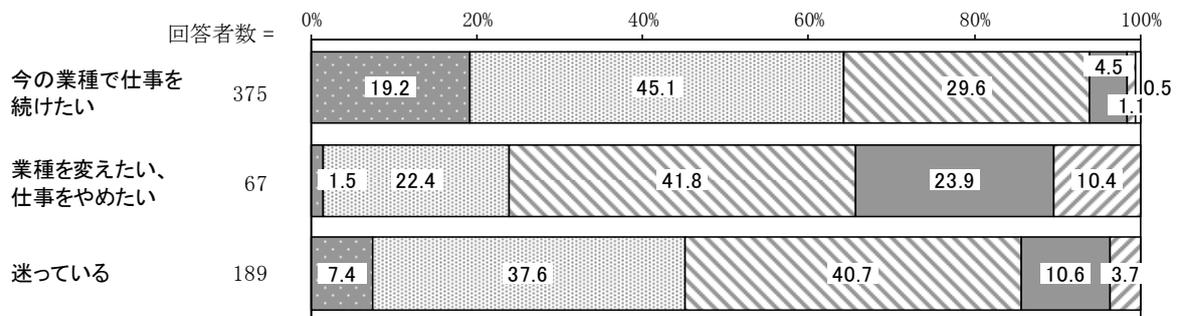
オ 職員としての自分の成長

“感じる”の割合が54.3%、「どちらともいえない」の割合が34.1%、“感じない”の割合が11.0%となっています。



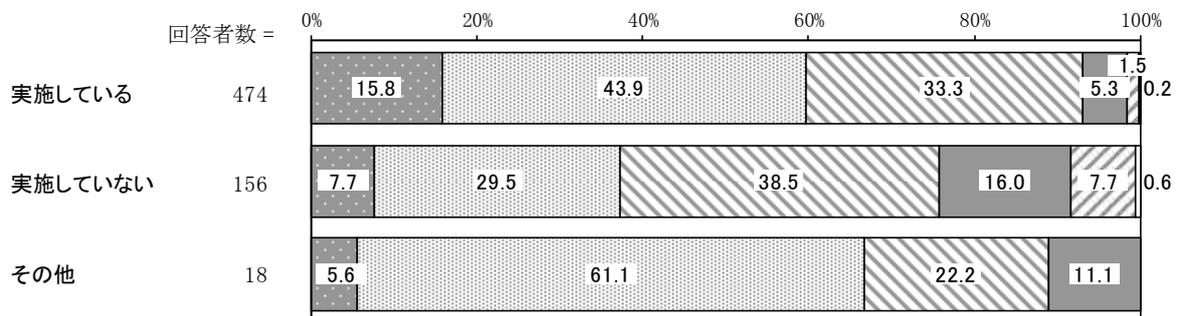
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



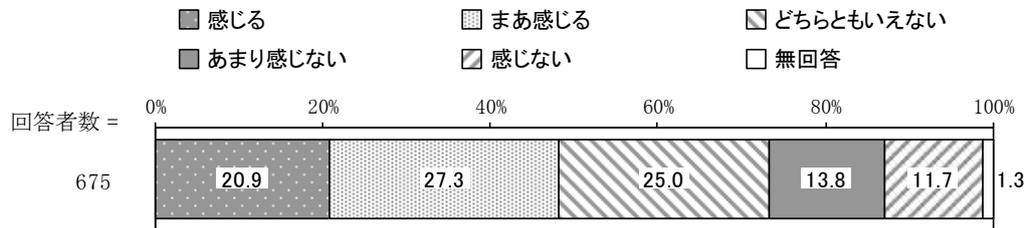
【職員研修実施の有無別】

職員研修実施の有無別で比較すると、実施しているで“感じる”の割合が高くなっています。一方、実施していないで“感じない”の割合が高くなっています。



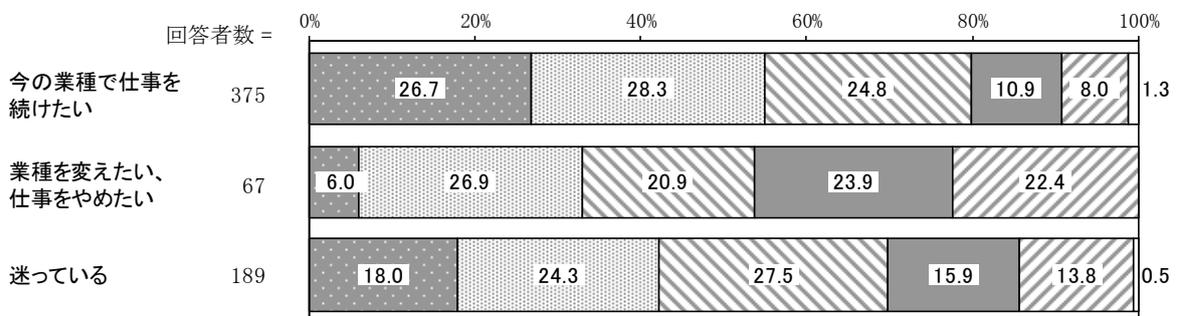
カ 目標にしたい先輩・同僚がいる

“感じる”の割合が48.2%、「どちらともいえない」の割合が25.0%、“感じない”の割合が25.5%となっています。



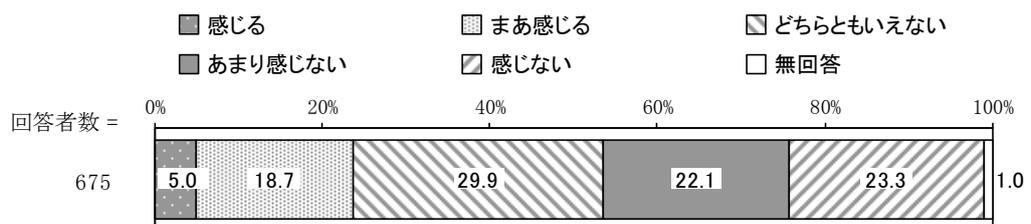
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



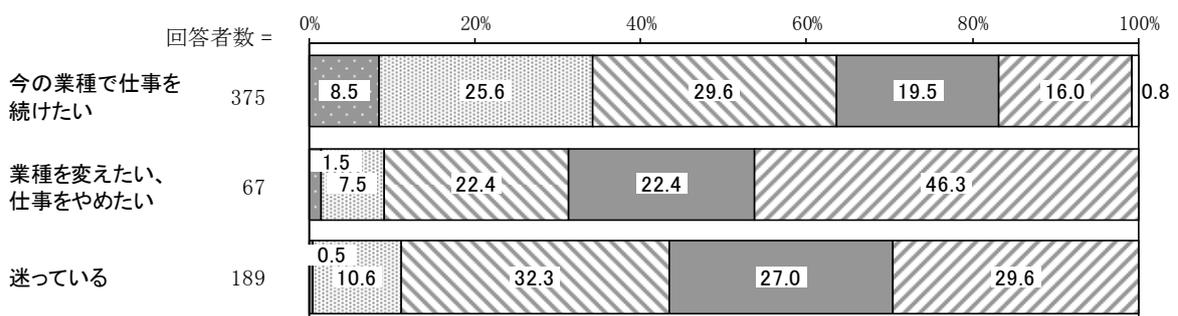
キ 賃金に見合っている

“感じる”の割合が23.7%、「どちらともいえない」の割合が29.9%、“感じない”の割合が45.4%となっています。



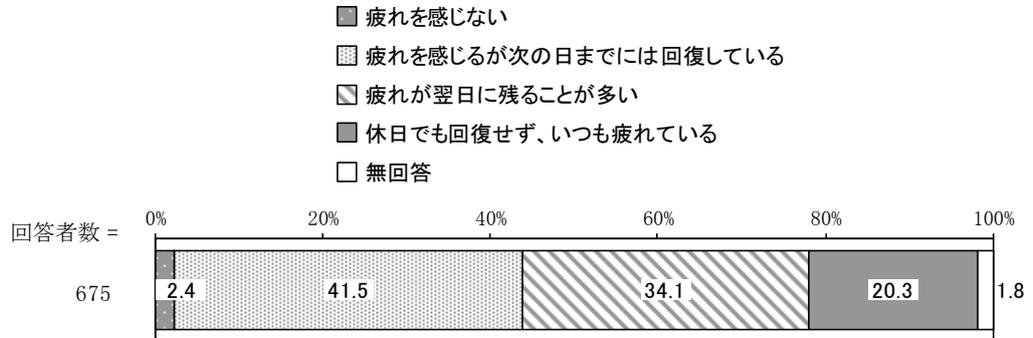
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



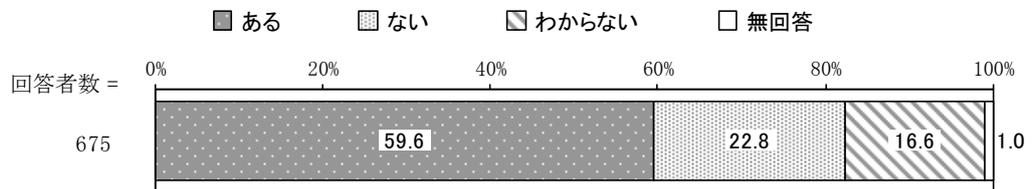
問 30 あなたの仕事での疲れはどの程度ですか。(回答は一つ)

「疲れを感じるが次の日までには回復している」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「疲れが翌日に残ることが多い」の割合が 34.1%、「休日でも回復せず、いつも疲れている」の割合が 20.3%となっています。



問 31-1 今の仕事にあなたは強い不満、悩み、ストレスがありますか。(回答は一つ)

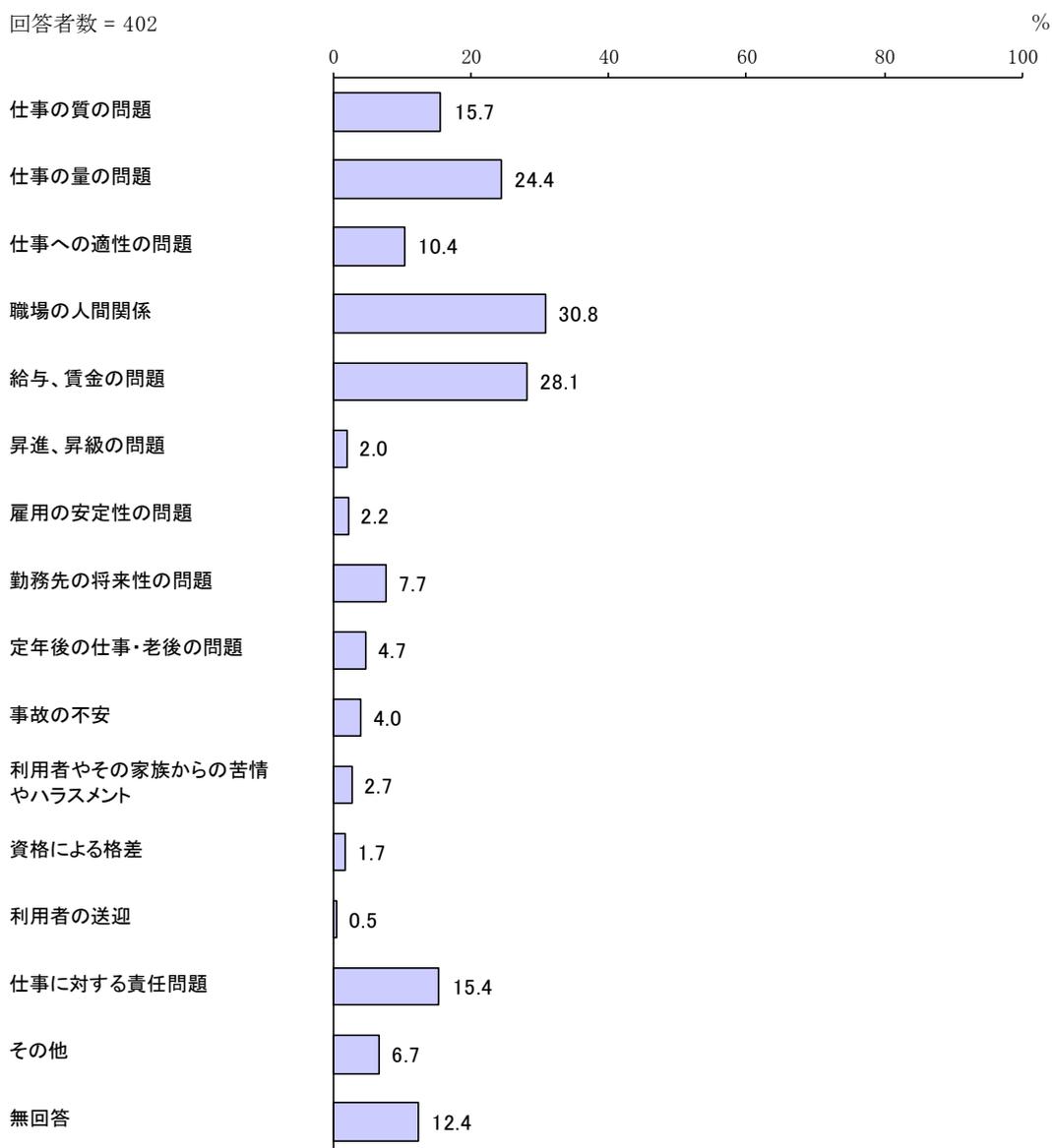
「ある」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が 22.8%、「わからない」の割合が 16.6%となっています。



問31-1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問31-2 その大きな要因はなにですか。(回答は二つまで)

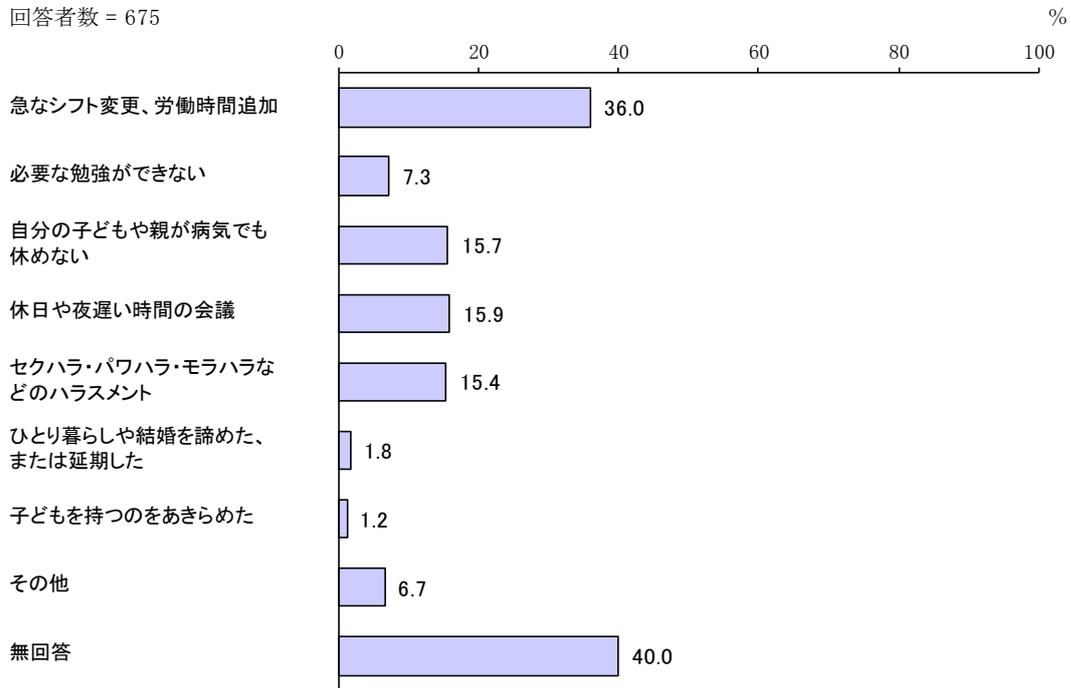
「職場の人間関係」の割合が30.8%と最も高く、次いで「給与、賃金の問題」の割合が28.1%、「仕事の量の問題」の割合が24.4%となっています。



問 32 あなたが施設で経験したことをお答えください。(あてはまるものすべて)

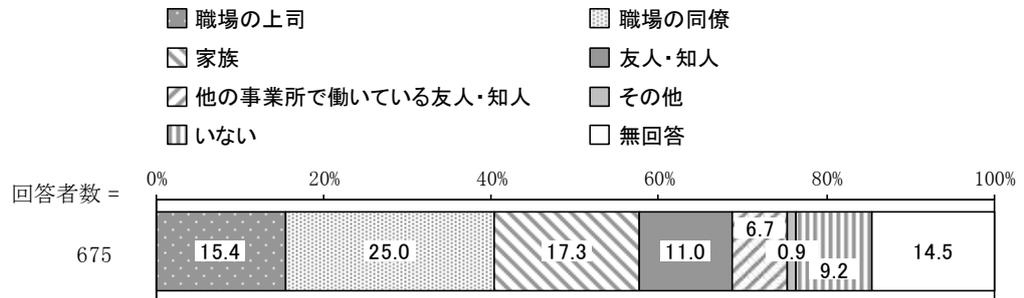
「急なシフト変更、労働時間追加」の割合が36.0%と最も高く、次いで「休日や夜遅い時間の会議」の割合が15.9%、「自分の子どもや親が病気でも休めない」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 675



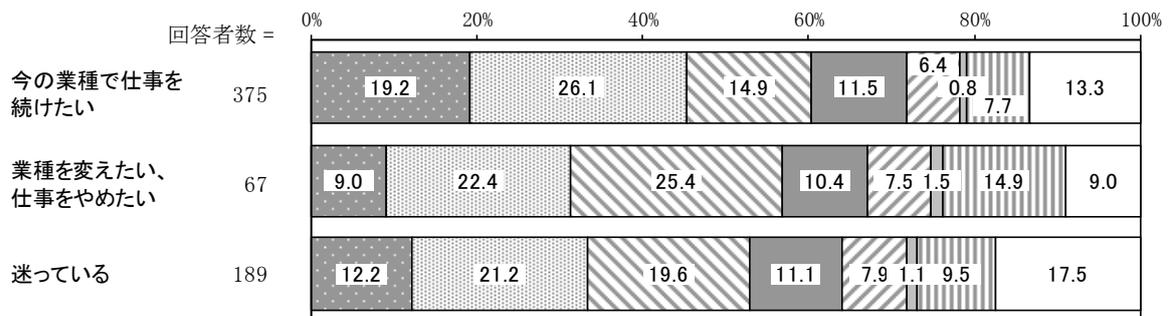
問 33 仕事における悩みなど誰に相談することが多いですか。(回答は一つ)

「職場の同僚」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「家族」の割合が 17.3%、「職場の上司」の割合が 15.4%となっています。



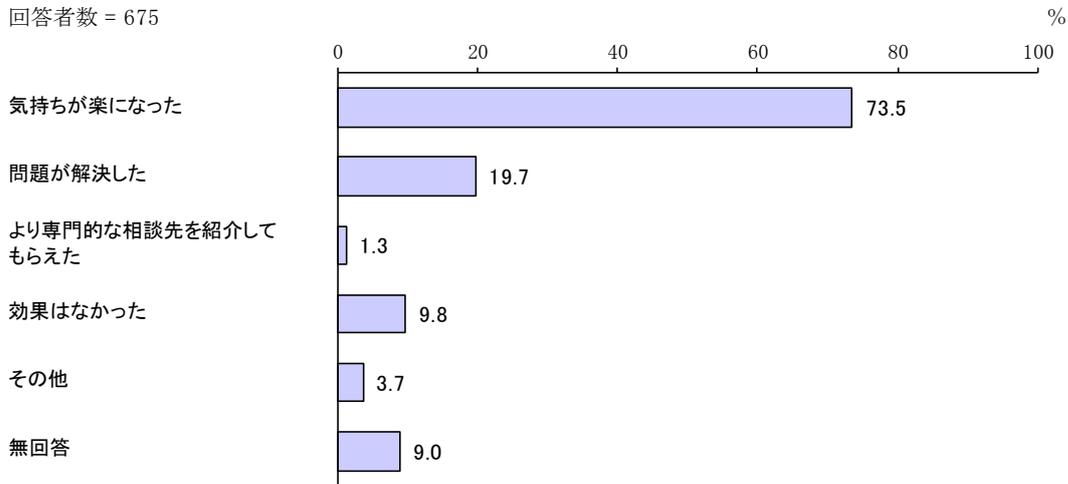
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで「職場の上司」の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで「家族」「いない」の割合が高くなっています。



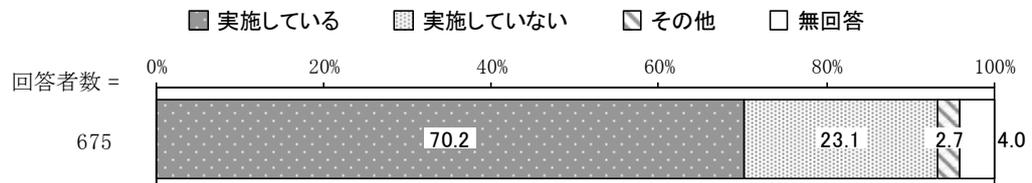
問 34 相談してどのような効果がありましたか。(あてはまるものすべて)

「気持ちが楽になった」の割合が73.5%と最も高く、次いで「問題が解決した」の割合が19.7%となっています。



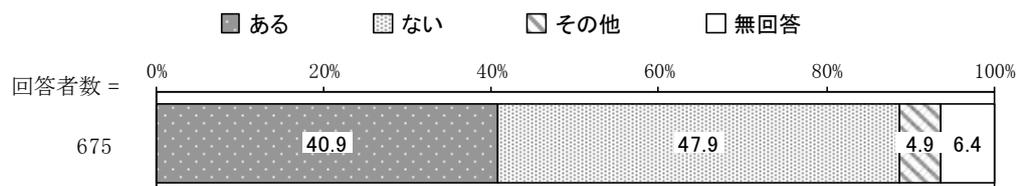
問 36 あなたの職場では、職員のスキルアップにつながる研修を実施していますか。(回答は一つ)

「実施している」の割合が70.2%、「実施していない」の割合が23.1%となっています。



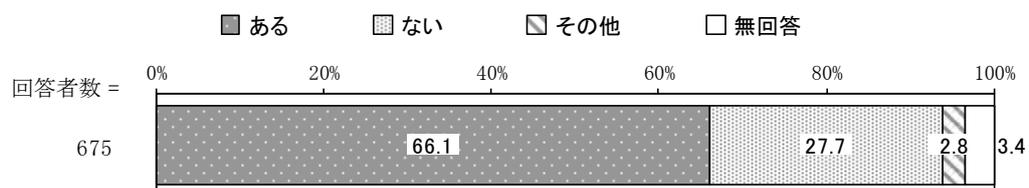
問 37 あなたの職場では、職場のリーダーを養成する研修を行える状況にありますか。(回答は一つ)

「ある」の割合が40.9%、「ない」の割合が47.9%となっています。



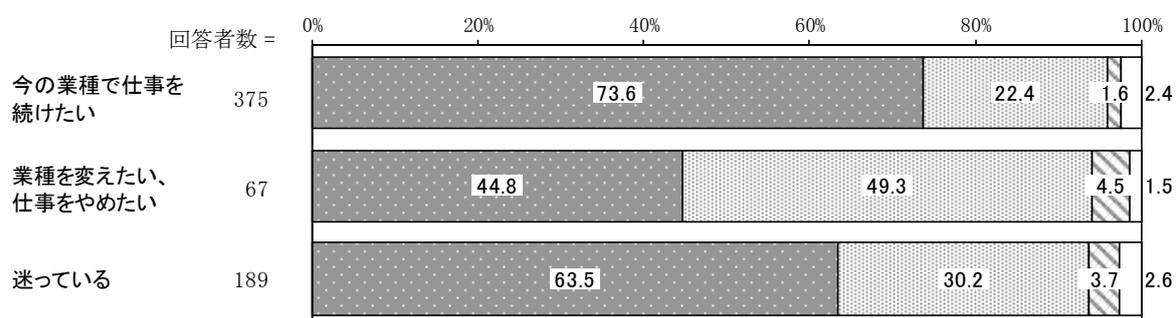
問 38 あなたの職場では、利用者からの苦情や職員の悩みや相談ごとへの対処法を職場で検討する機会がありますか。(回答は一つ)

「ある」の割合が66.1%、「ない」の割合が27.7%となっています。



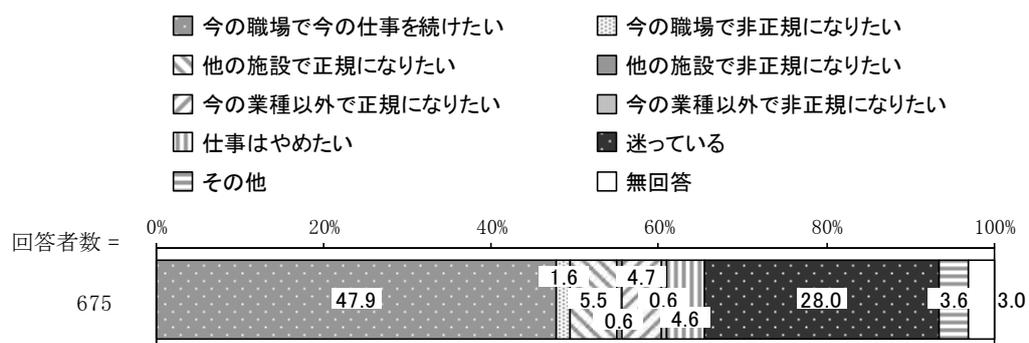
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで「ある」の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで「ない」の割合が高くなっています。



問 39 あなたは、今後も現在の業種で働きたいと思っていますか。(回答は一つ)

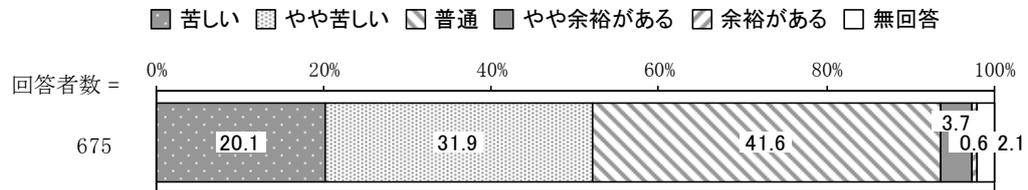
「今の職場で今の仕事を続けたい」の割合が47.9%と最も高く、次いで「迷っている」の割合が28.0%となっています。



(6) 賃金や生計についての感じ方、現状について

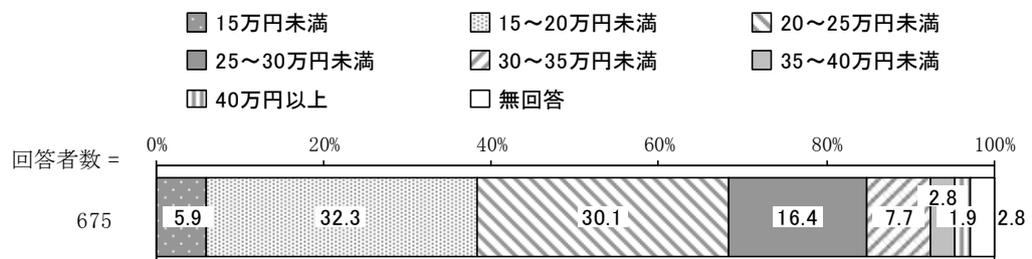
問 40 生計の状況について、どうお感じですか。(回答は一つ)

「苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が52.0%、「普通」の割合が41.6%、「やや余裕がある」と「余裕がある」をあわせた“余裕がある”の割合が4.3%となっています。



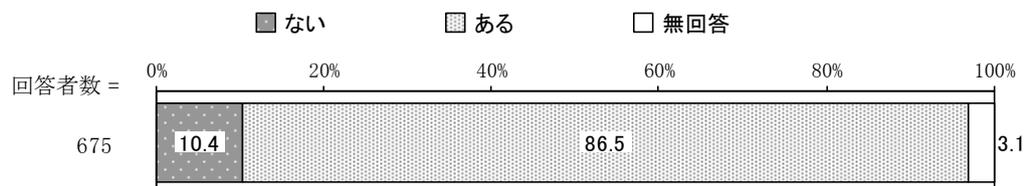
問 41 現在の職での月の総収入額はいくらですか。(回答は一つ)

「15～20万円未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「20～25万円未満」の割合が30.1%、「25～30万円未満」の割合が16.4%となっています。



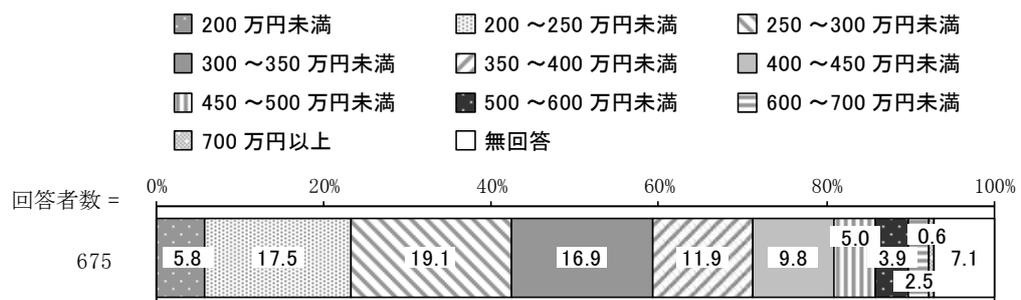
問 42 ボーナスの支給はありますか。(回答は一つ)

「ない」の割合が10.4%、「ある」の割合が86.5%となっています。



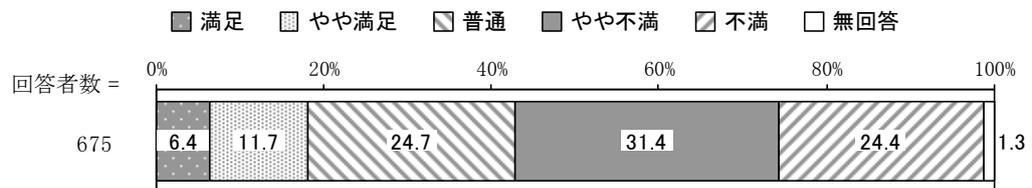
問 43 あなたの昨年度の年間給与総額(手当や一時金を含む額面)はおよそいくらでしたか。(回答は一つ)

「250～300万円未満」の割合が19.1%と最も高く、次いで「200～250万円未満」の割合が17.5%、「300～350万円未満」の割合が16.9%となっています。



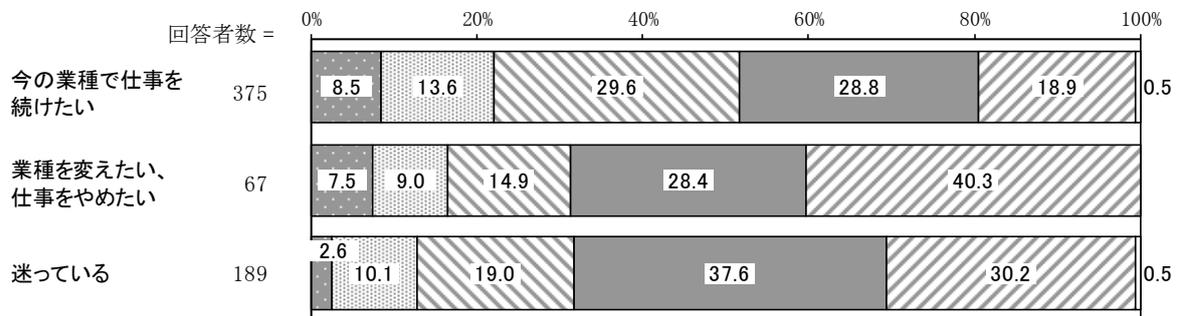
問 43-1 あなたは給料・賃金は十分だと思いますか。(回答は一つ)

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が18.1%、「普通」の割合が24.7%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が55.8%となっています。



【就業継続意向別】

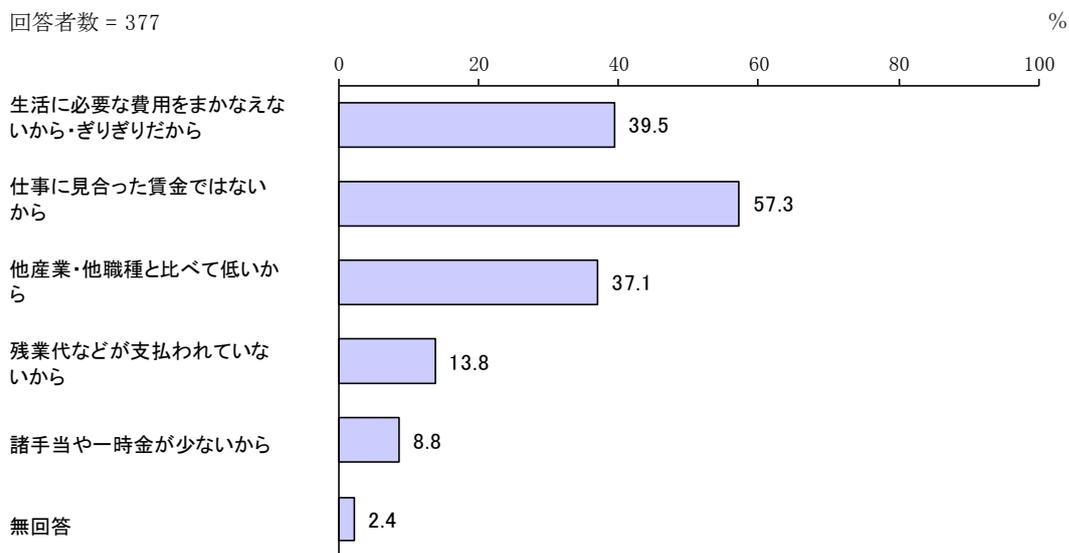
就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“満足”「普通」の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたい、迷っているで“不満”の割合が高くなっています。



問 43-1 で「4. やや不満」「5. 不満」と答えた方にお聞きします。

問 43-2 その主な理由は次のうちどれですか。(回答は二つまで)

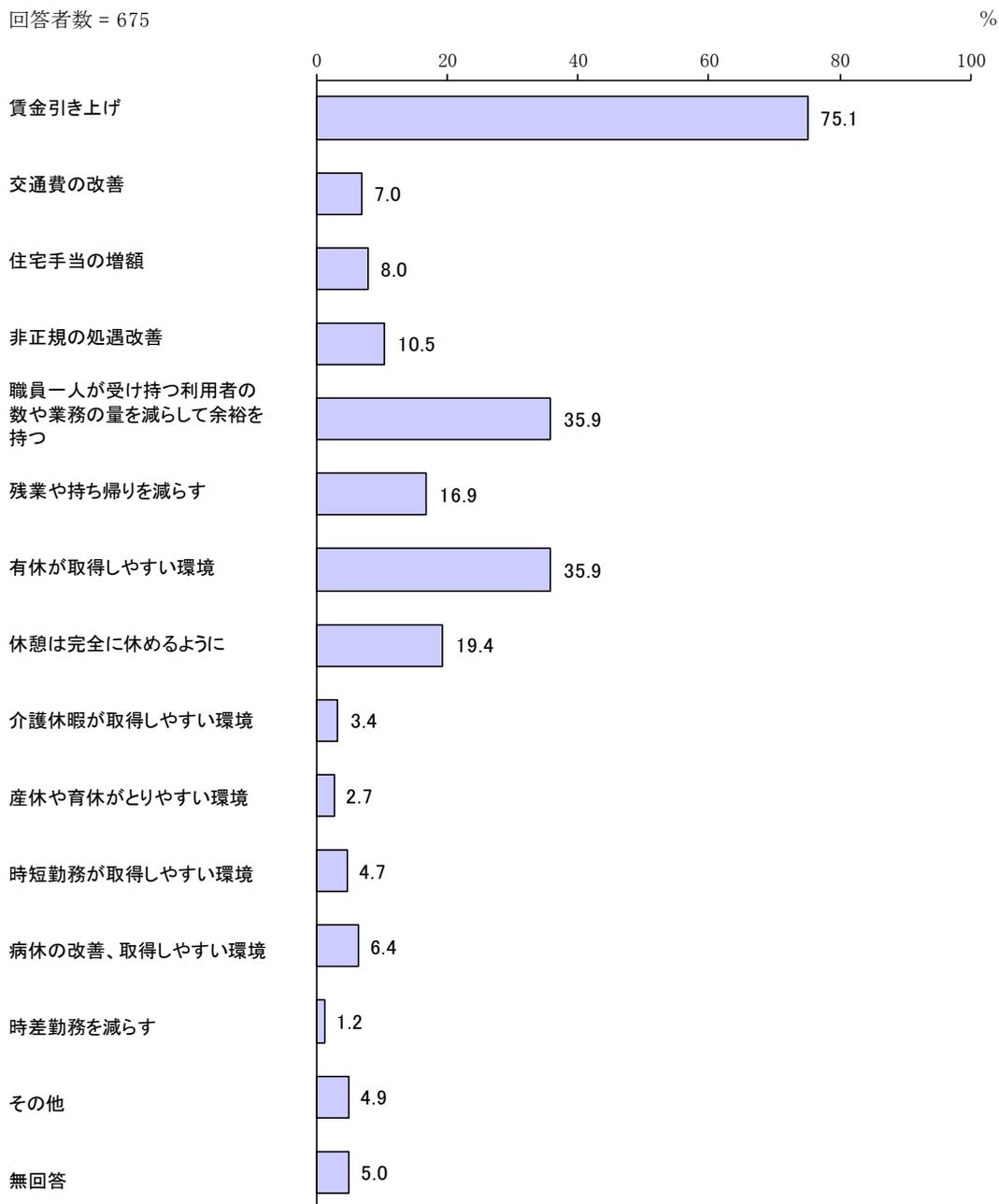
「仕事に見合った賃金ではないから」の割合が57.3%と最も高く、次いで「生活に必要な費用をまかなえないから・ぎりぎりだから」の割合が39.5%、「他産業・他職種と比べて低いから」の割合が37.1%となっています。



(7) 労働の改善について

問 44 労働条件では、どの改善が最も重要だと思いますか。(回答は上位三つまで)

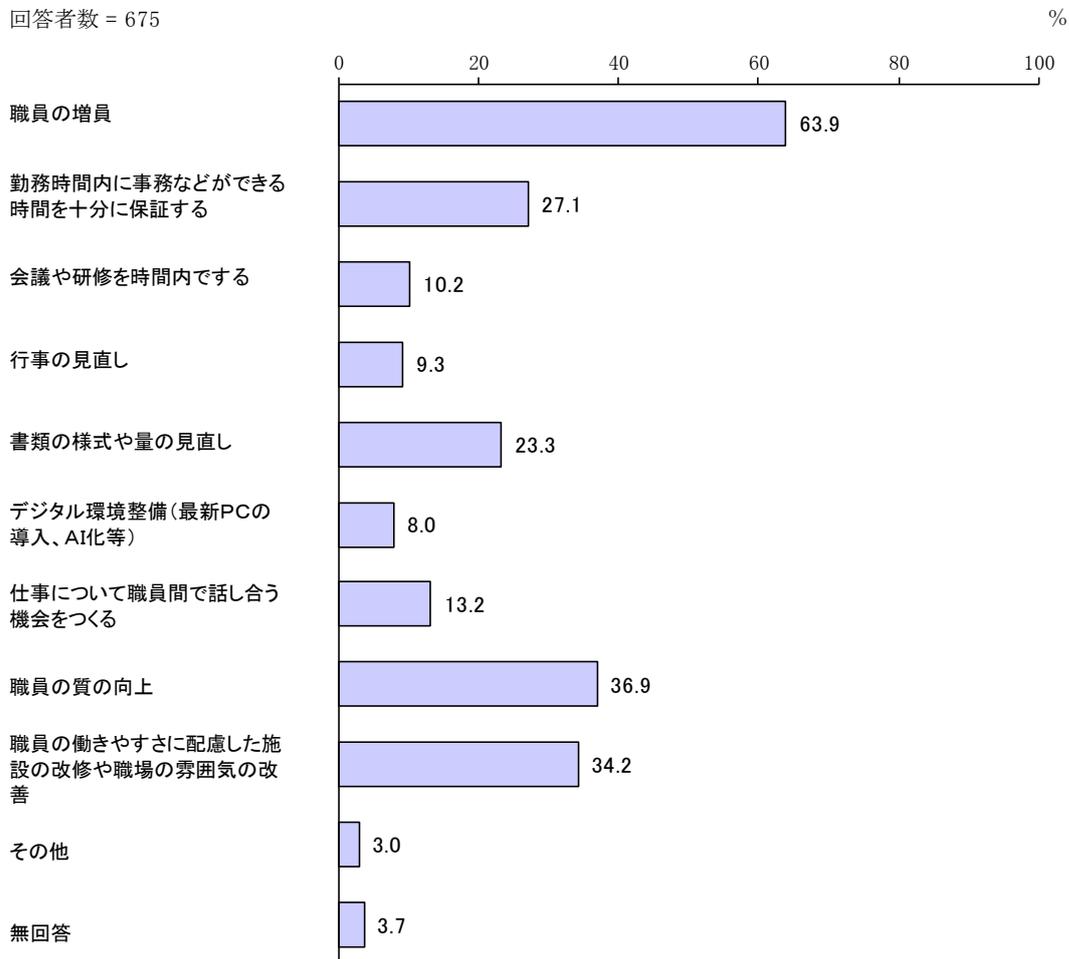
「賃金引き上げ」の割合が75.1%と最も高く、次いで「職員一人が受け持つ利用者の数や業務の量を減らして余裕を持つ」、「有休が取得しやすい環境」の割合が35.9%となっています。



問 45 労働改善のために、職場編成からはどんな改善が必要だと思いますか。
(回答は上位三つまで)

「職員の増員」の割合が63.9%と最も高く、次いで「職員の質の向上」の割合が36.9%、「職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気改善」の割合が34.2%となっています。

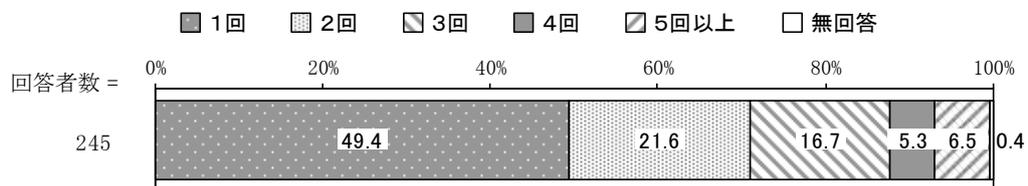
回答者数 = 675



福祉職で退職・離職の経験がある方にお聞きします。

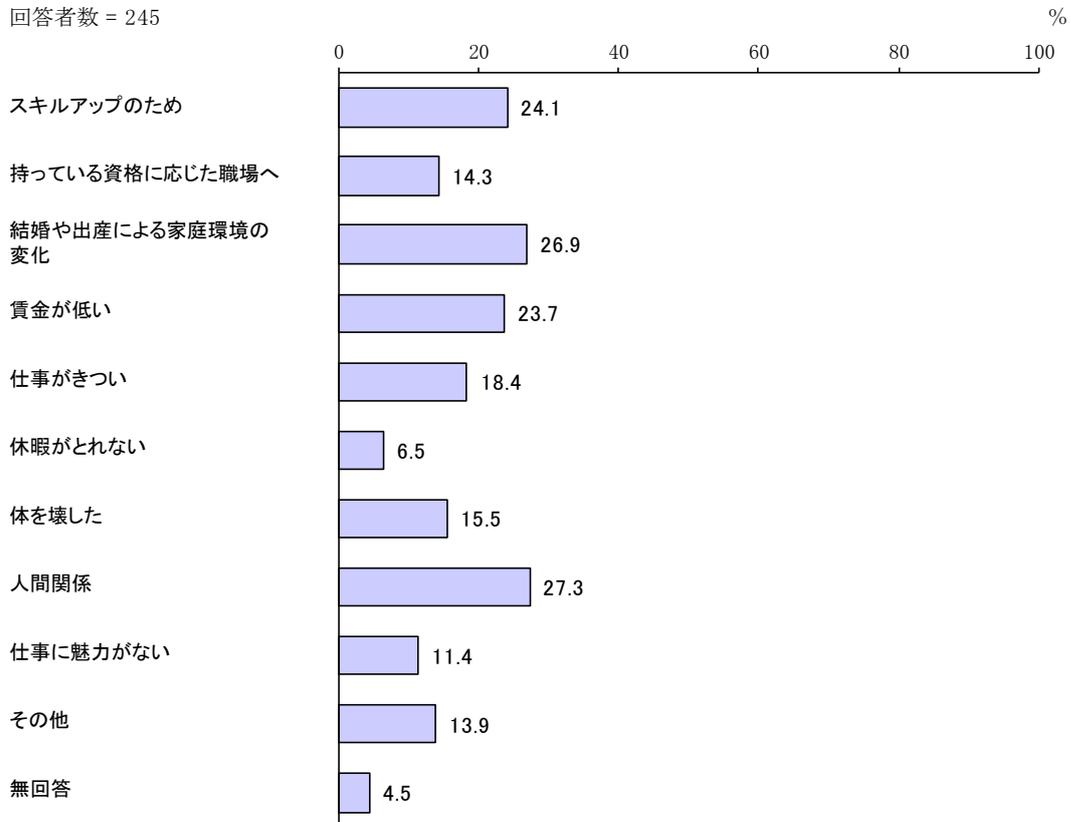
問 46 退職・離職の回数をお答えください。(回答は一つ)

「1回」の割合が49.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.6%、「3回」の割合が16.7%となっています。



問 47 退職・離職した理由について、主なものをお答えください。(回答三つまで)

「人間関係」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「結婚や出産による家庭環境の変化」の割合が 26.9%、「スキルアップのため」の割合が 24.1%となっています。

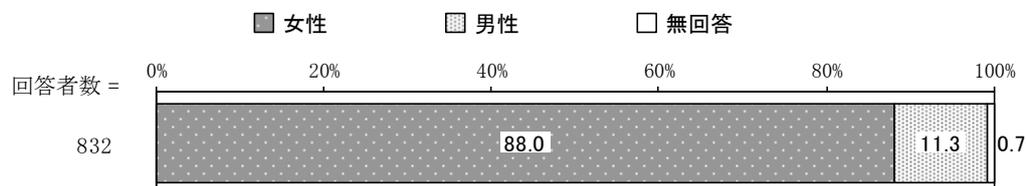


2 非正規社員用アンケート調査

(1) 回答者属性

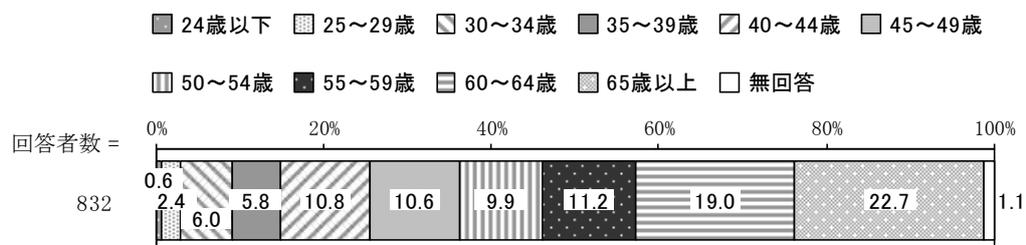
問1 あなたの性別をお答えください。(回答は一つ)

「女性」の割合が88.0%、「男性」の割合が11.3%となっています。



問2 あなたの年齢はいくつですか。(回答は一つ)

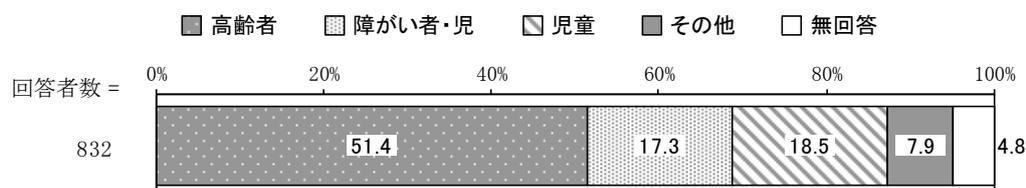
「65歳以上」の割合が22.7%と最も高く、次いで「60～64歳」の割合が19.0%、「55～59歳」の割合が11.2%となっています。



問3 あなたはどのような職場で働いていますか。主な対象者と勤務形態をお答えください。(回答は各一つ)

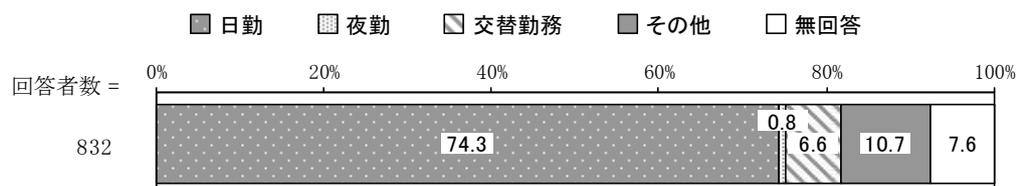
ア 主な対象者

「高齢者」の割合が51.4%と最も高く、次いで「児童」の割合が18.5%、「障がい者・児」の割合が17.3%となっています。



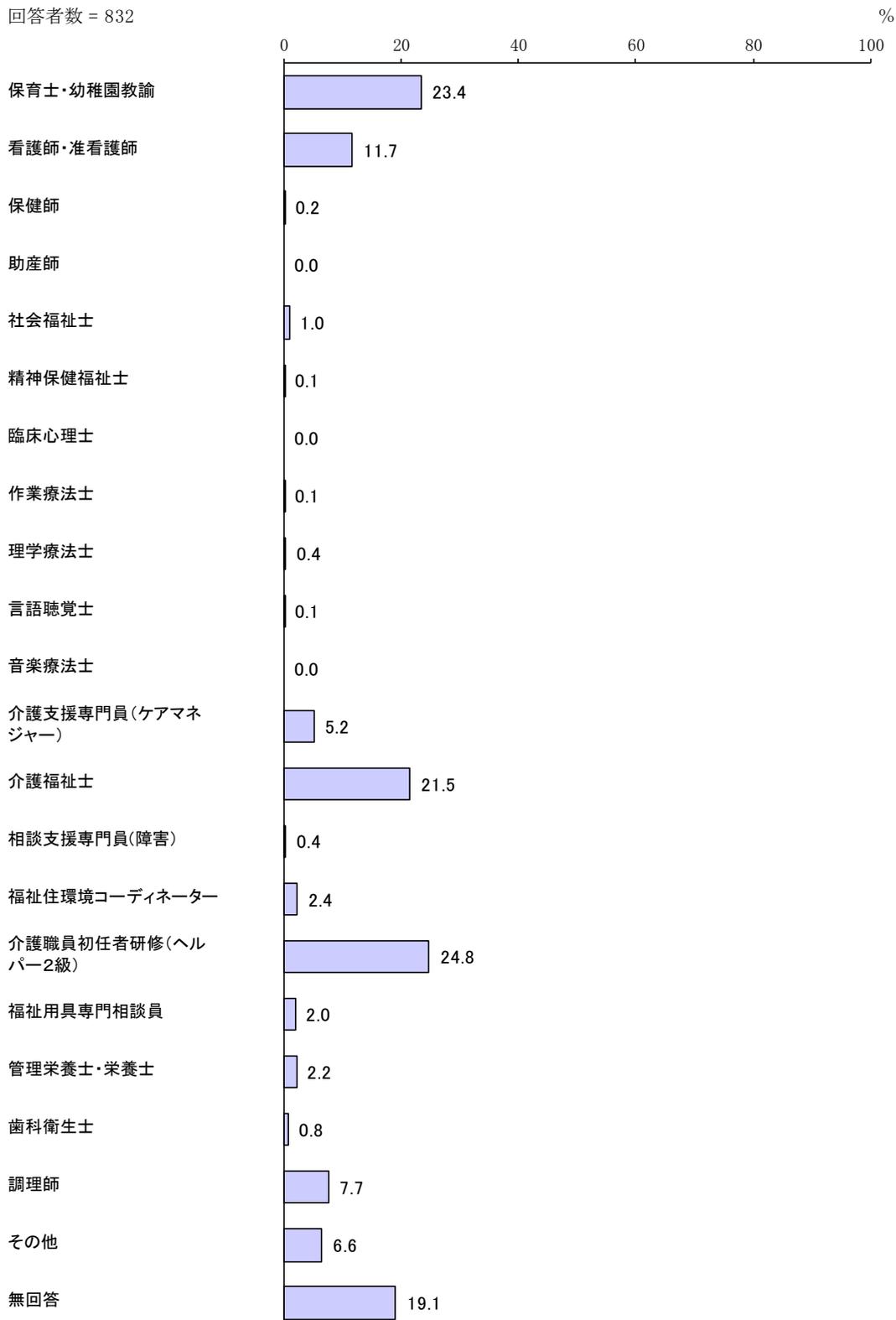
イ 勤務形態

「日勤」の割合が74.3%と最も高くなっています。



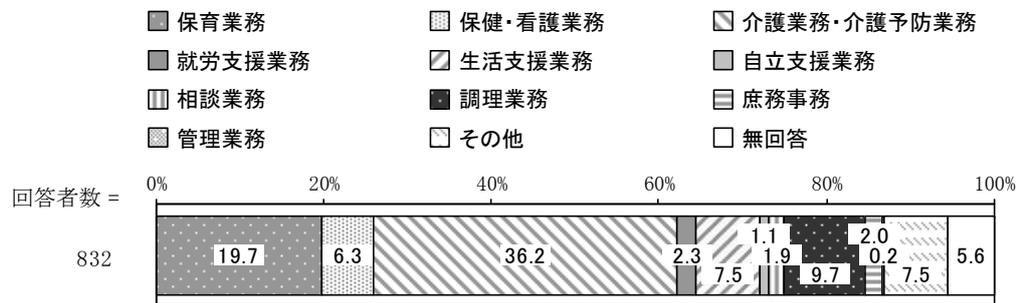
問4 以下のうち、あなたがお持ちの資格をお答えください。(あてはまるものすべて)

「介護職員初任者研修（ヘルパー2級）」の割合が24.8%と最も高く、次いで「保育士・幼稚園教諭」の割合が23.4%、「介護福祉士」の割合が21.5%となっています。



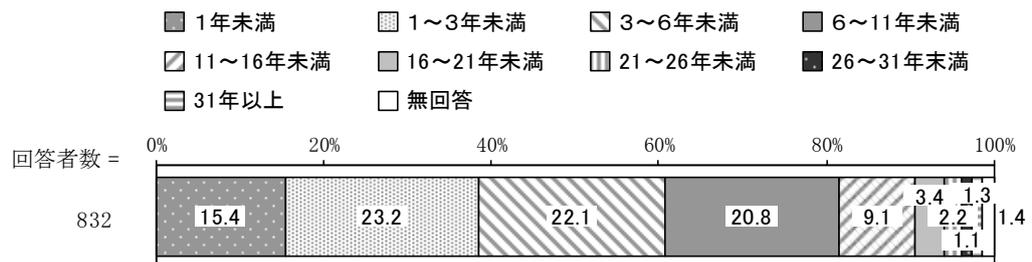
問5 あなたの主な業務は。(回答は一つ)

「介護業務・介護予防業務」の割合が36.2%と最も高く、次いで「保育業務」の割合が19.7%となっています。



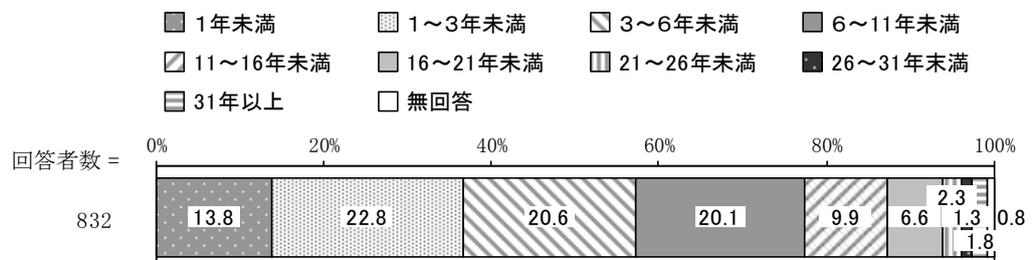
問6 現在勤務する事業所で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

「1～3年未満」の割合が23.2%と最も高く、次いで「3～6年未満」の割合が22.1%、「6～11年未満」の割合が20.8%となっています。



問7 現在担当する業務で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

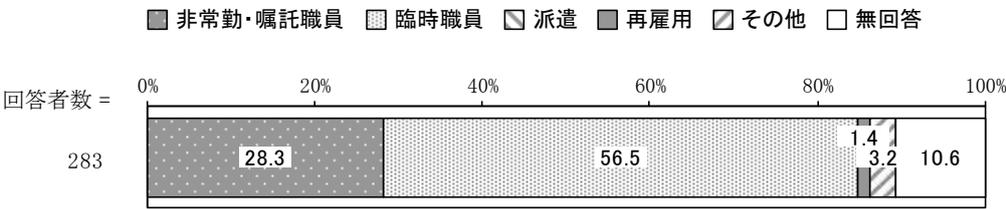
「1～3年未満」の割合が22.8%と最も高く、次いで「3～6年未満」の割合が20.6%、「6～11年未満」の割合が20.1%となっています。



問8 あなたの雇用形態をお答えください。(回答は一つ)

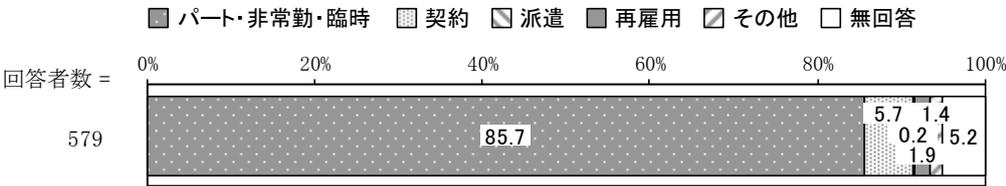
ア 公立の方

「臨時職員」の割合が56.5%と最も高く、次いで「非常勤・嘱託職員」の割合が28.3%となっています。



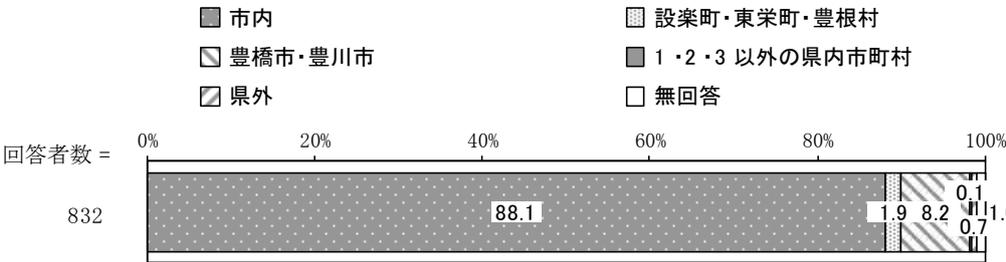
イ 公立以外の方

「パート・非常勤・臨時」の割合が85.7%と最も高くなっています。



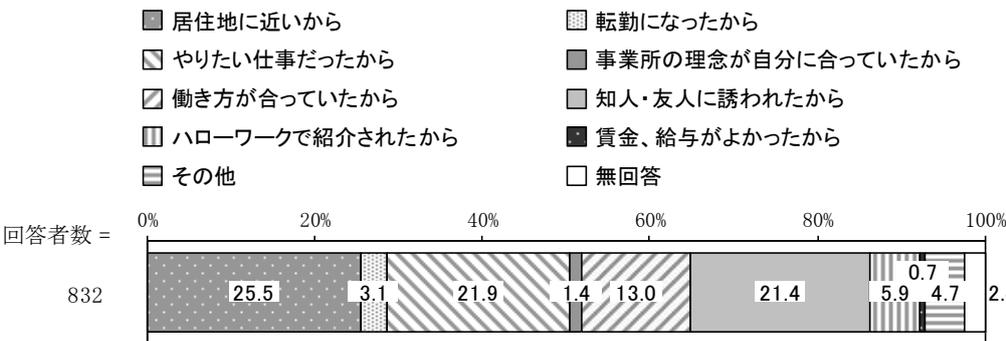
問9 どこから通勤していますか。(回答は一つ)

「市内」の割合が88.1%と最も高くなっています。



問10 今の事業所を選んだ理由をお答えください。(回答は一つ)

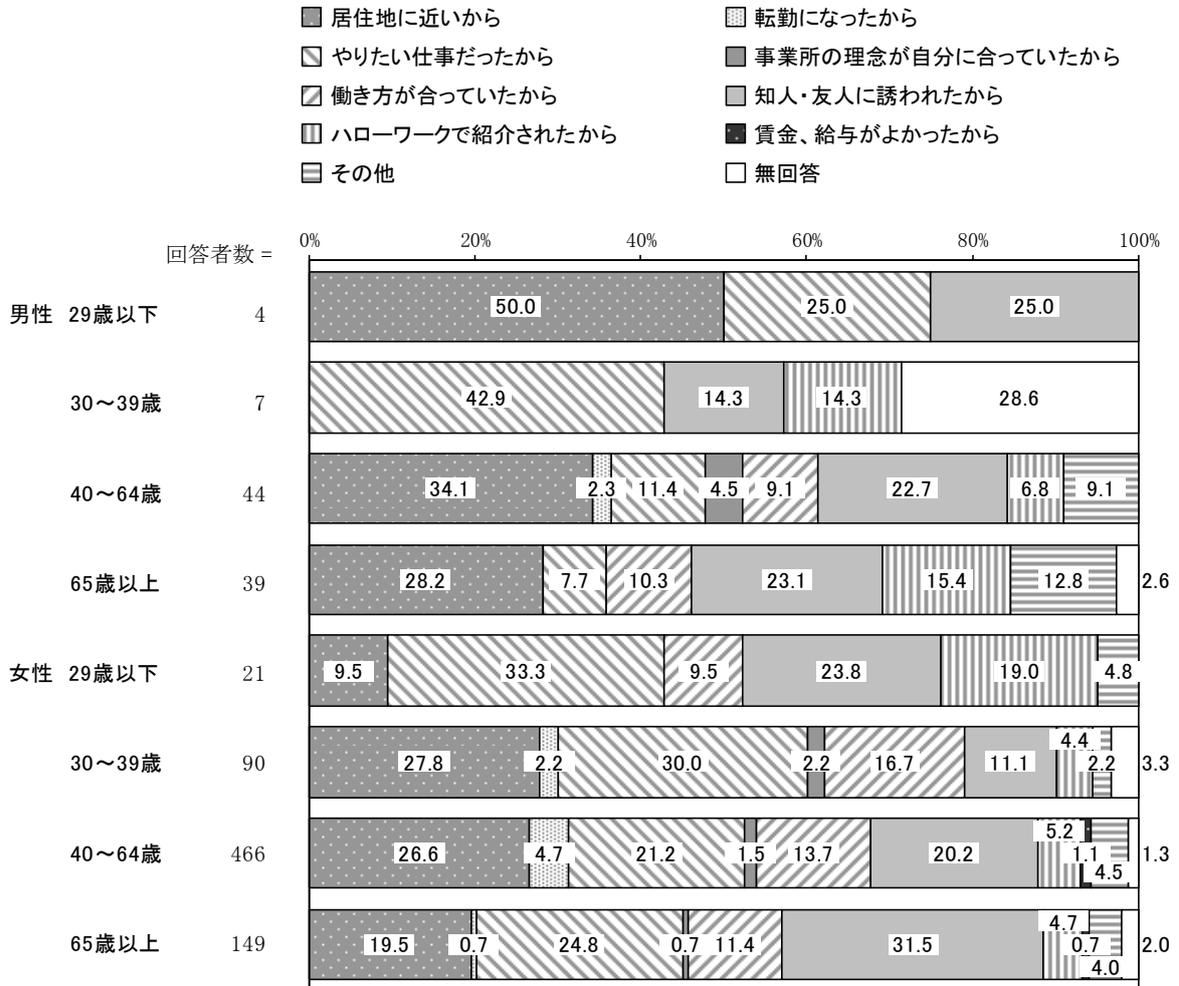
「居住地に近いから」の割合が25.5%と最も高く、次いで「やりたい仕事だったから」の割合が21.9%、「知人・友人に誘われたから」の割合が21.4%となっています。



【性・年齢別】

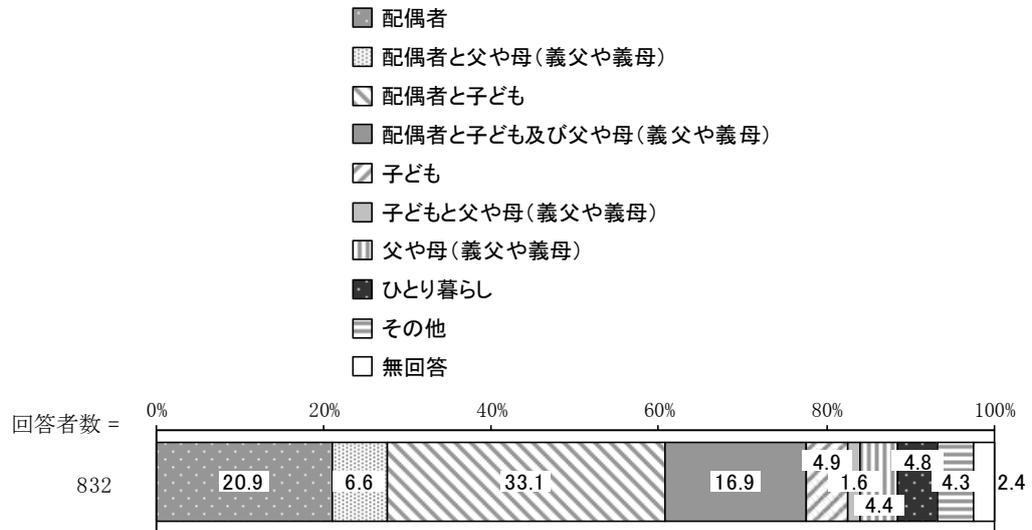
性・年齢別で比較すると、男性の40～64歳で「居住地に近いから」の割合が、女性の29歳以下、30～39歳で「やりたい仕事だったから」の割合が、女性の65歳以上で「知人・友人に誘われたから」の割合が高くなっています。

※回答者数が少ない区分は比較対象から除いています。



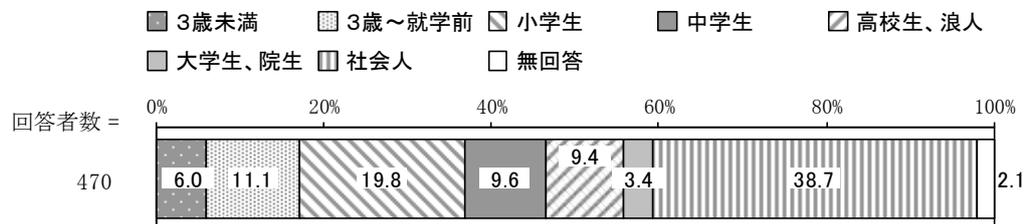
問 11 あなたと同居している人の構成をお答えください。(回答は一つ)

「配偶者と子ども」の割合が33.1%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が20.9%、「配偶者と子ども及び父や母（義父や義母）」の割合が16.9%となっています。



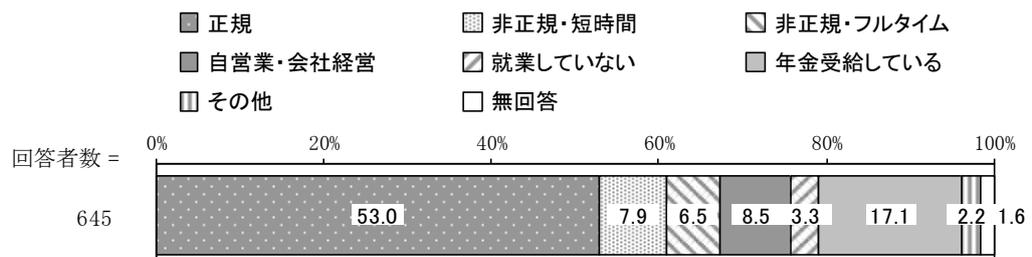
問 12 同居しているお子様がいる方に伺います。末子はおいくつですか。(回答は一つ)

「社会人」の割合が38.7%と最も高く、次いで「小学生」の割合が19.8%、「3歳～就学前」の割合が11.1%となっています。



問 13 配偶者(同棲や事実婚を含む)がおられる方にお聞きします。配偶者の就業状況をお答えください。(回答は一つ)

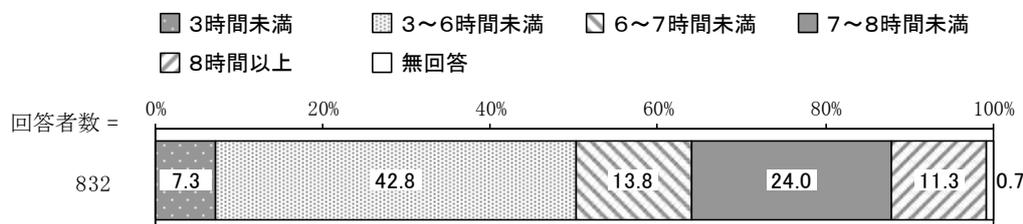
「正規」の割合が53.0%と最も高く、次いで「年金受給している」の割合が17.1%となっています。



(2) 労働実態について

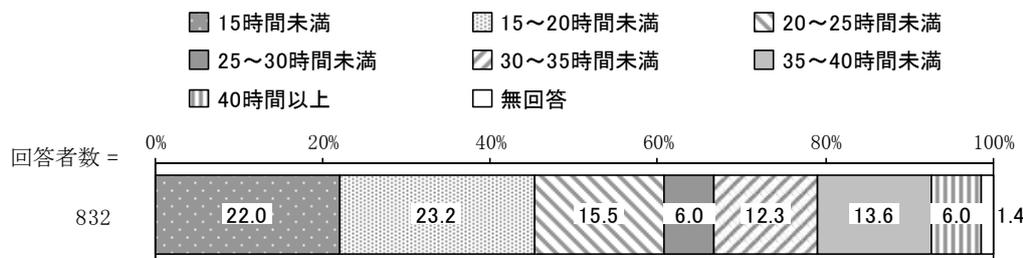
問 14-1 あなたは今の職場で1日に実働で通常、何時間くらい働いていますか。
(日によって異なる方は平均でお答えください。回答は一つ)

「3～6時間未満」の割合が42.8%と最も高く、次いで「7～8時間未満」の割合が24.0%、「6～7時間未満」の割合が13.8%となっています。



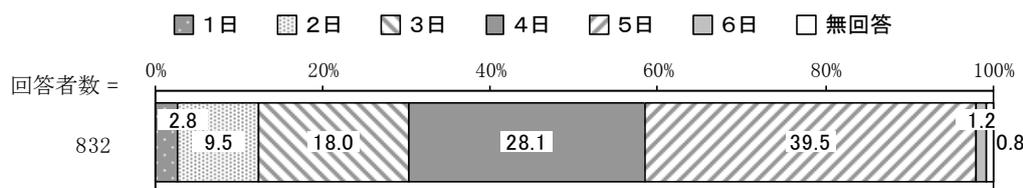
問 14-2 あなたは今の職場で1週間に実働で通常、何時間くらい働いていますか。
(週によって異なる方は平均でお答えください。回答は一つ)

「15～20時間未満」の割合が23.2%と最も高く、次いで「15時間未満」の割合が22.0%、「20～25時間未満」の割合が15.5%となっています。



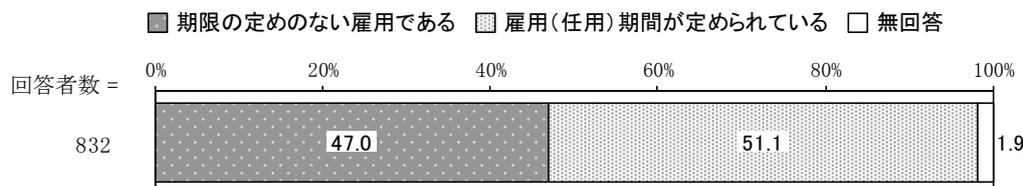
問 14-3 あなたは今の職場で週何日、勤務していますか。(回答は一つ)

「5日」の割合が39.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.1%、「3日」の割合が18.0%となっています。



問 15-1 雇用(任用)期間は決まっていますか。(回答は一つ)

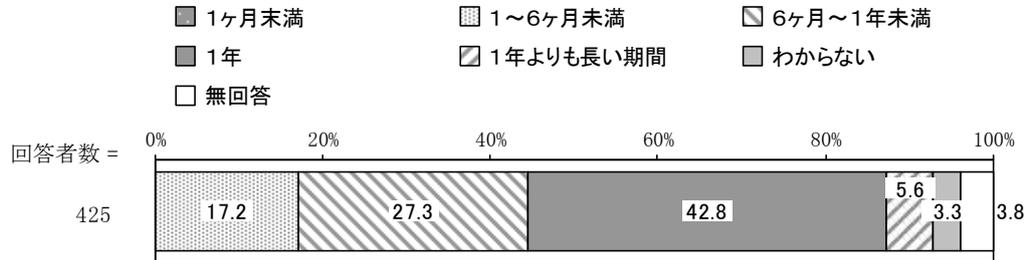
「期限の定めのない雇用である」の割合が47.0%、「雇用(任用)期間が定められている」の割合が51.1%となっています。



問 15-1 で「2. 雇用（任用）期間が定められている」と答えた方にお聞きします。

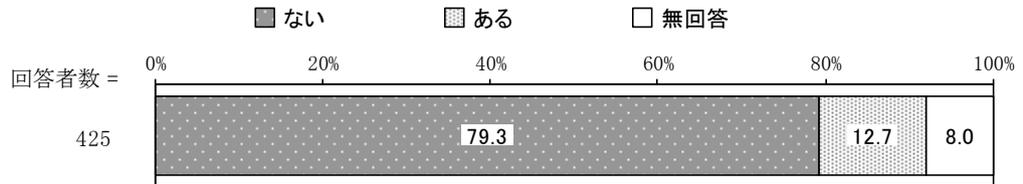
問 15-2 雇用（任用）期間をお答えください。（回答は一つ）

「1年」の割合が42.8%と最も高く、次いで「6ヶ月～1年未満」の割合が27.3%、「1～6ヶ月未満」の割合が17.2%となっています。



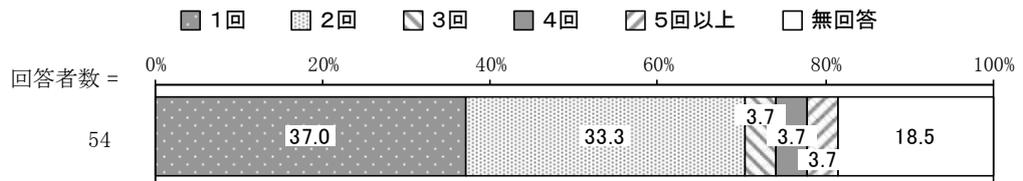
問 15-3 更新回数に限度はありますか。（回答は一つ）

「ない」の割合が79.3%、「ある」の割合が12.7%となっています。



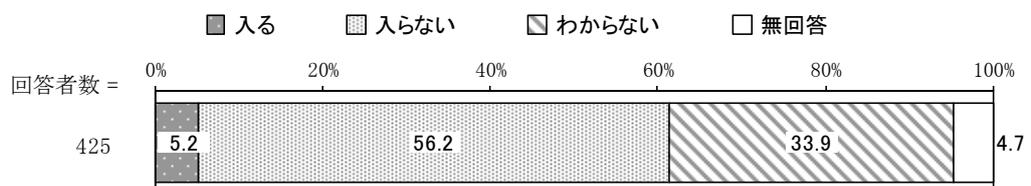
更新回数の限度

「1回」の割合が37.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が33.3%となっています。



問 15-4 繰り返し更新して連続してはたらく場合、途中で、雇用（任用）の中断期間が入りますか。（回答は一つ）

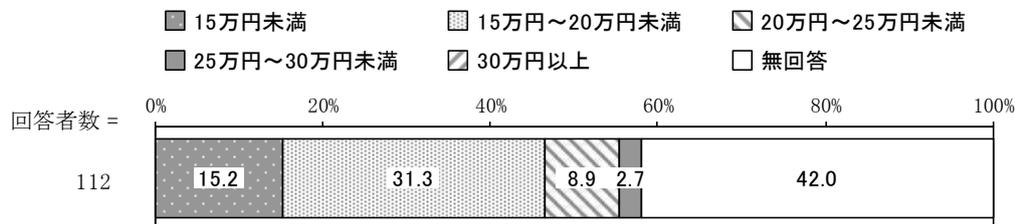
「入らない」の割合が56.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が33.9%となっています。



問 16 現在の職種での給料・賃金はいくらですか。
(月給、時給のどちらかで一つだけお答えください)

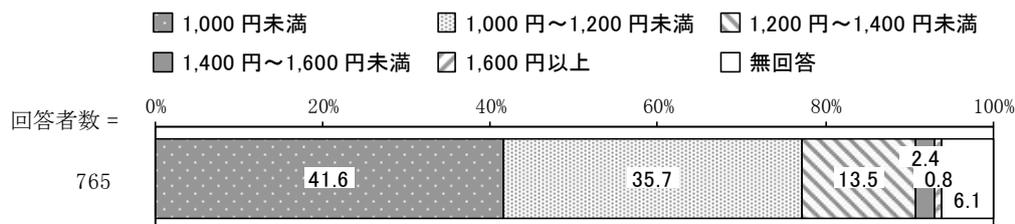
ア 月給制の方に伺います。月額基本給はいくらですか。(月給の人だけ)

「15万円～20万円未満」の割合が31.3%と最も高く、次いで「15万円未満」の割合が15.2%となっています。



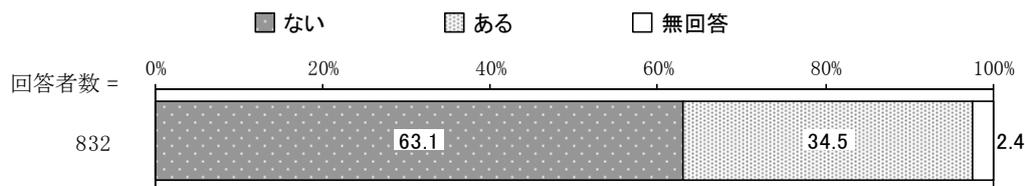
イ 時給制の方に伺います。時給額はいくらですか。(時給の人だけ)

「1,000円未満」の割合が41.6%と最も高く、次いで「1,000円～1,200円未満」の割合が35.7%、「1,200円～1,400円未満」の割合が13.5%となっています。



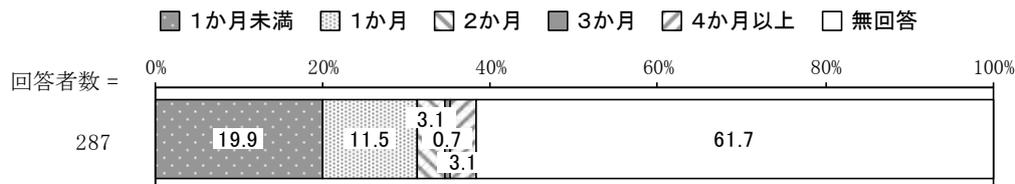
問 17 あなたは一時金の支給はありますか。(回答は一つ)

「ない」の割合が63.1%、「ある」の割合が34.5%となっています。



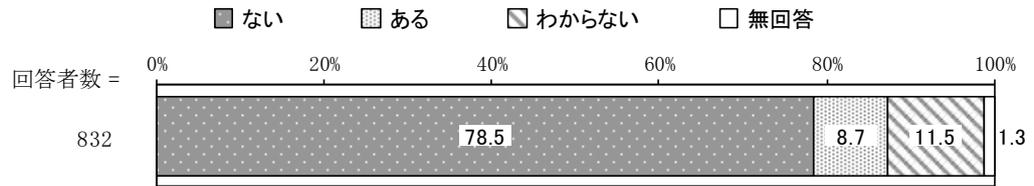
支給される臨時給与

「1か月未満」の割合が19.9%と最も高く、次いで「1か月」の割合が11.5%となっています。



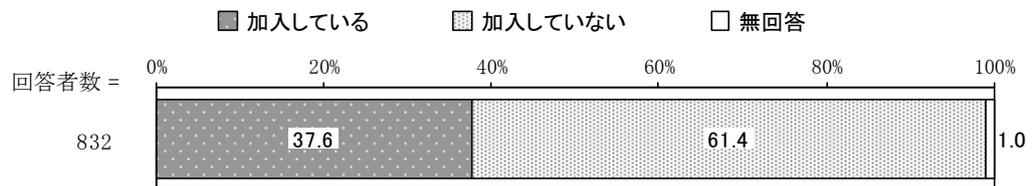
問 18 あなたは退職金がありますか。(回答は一つ)

「ない」の割合が78.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が11.5%となっています。



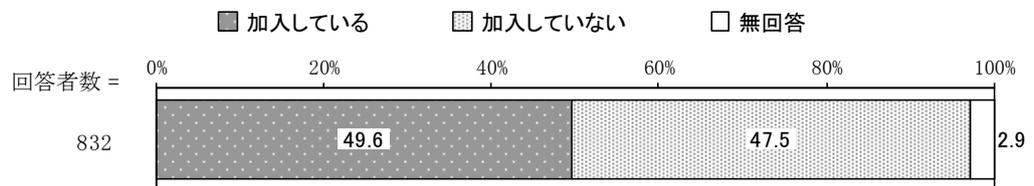
問 19 あなたは勤務先で健康保険・厚生年金に加入していますか。(回答は一つ)

「加入している」の割合が37.6%、「加入していない」の割合が61.4%となっています。



問 20 あなたは勤務先で雇用保険に加入していますか。(回答は一つ)

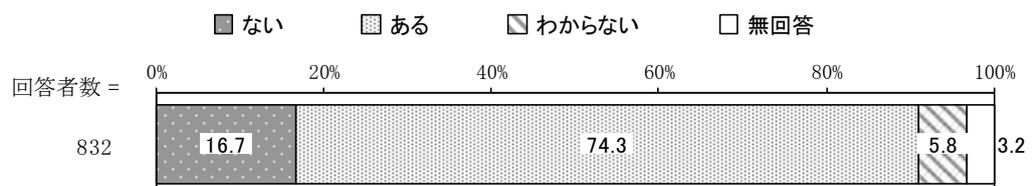
「加入している」の割合が49.6%、「加入していない」の割合が47.5%となっています。



問 21 あなたにはどのような休暇がありますか。また休暇がある場合、とりやすさをお答え下さい。(回答は各一つ)

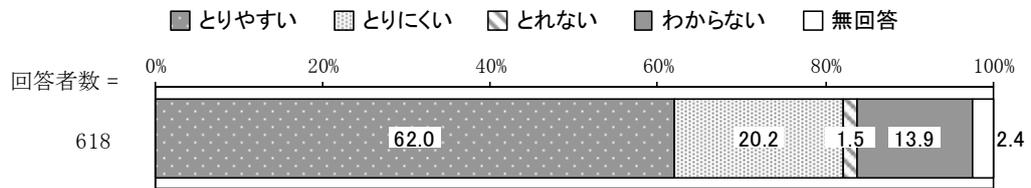
ア 年次有給休暇

「ある」の割合が74.3%と最も高く、次いで「ない」の割合が16.7%となっています。



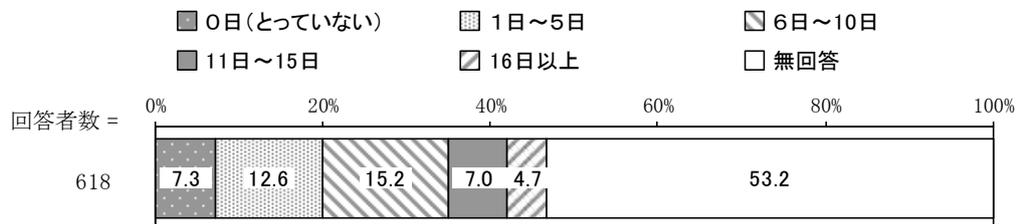
(ア)「2. ある」と答えた方は、とりやすさをお答えください。

「とりやすい」の割合が62.0%と最も高く、次いで「とりにくい」の割合が20.2%、「わからない」の割合が13.9%となっています。



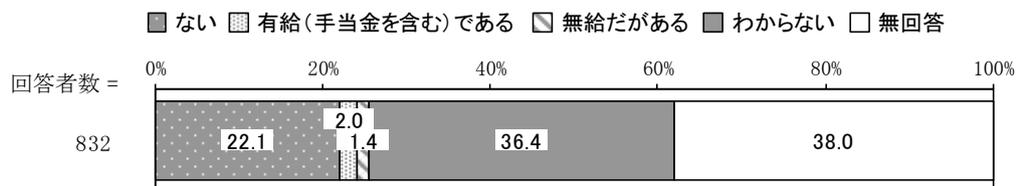
(イ) 昨年、あなたが消化した年次有給休暇数

「6日～10日」の割合が15.2%と最も高く、次いで「1日～5日」の割合が12.6%となっています。



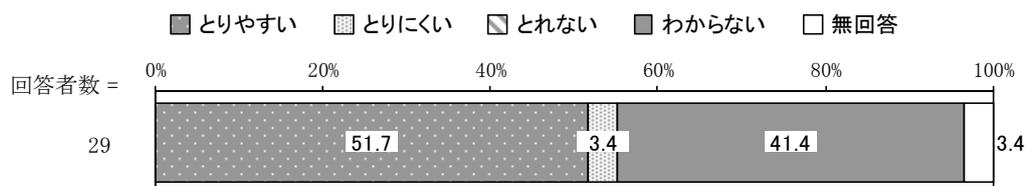
イ 産前産後休暇

「わからない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が22.1%となっています。



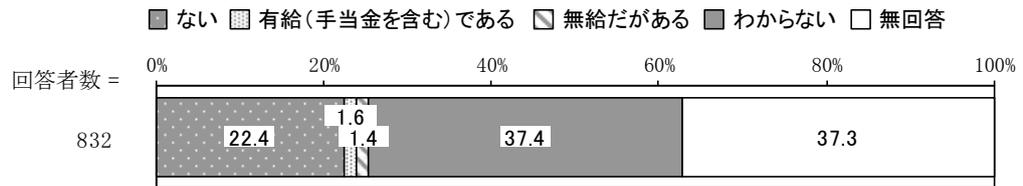
「2. 有給(手当金を含む)である」「3. 無給だがある」と答えた方は、とりやすさをお答えください。

「とりやすい」の割合が51.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が41.4%となっています。



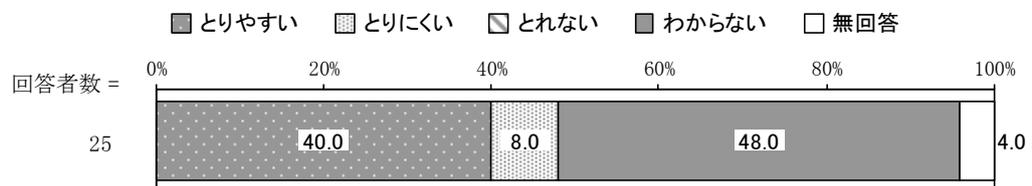
ウ 育児休暇

「わからない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が22.4%となっています。



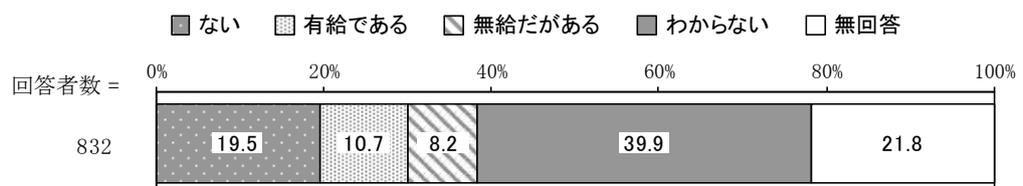
「2. 有給(手当金を含む)である」「3. 無給だがある」と答えた方は、とりやすさをお答えください。

「わからない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「とりやすい」の割合が40.0%となっています。



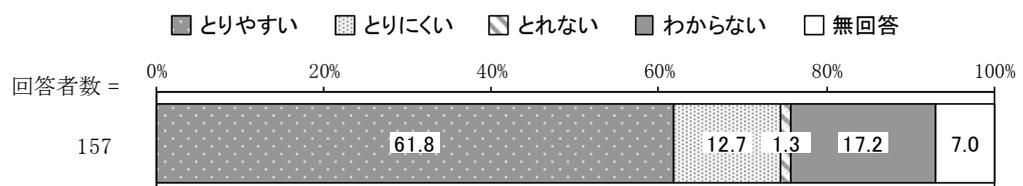
エ 病気休暇

「わからない」の割合が39.9%と最も高く、次いで「ない」の割合が19.5%、「有給である」の割合が10.7%となっています。



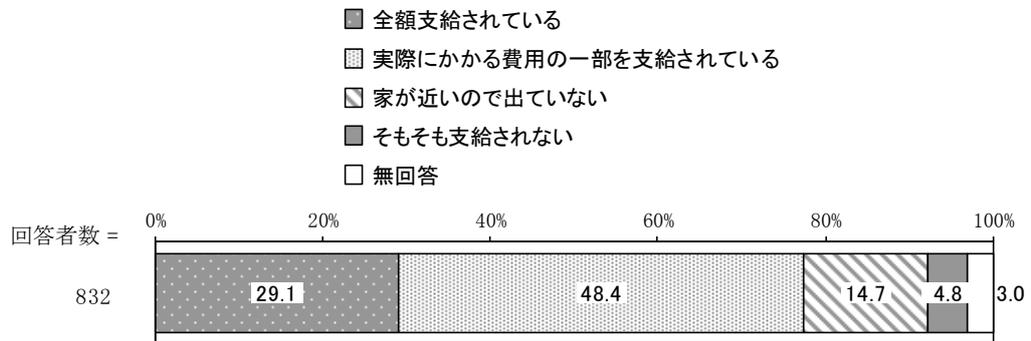
「2. 有給(手当金を含む)である」「3. 無給だがある」と答えた方は、とりやすさをお答えください。

「とりやすい」の割合が61.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.2%、「とりにくい」の割合が12.7%となっています。



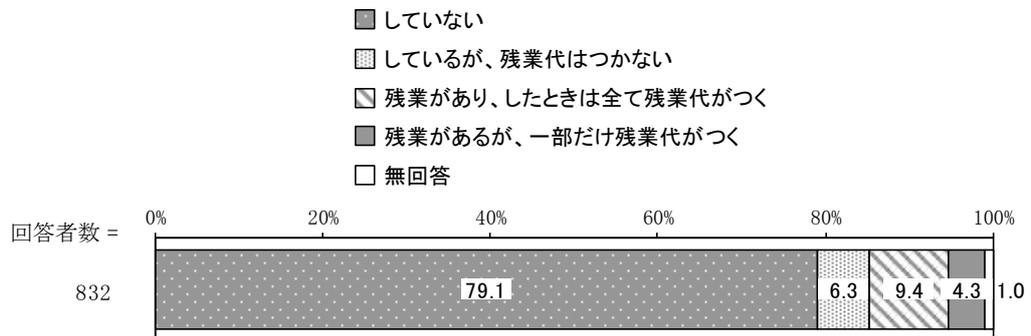
問 22 あなたは交通費を支給されていますか。(回答は一つ)

「実際にかかる費用の一部を支給されている」の割合が48.4%と最も高く、次いで「全額支給されている」の割合が29.1%、「家が近いので出ていない」の割合が14.7%となっています。



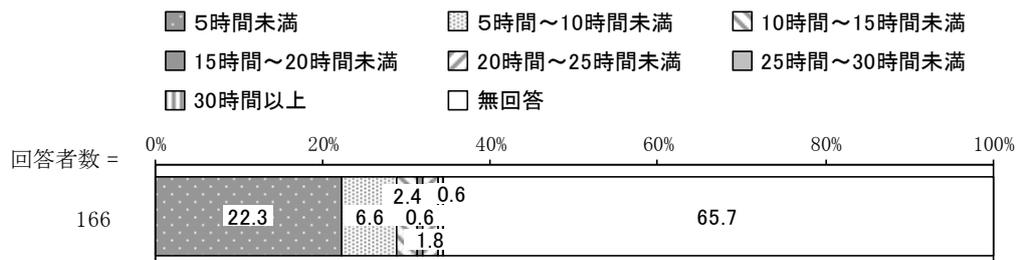
問 23 あなたは残業をしていますか。(回答は一つ)

「していない」の割合が79.1%と最も高くなっています。



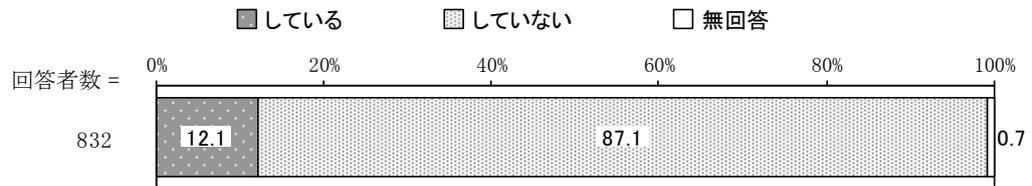
先月、実際に行った残業

「5時間未満」の割合が22.3%と最も高くなっています。



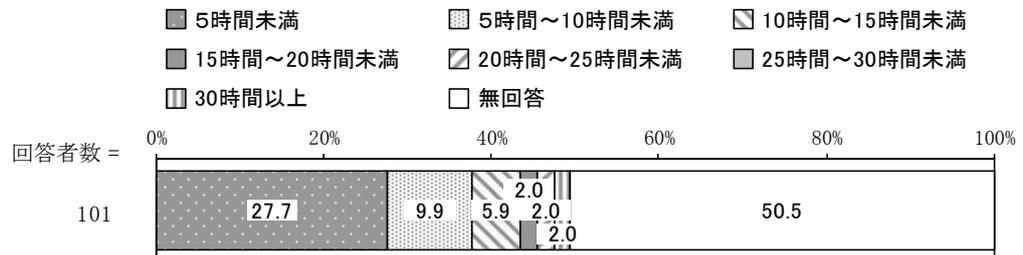
問 24 あなたは家に持ち帰って仕事をしていますか。(回答は一つ)

「している」の割合が12.1%、「していない」の割合が87.1%となっています。



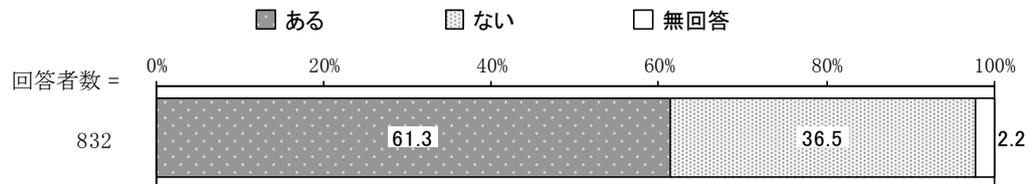
先月の持ち帰り仕事時間

「5時間未満」の割合が27.7%と最も高くなっています。



問 25-1 あなたは今の職場で研修や講習を受けたことがありますか。(事業所内・事業所外を含む/自主研修は除く/回答は一つ)

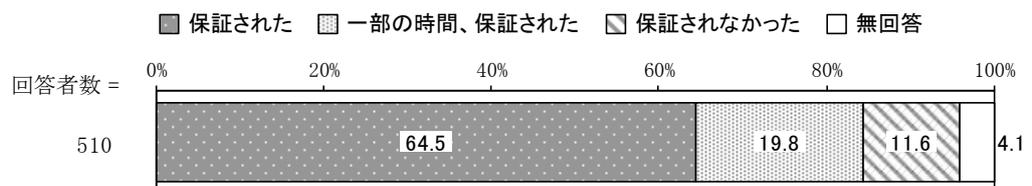
「ある」の割合が61.3%、「ない」の割合が36.5%となっています。



問 25-1 で「1. ある」と答えた方に伺います。

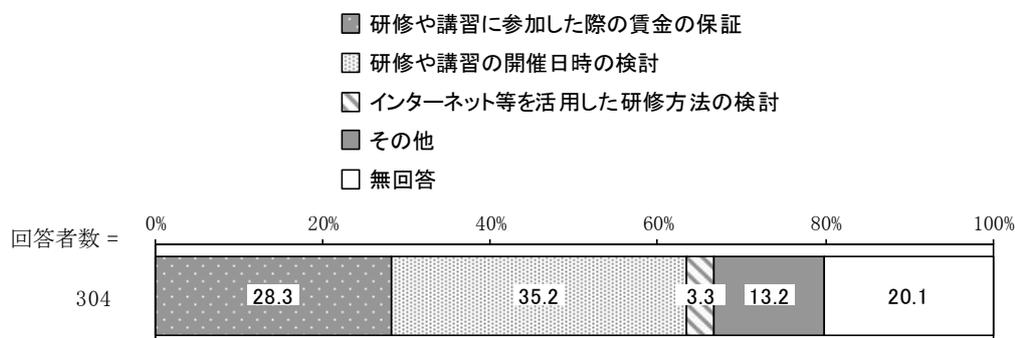
問 25-2 研修や講習は賃金が保証されましたか。(回答は一つ)

「保証された」の割合が64.5%と最も高く、次いで「一部の時間、保証された」の割合が19.8%、「保証されなかった」の割合が11.6%となっています。



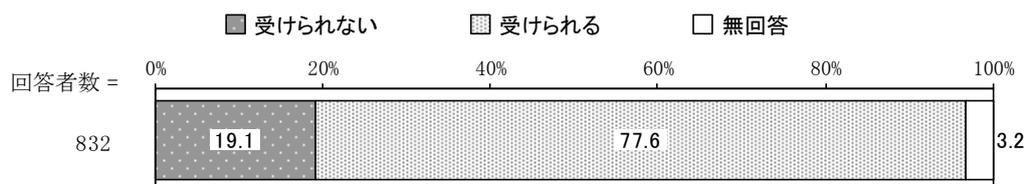
問 26 研修や講習を受けたことが無い方にお聞きします。どのようになったら研修に参加できると思いますか。(回答は一つ)

「研修や講習の開催日時の検討」の割合が35.2%と最も高く、次いで「研修や講習に参加した際の賃金の保証」の割合が28.3%となっています。



問 27-1 あなたは事業所の費用負担で健康診断を受けられますか。(回答は一つ)

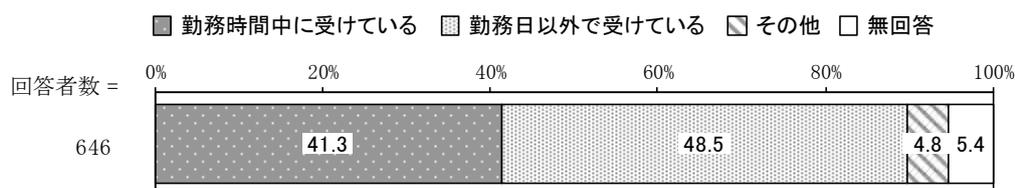
「受けられない」の割合が19.1%、「受けられる」の割合が77.6%となっています。



問 27-1 で「2. 受けられる」と答えた方にお聞きします。

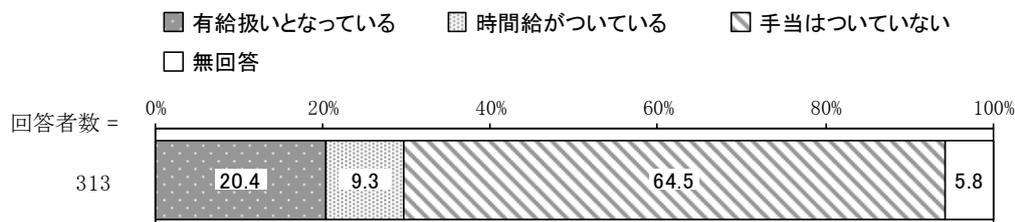
問 27-2 健康診断はいつ受けていますか。(回答は一つ)

「勤務時間中に受けている」の割合が41.3%、「勤務日以外で受けている」の割合が48.5%となっています。



「2. 勤務日以外で受けている」と答えた方は、その日の扱いについてお答えください。

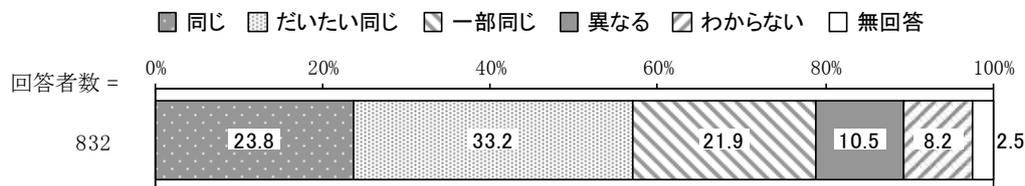
「手当はついていない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「有給扱いとなっている」の割合が20.4%となっています。



問 28 あなたの仕事は正規職員と比較してどのように感じていますか(回答は各一つ)。

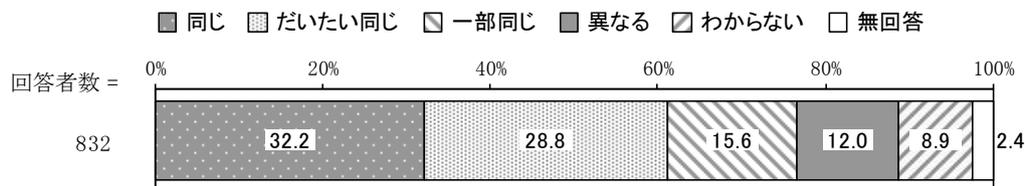
ア 仕事の内容

「だいたい同じ」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「同じ」の割合が 23.8%、「一部同じ」の割合が 21.9%となっています。



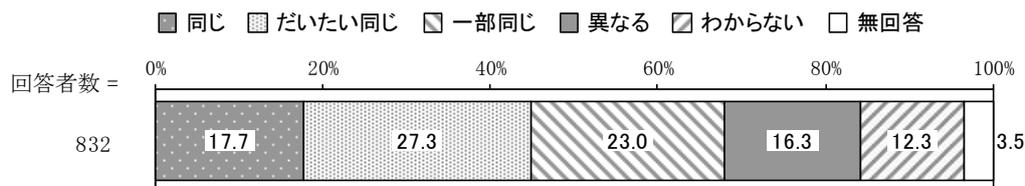
イ 責任

「同じ」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「だいたい同じ」の割合が 28.8%、「一部同じ」の割合が 15.6%となっています。



ウ 判断できる範囲

「だいたい同じ」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「一部同じ」の割合が 23.0%、「同じ」の割合が 17.7%となっています。

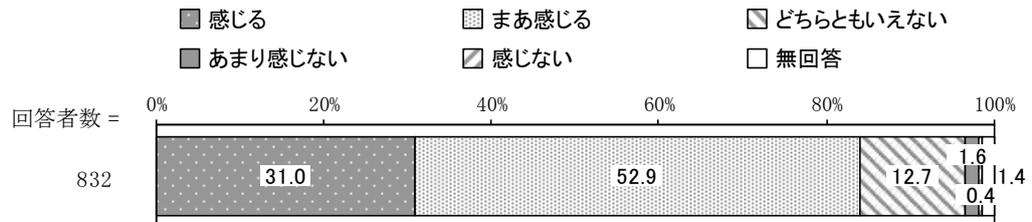


(3) 仕事に対するの感じ方や心身の状況について

問 29 現在の業務で働くやりがいなどについて。それぞれの項目でどの程度感じていますか。もっともあてはまるものを選んでください。(回答は各一つ)

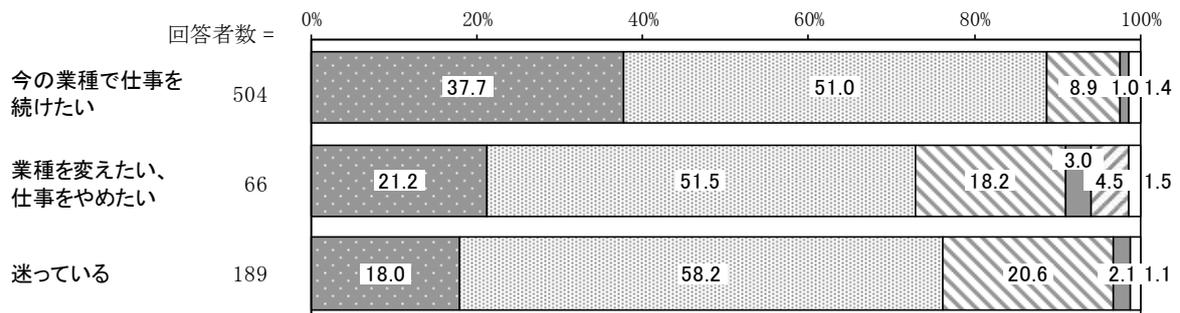
ア 人の役に立っている

「感じる」と「まあ感じる」をあわせた“感じる”の割合が83.9%、「どちらともいえない」の割合が12.7%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が2.0%となっています。



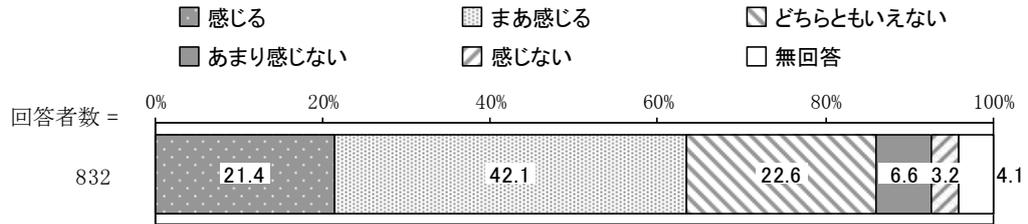
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



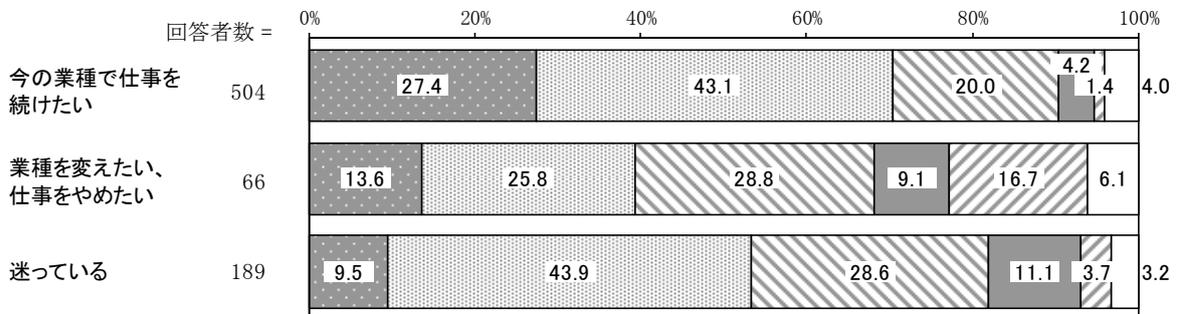
イ 自分の資格や持ち味が活かしている

“感じる”の割合が63.5%、「どちらともいえない」の割合が22.6%、“感じない”の割合が9.8%となっています。



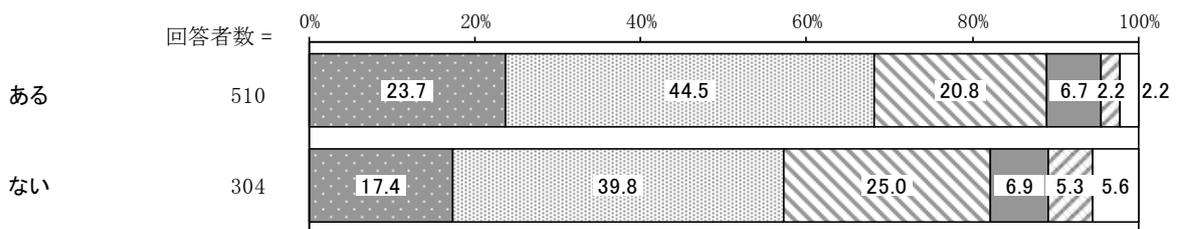
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



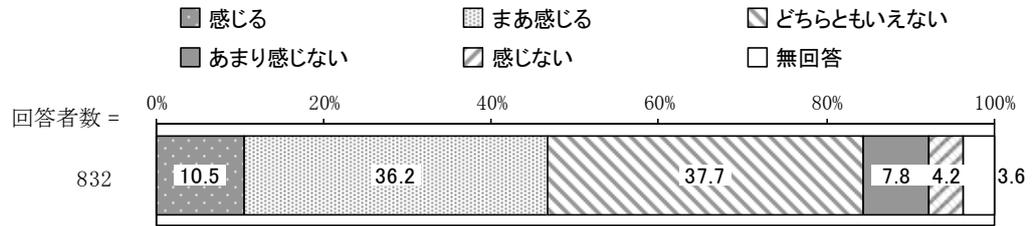
【研修・講習の受講の有無別】

研修・講習の受講の有無別で比較すると、ある人で“感じる”の割合が高くなっています。



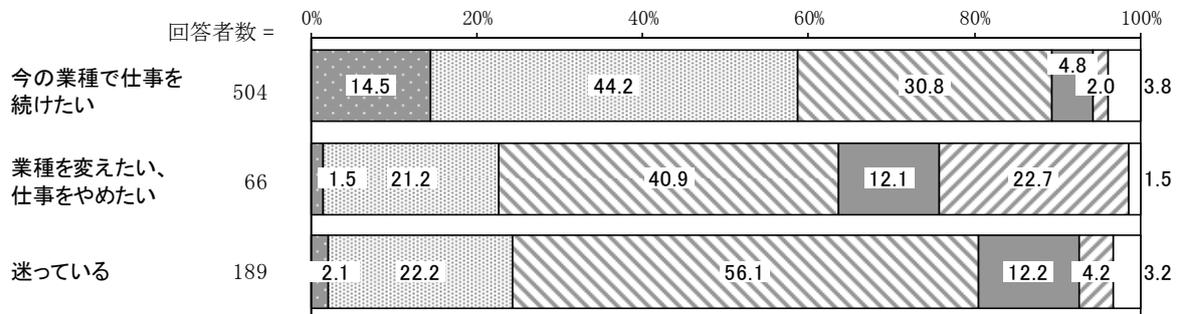
ウ 事業所の方針と自分のやりたいことが合っている

“感じる”の割合が46.7%、「どちらともいえない」の割合が37.7%、“感じない”の割合が12.0%となっています。



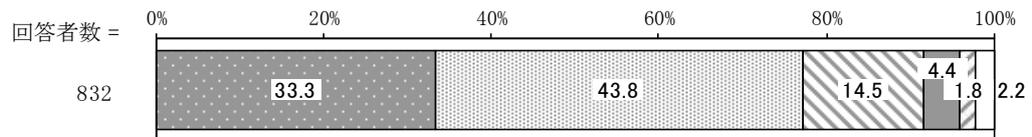
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



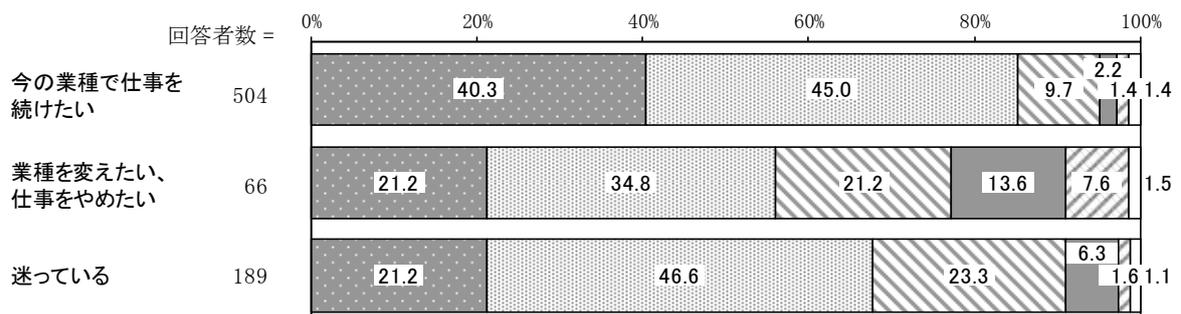
エ 利用者とおごす楽しさ

“感じる”の割合が77.1%、「どちらともいえない」の割合が14.5%、“感じない”の割合が6.2%となっています。



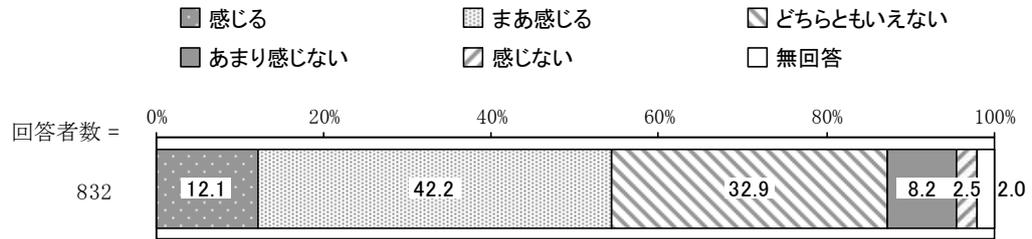
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



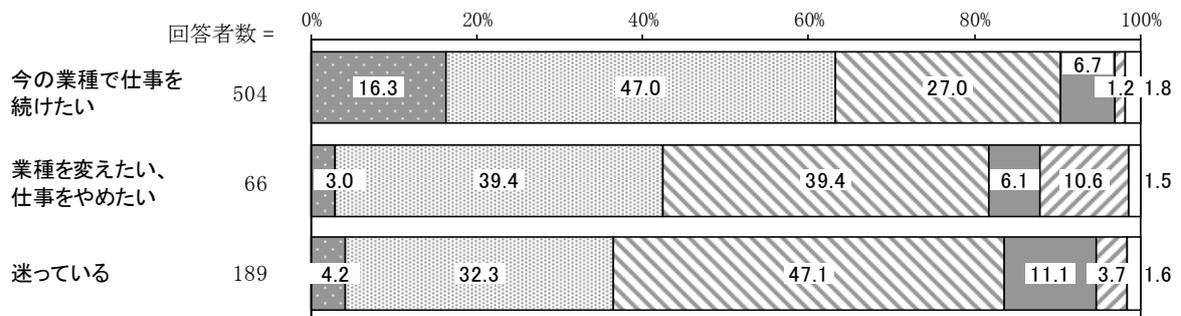
オ 職員としての自分の成長

“感じる”の割合が54.3%、「どちらともいえない」の割合が32.9%、“感じない”の割合が10.7%となっています。



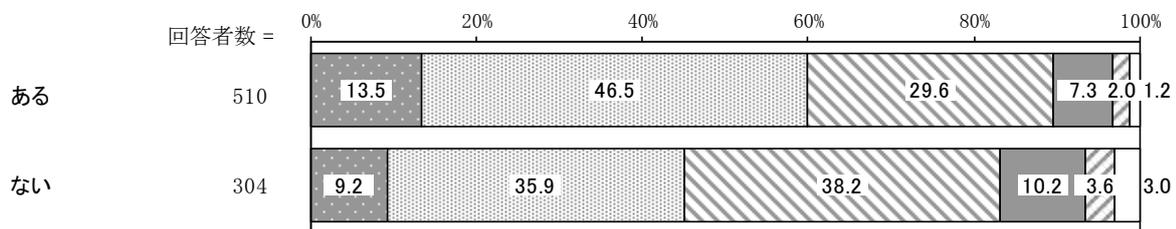
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



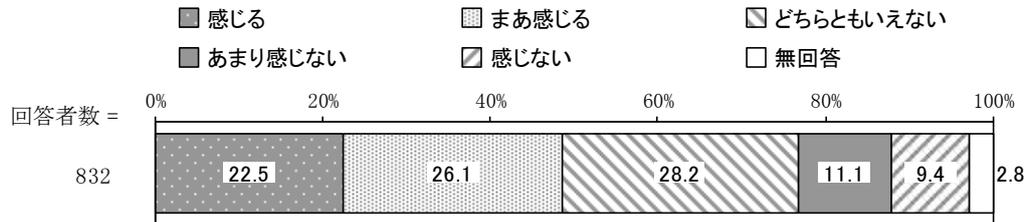
【研修・講習の受講の有無別】

研修・講習の受講の有無別で比較すると、ある人で“感じる”の割合が高くなっています。



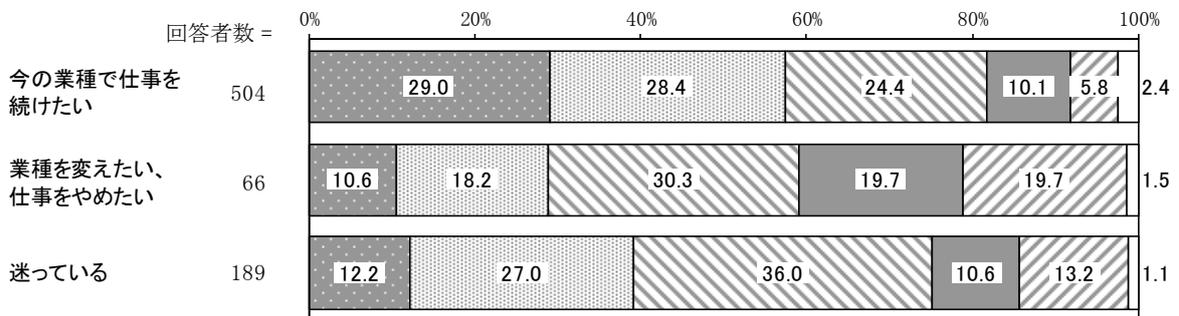
カ 目標にしたい先輩・同僚がいる

“感じる”の割合が48.6%、「どちらともいえない」の割合が28.2%、“感じない”の割合が20.5%となっています。



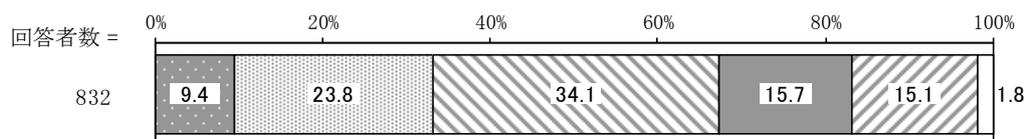
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



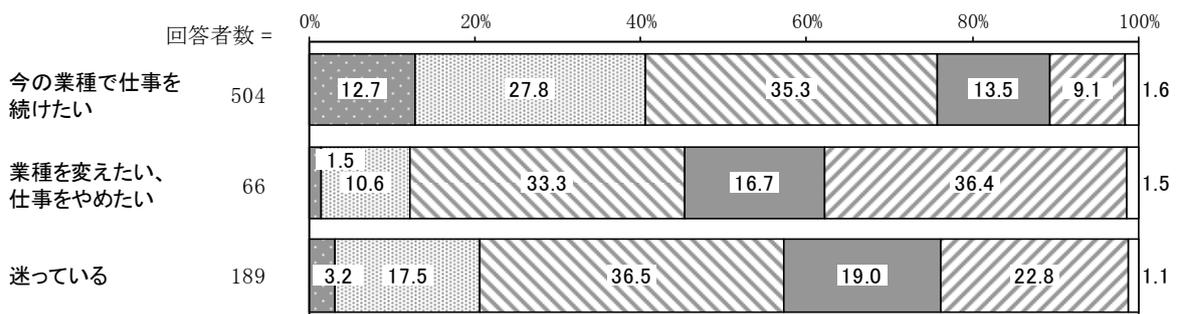
キ 賃金に見合っている

“感じる”の割合が33.2%、「どちらともいえない」の割合が34.1%、“感じない”の割合が30.8%となっています。



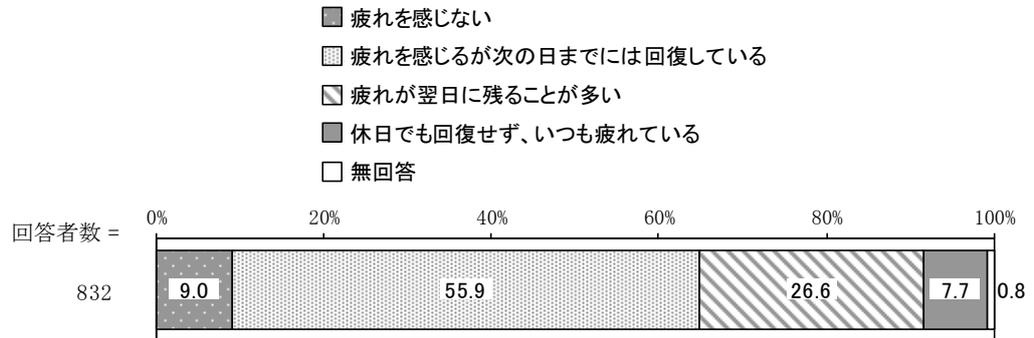
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“感じる”の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“感じない”の割合が高くなっています。



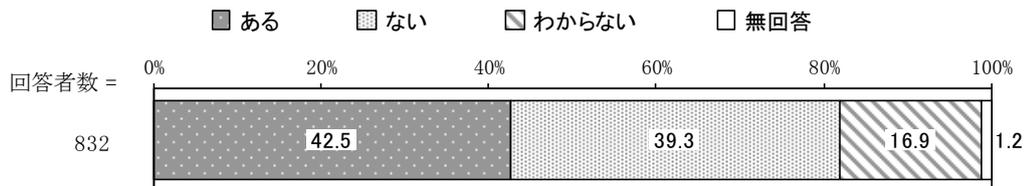
問 30 あなたの仕事での疲れはどの程度ですか。(回答は一つ)

「疲れを感じるが次の日までには回復している」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「疲れが翌日に残ることが多い」の割合が 26.6%となっています。



問 31-1 今の仕事にあなたは強い不満、悩み、ストレスがありますか。(回答は一つ)

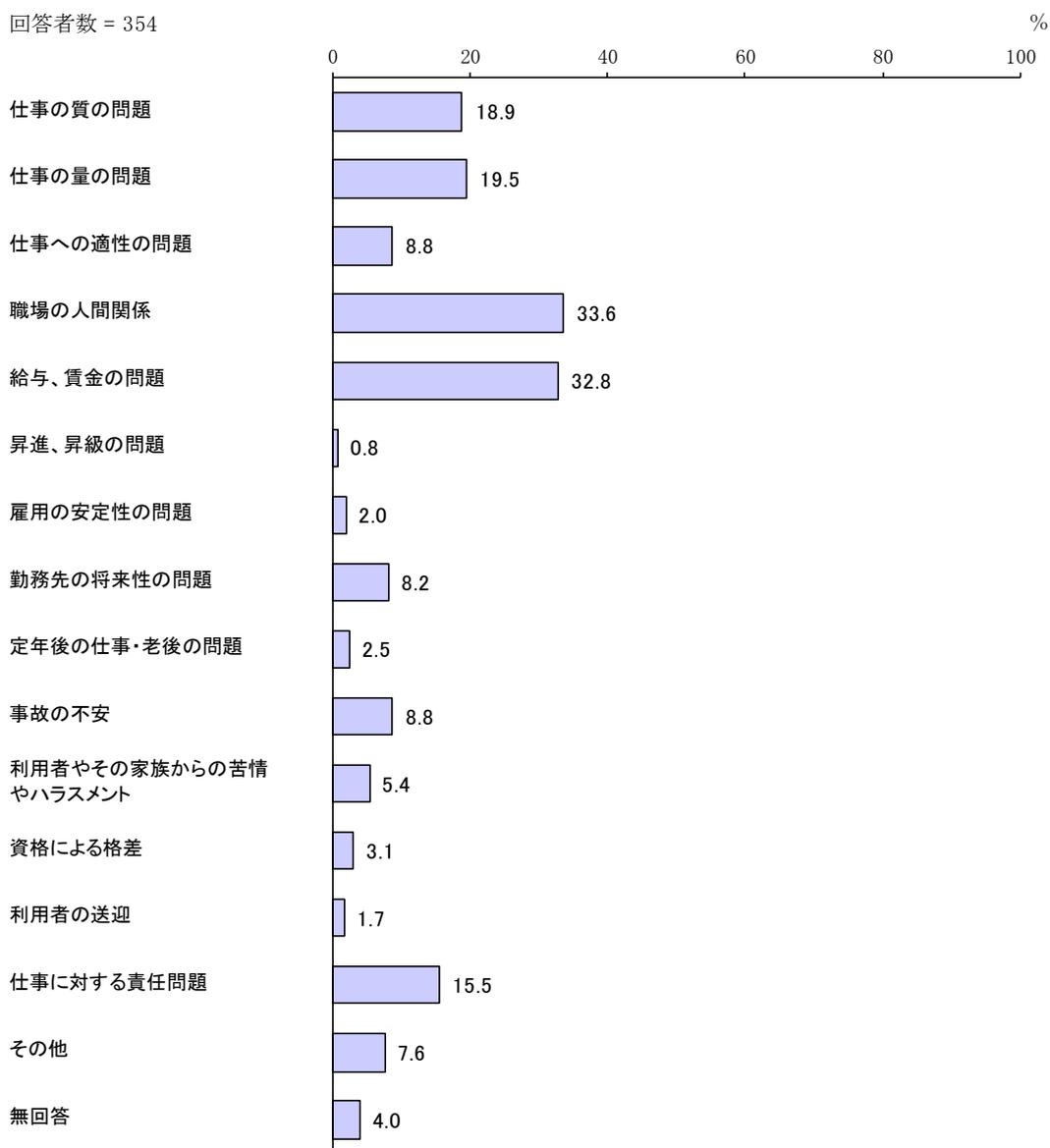
「ある」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「ない」の割合が 39.3%、「わからない」の割合が 16.9%となっています。



問31-1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問31-2 その大きな要因はなにですか。(回答は二つまで)

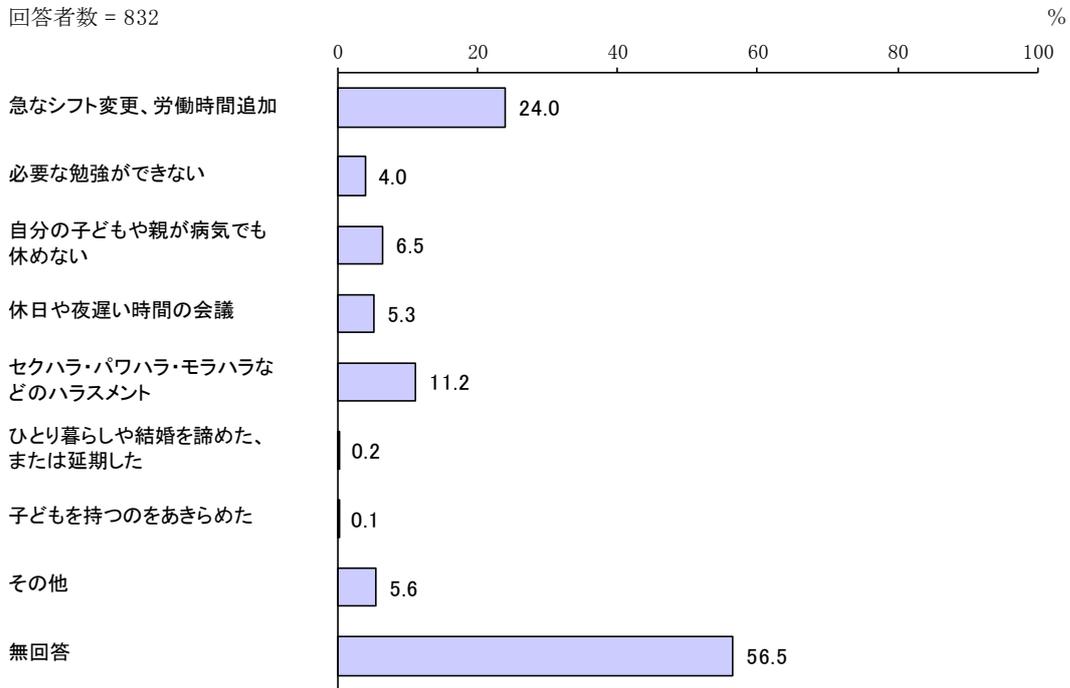
「職場の人間関係」の割合が33.6%と最も高く、次いで「給与、賃金の問題」の割合が32.8%、「仕事の量の問題」の割合が19.5%となっています。



問 32 あなたが施設で経験したことをお答えください。(あてはまるものすべて)

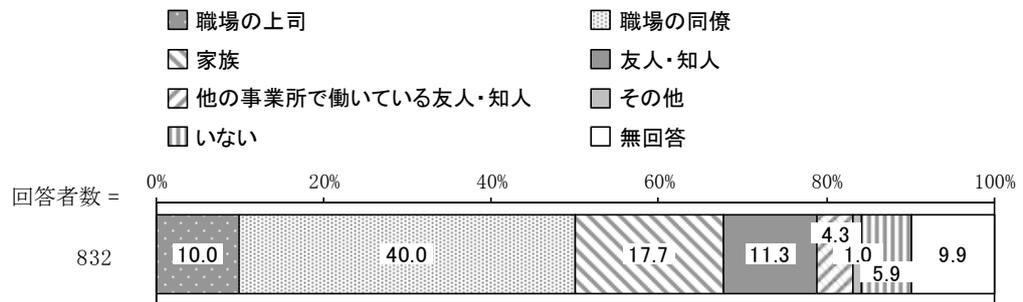
「急なシフト変更、労働時間追加」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「セクハラ・パワハラ・モラハラなどのハラスメント」の割合が 11.2%となっています。

回答者数 = 832



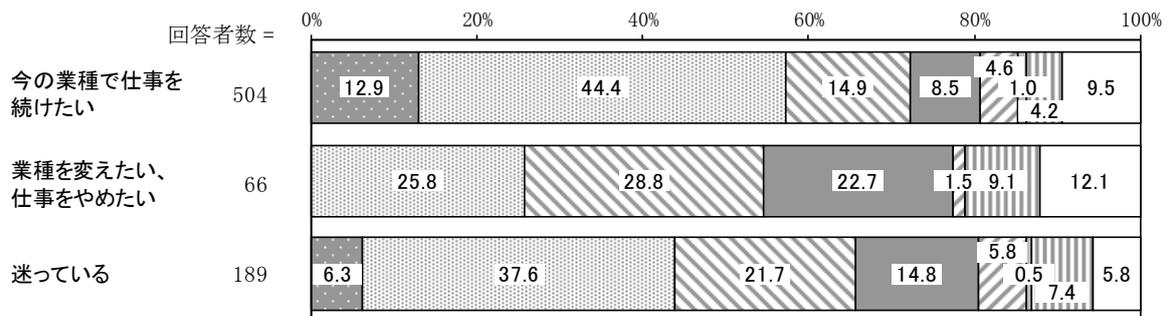
問 33 仕事における悩みなど誰に相談することが多いですか。(回答は一つ)

「職場の同僚」の割合が40.0%と最も高く、次いで「家族」の割合が17.7%、「友人・知人」の割合が11.3%となっています。



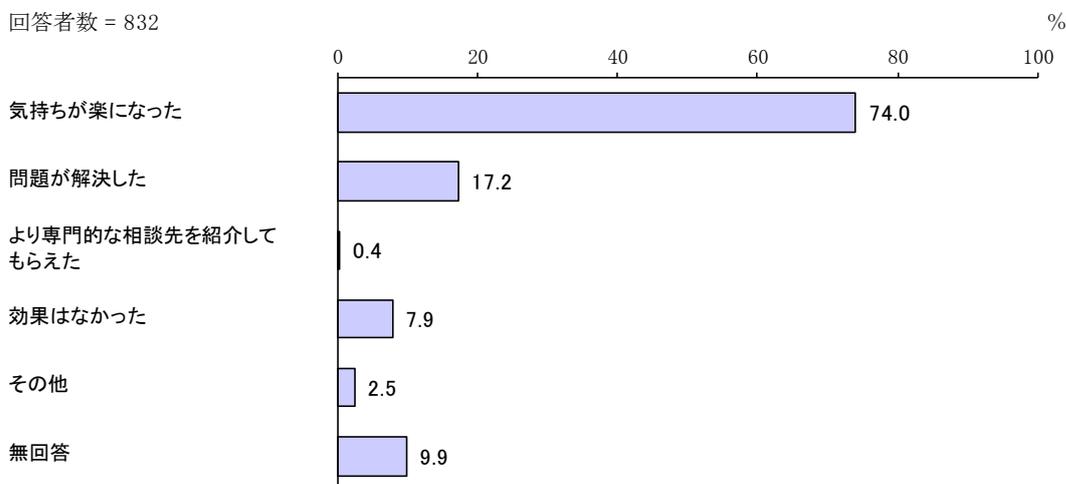
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで「職場の上司」「職場の同僚」の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで「家族」「友人・知人」の割合が高くなっています。



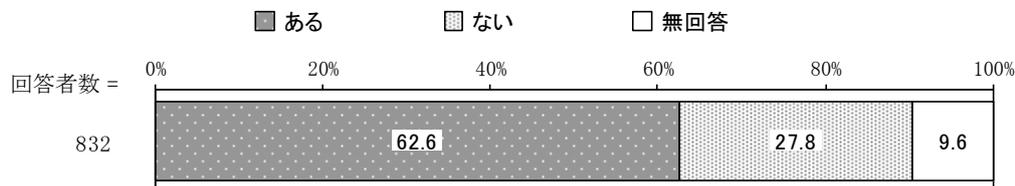
問 34 相談してどのような効果がありましたか。(あてはまるものすべて)

「気持ちが楽になった」の割合が74.0%と最も高く、次いで「問題が解決した」の割合が17.2%となっています。



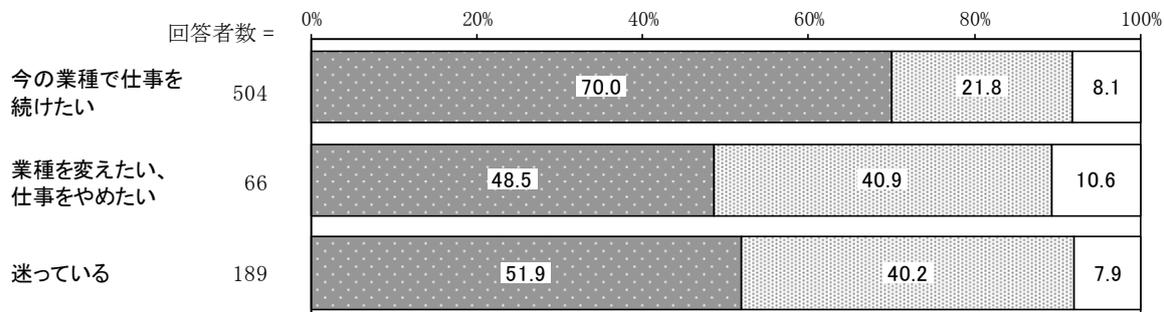
問 36 あなたの職場では、利用者からの苦情や職員の悩みや相談ごとへの対処法を職場で検討する機会がありますか。(回答は一つ)

「ある」の割合が62.6%、「ない」の割合が27.8%となっています。



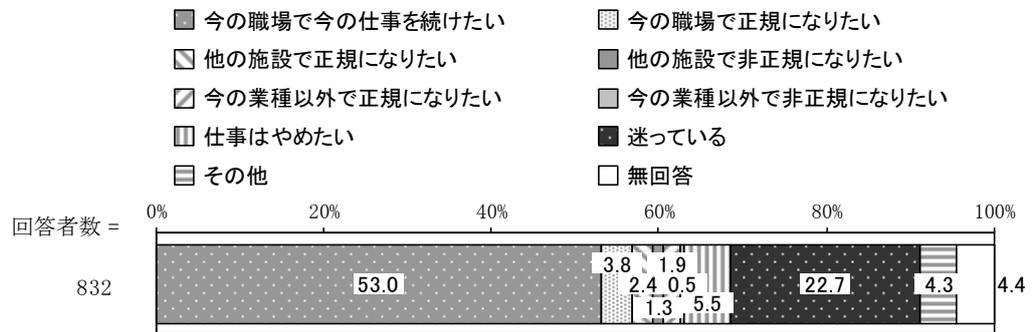
【就業継続意向別】

就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで「ある」の割合が高くなっています。



問 37 あなたは、今後も現在の業種で働き続けたいと思っていますか。(回答は一つ)

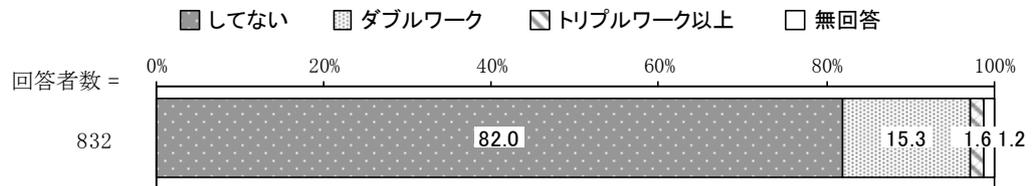
「今の職場で今の仕事を続けたい」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「迷っている」の割合が 22.7%となっています。



(4) 賃金や生計についての感じ方、現状について

問 38-1 あなたは現在、複数の仕事を掛け持ちしていますか。(回答は一つ)

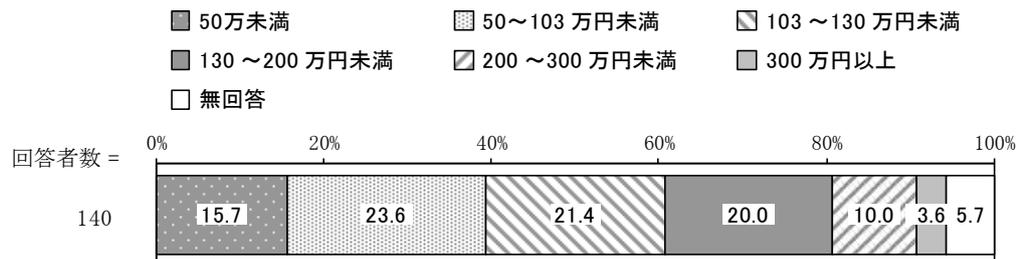
「していない」の割合が82.0%と最も高く、次いで「ダブルワーク」の割合が15.3%となっています。



問 38-1 で「2. ダブルワーク」「3. トリプルワーク以上」と答えた方にお聞きします。

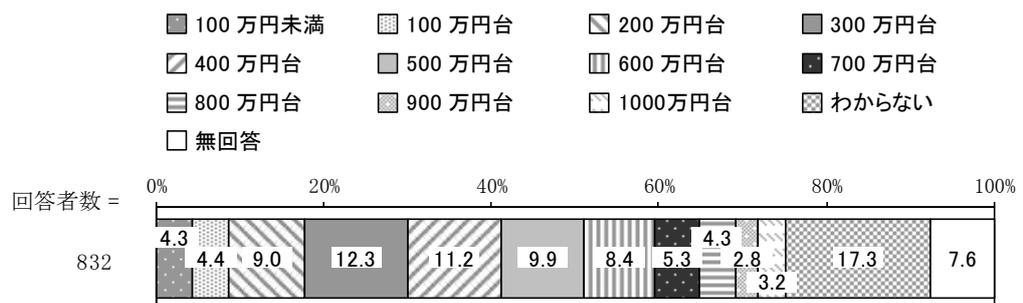
問 38-2 全ての勤務先で得た昨年の勤労収入(額面)は合計でおよそいくらになりますか。(回答は一つ)

「50～103万円未満」の割合が23.6%と最も高く、次いで「103～130万円未満」の割合が21.4%、「130～200万円未満」の割合が20.0%となっています。



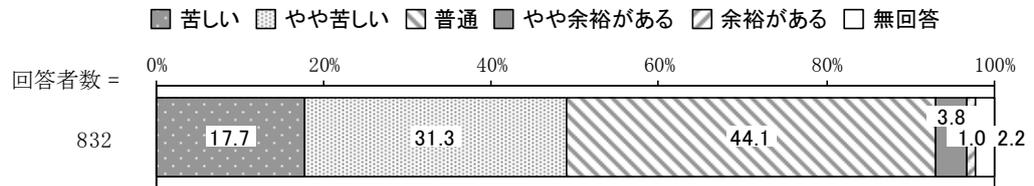
問 39 あなたの世帯の全員の収入(額面、自分および家族の勤労収入、年金や子ども手当などすべて)を合計すると、およそいくらになりますか(稼ぎ手が一人の場合は自分の分。)(回答は一つ)

「わからない」の割合が17.3%と最も高く、次いで「300万円台」の割合が12.3%、「400万円台」の割合が11.2%となっています。



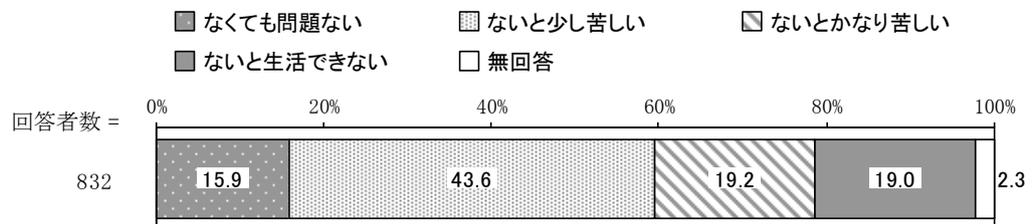
問 40 家計状況について、どう感じですか。(回答は一つ)

「苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が49.0%、「普通」の割合が44.1%、「やや余裕がある」と「余裕がある」をあわせた“余裕がある”の割合が4.8%となっています。



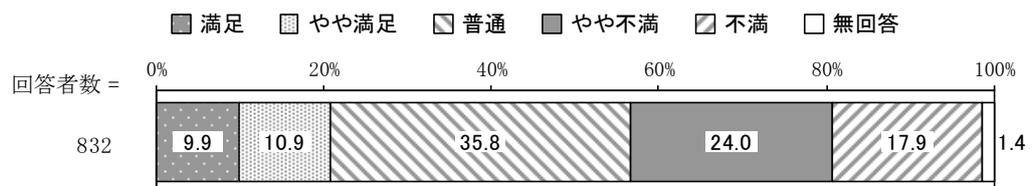
問 41 あなたの収入がなければ世帯の生活状況はどうなりますか。(回答は一つ)

「ないと少し苦しい」の割合が43.6%と最も高く、次いで「ないとかなり苦しい」の割合が19.2%、「ないと生活できない」の割合が19.0%となっています。



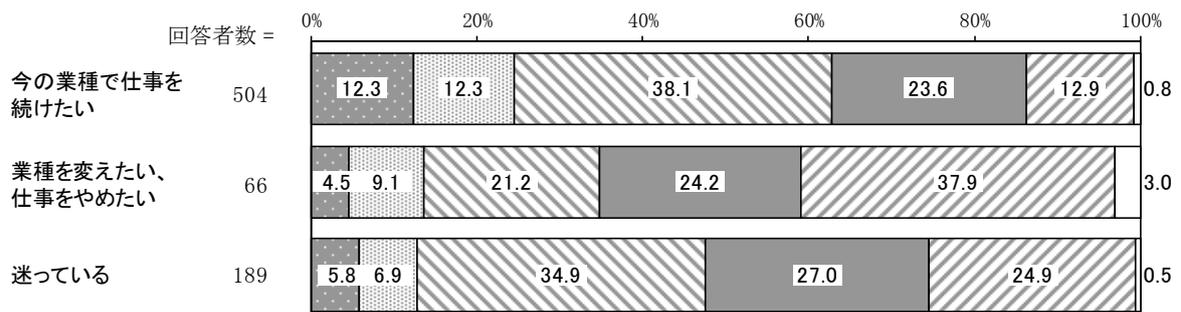
問 42-1 あなたは給料・賃金は十分だと思いますか。(回答は一つ)

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が20.8%、「普通」の割合が35.8%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が41.9%となっています。



【就業継続意向別】

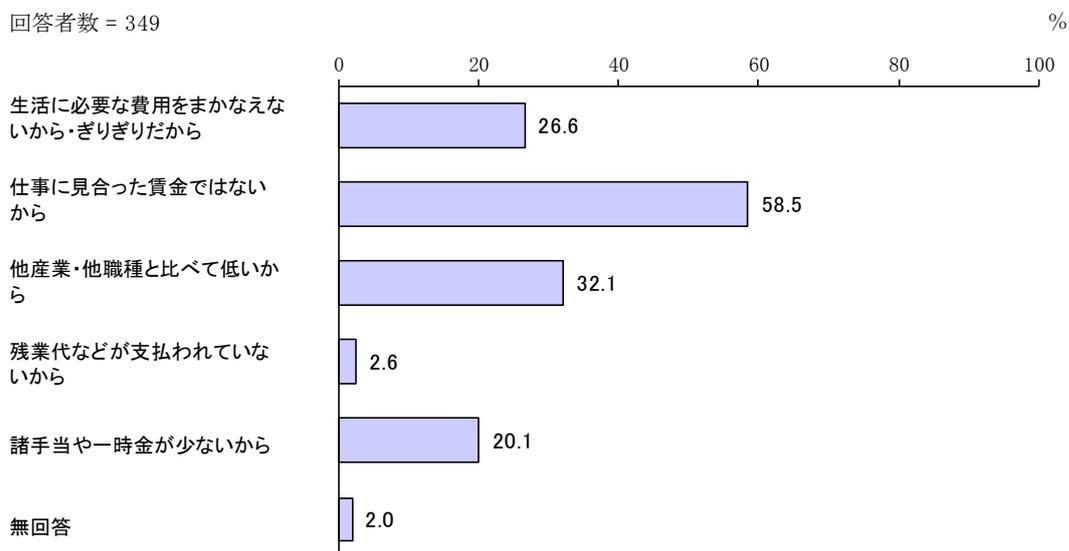
就業継続意向別で比較すると、今の業種で仕事を続けたいで“満足”「普通」の割合が高くなっています。一方、業種を変えたい、仕事をやめたいで“不満”の割合が高くなっています。



問 42-1 で「4. やや不満」「5. 不満」と答えた方にお聞きします。

問 42-2 その主な理由は次のうちどれですか。(回答は二つまで)

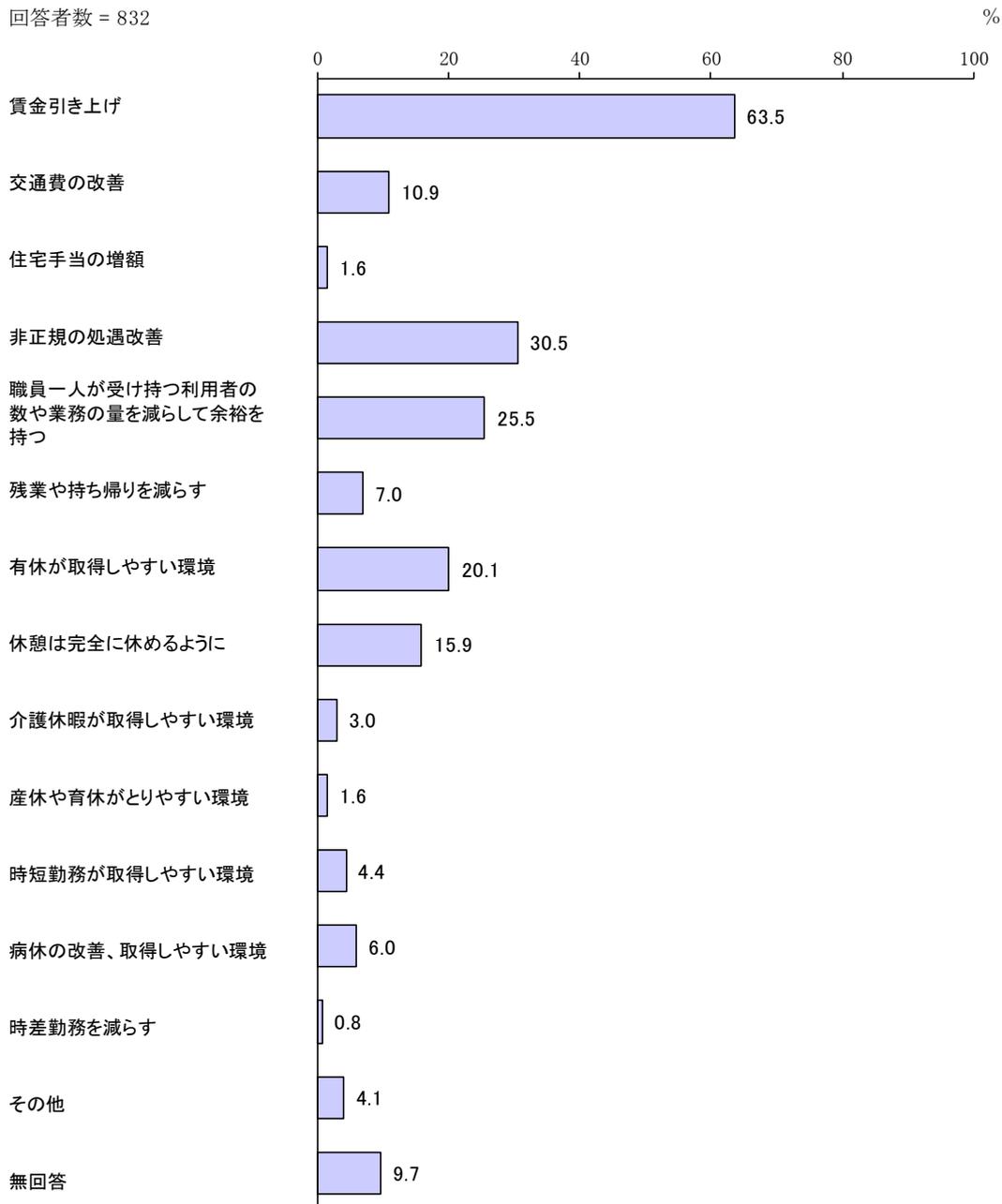
「仕事に見合った賃金ではないから」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「他産業・他職種と比べて低いから」の割合が 32.1%、「生活に必要な費用をまかなえないから・ぎりぎりだから」の割合が 26.6%となっています。



(5) 労働の改善について

問 43 労働条件では、どの改善が最も重要だと思いますか。(回答は上位三つまで)

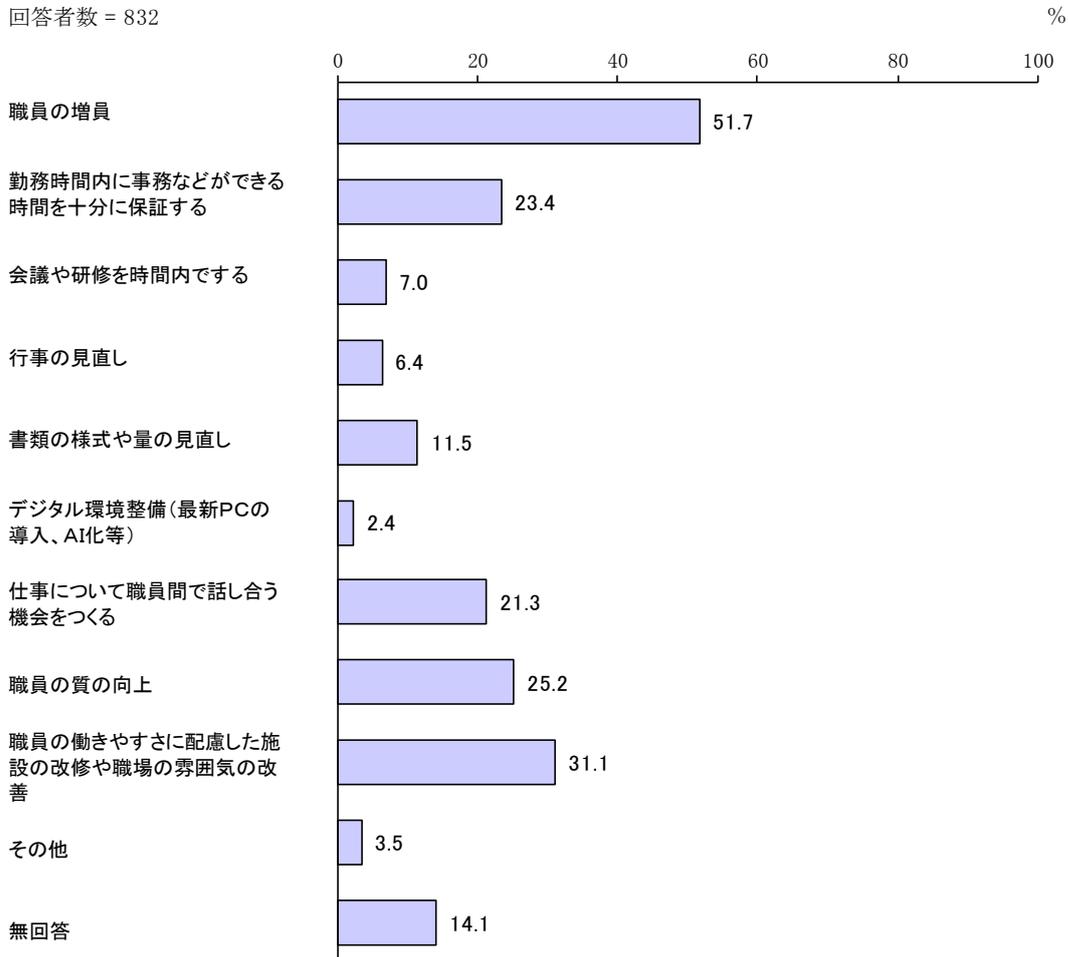
「賃金引き上げ」の割合が63.5%と最も高く、次いで「非正規の処遇改善」の割合が30.5%、「職員一人が受け持つ利用者の数や業務の量を減らして余裕を持つ」の割合が25.5%となっています。



問 44 労働改善のために、職場編成からはどんな改善が必要だと思いますか。
(回答は上位三つまで)

「職員の増員」の割合が51.7%と最も高く、次いで「職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気改善」の割合が31.1%、「職員の質の向上」の割合が25.2%となっています。

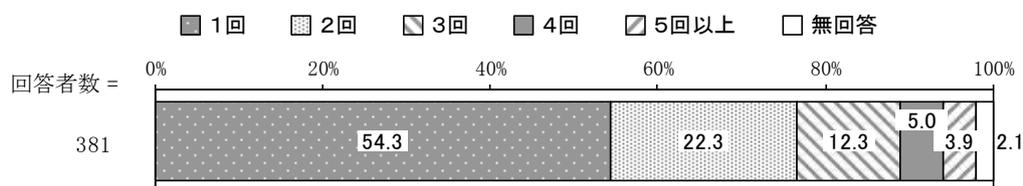
回答者数 = 832



福祉職で退職・離職の経験がある方にお聞きします。

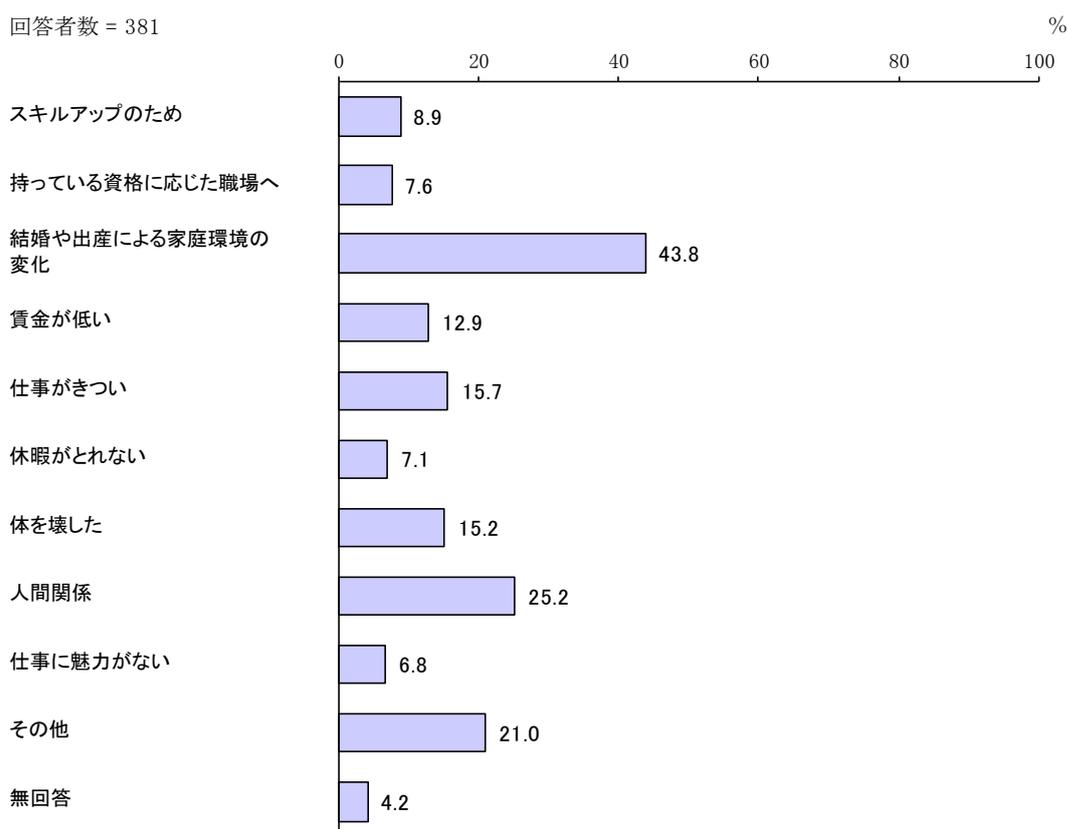
問 45 退職・離職の回数をお答えください。(回答は一つ)

「1回」の割合が54.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.3%、「3回」の割合が12.3%となっています。



問 46 退職・離職した理由について、主なものをお答えください。(回答三つまで)

「結婚や出産による家庭環境の変化」の割合が43.8%と最も高く、次いで「人間関係」の割合が25.2%、「仕事がきつい」の割合が15.7%となっています。

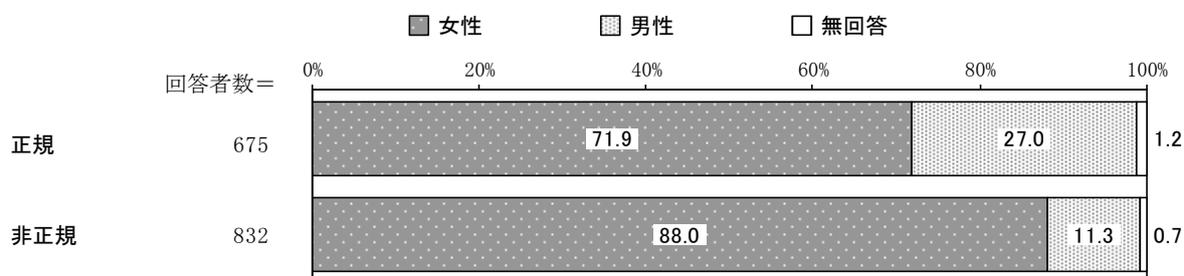


3 正規社員・非正規社員の比較

(1) 回答者属性

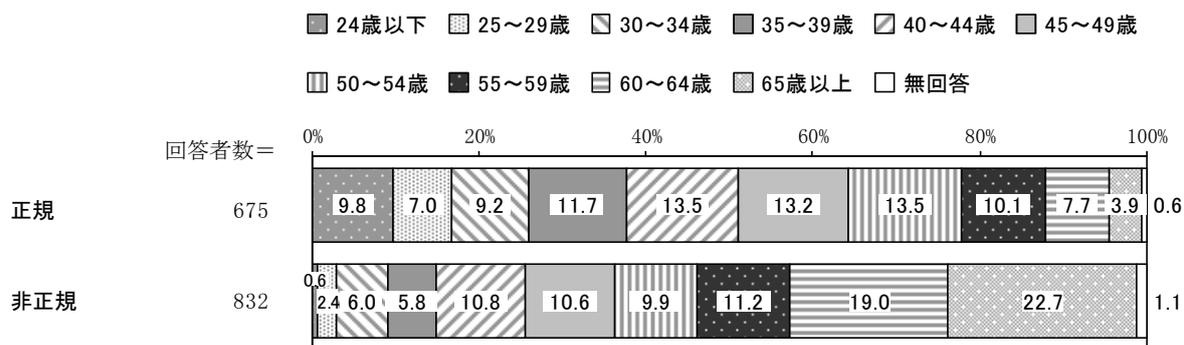
正規問1、非正規問1 あなたの性別をお答えください。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「男性」の割合が高くなっています。一方、非正規では「女性」の割合が高くなっています。



正規問2、非正規問2 あなたの年齢はいくつですか。(回答は一つ)

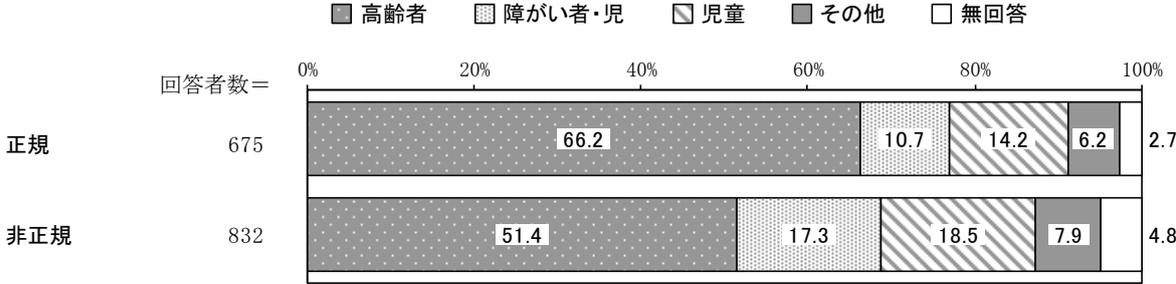
正規と非正規を比較すると、正規で「24歳以下」「35～39歳」の割合が高くなっています。一方、非正規では「60～64歳」「65歳以上」の割合が高くなっています。



正規問3、非正規問3 あなたはどのような職場で働いていますか。主な対象者と勤務形態をお答えください。(回答は各一つ)

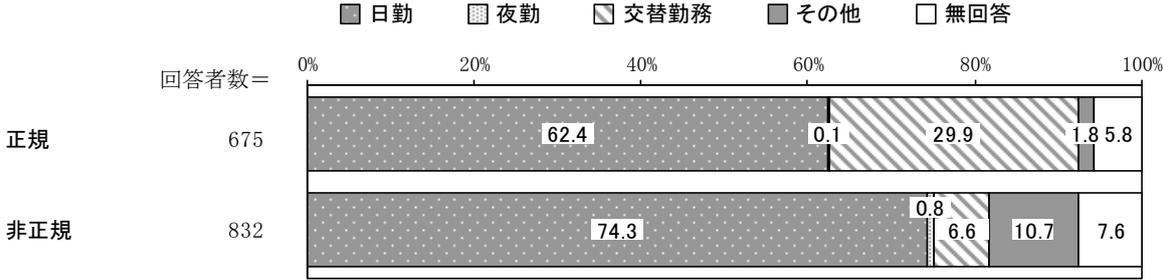
ア 主な対象者

正規と非正規を比較すると、正規で「高齢者」の割合が高くなっています。一方、非正規では「障がい者・児」の割合が高くなっています。



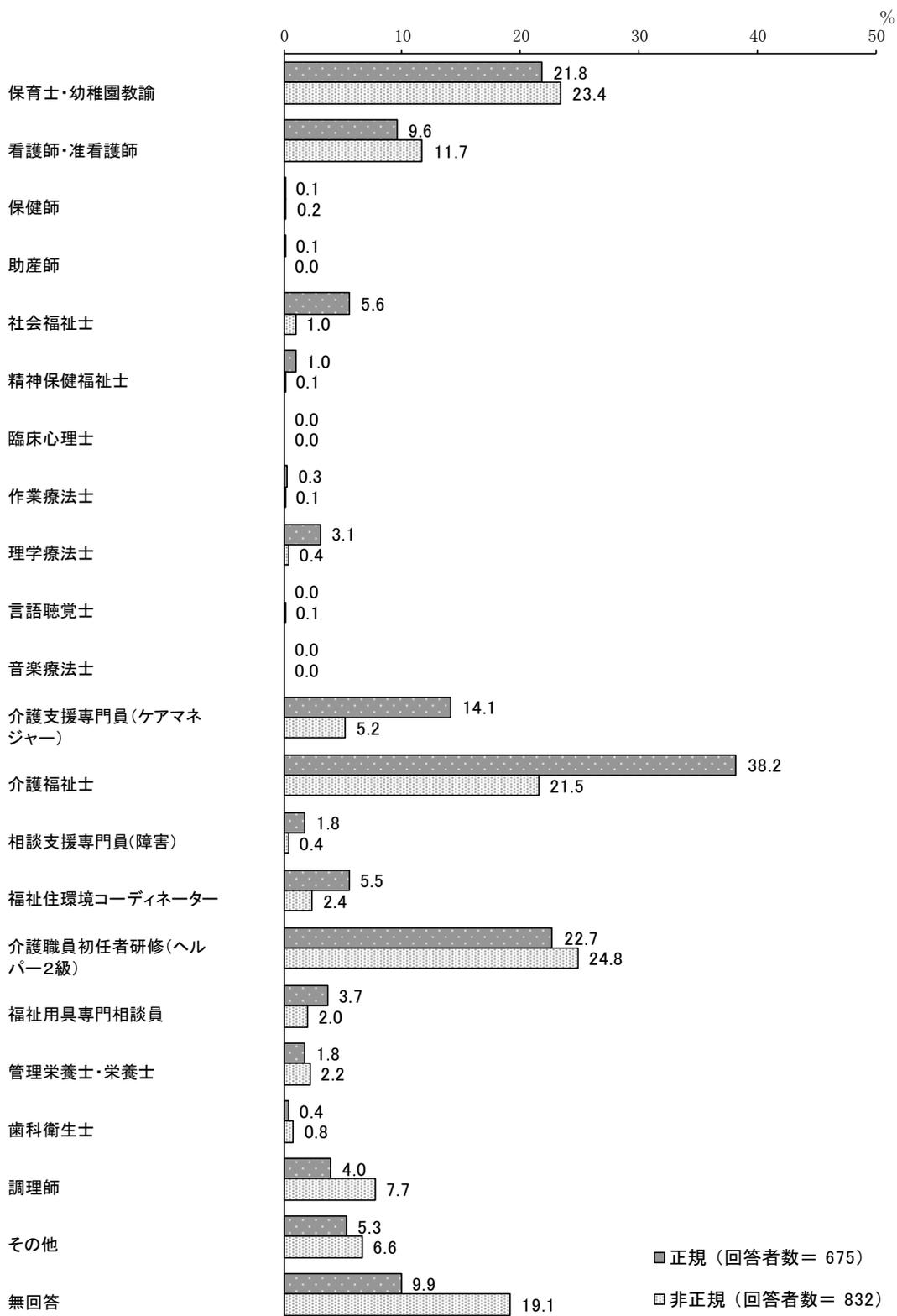
イ 勤務形態

正規と非正規を比較すると、正規で「交替勤務」の割合が高くなっています。一方、非正規では「日勤」の割合が高くなっています。



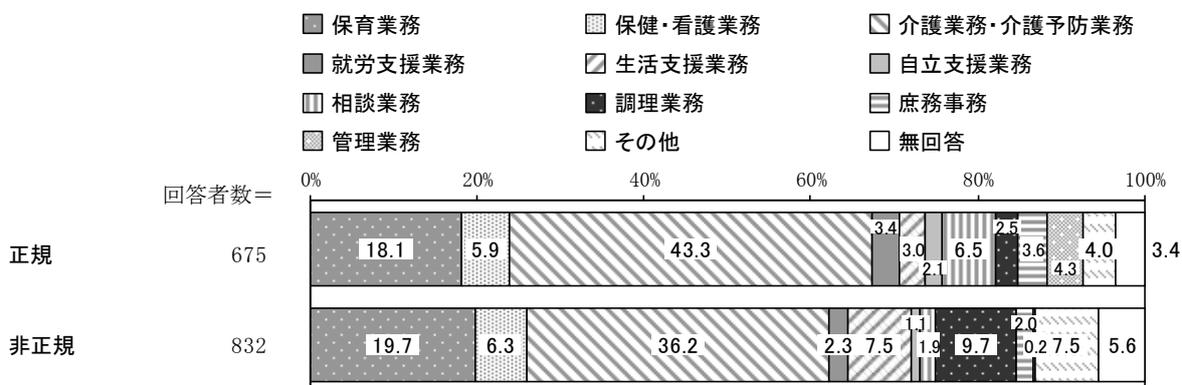
正規問4、非正規問4 以下のうち、あなたがお持ちの資格をお答えください。
(あてはまるものすべて)

正規と非正規を比較すると、正規で「介護支援専門員（ケアマネジャー）」「介護福祉士」の割合が高くなっています。



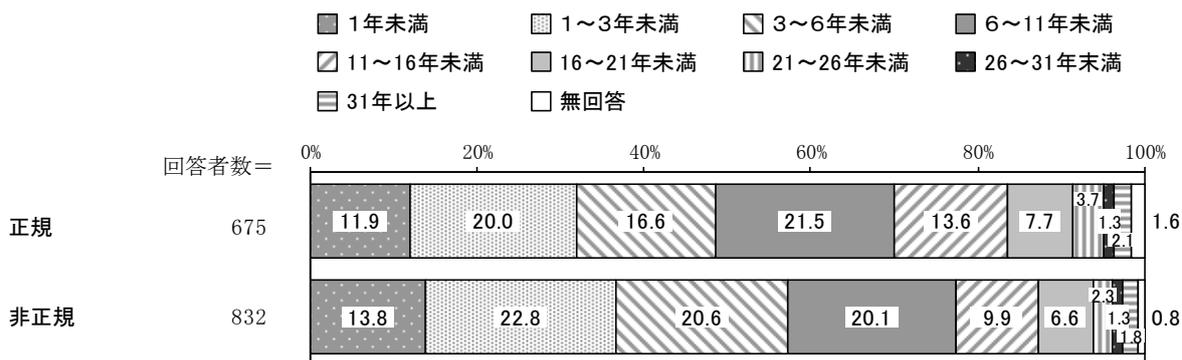
正規問5、非正規問5 あなたの主な業務は。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「介護業務・介護予防業務」の割合が高くなっています。一方、非正規では「生活支援業務」「調理業務」の割合が高くなっています。



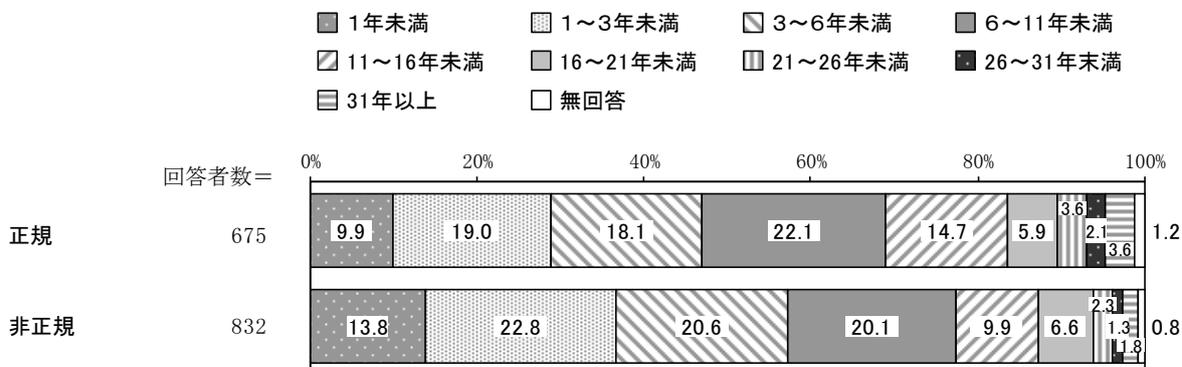
正規問6、非正規問6 現在勤務する事業所で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、大きな差異はみられません。



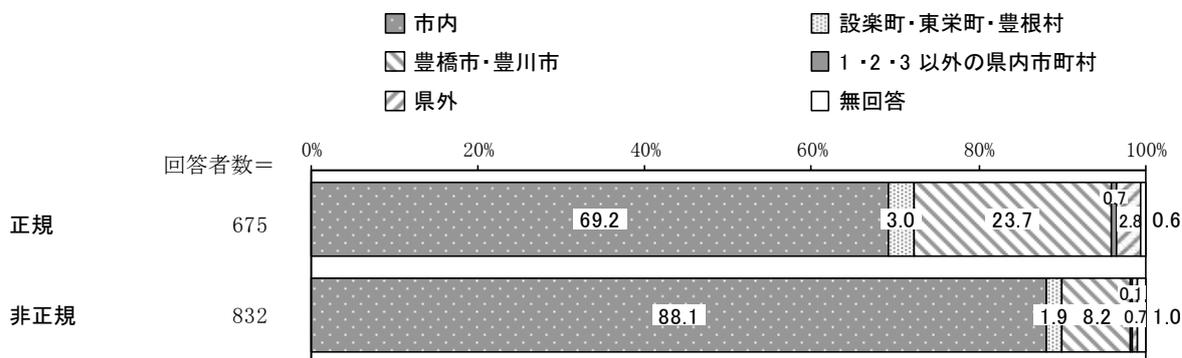
正規問7、非正規問7 現在担当する業務で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して。回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、大きな差異はみられません。



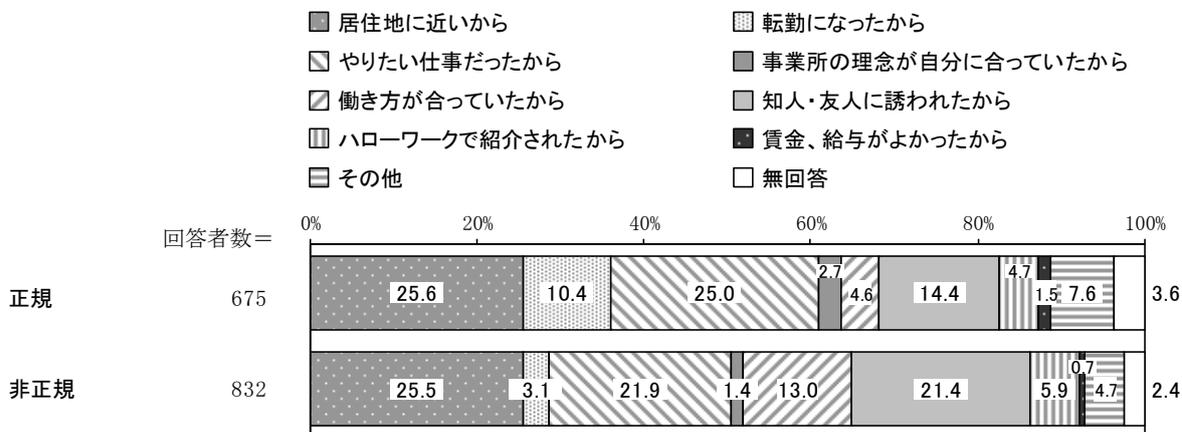
正規問 8、非正規問 9 どこから通勤していますか。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「豊橋市・豊川市」の割合が高くなっています。一方、非正規では「市内」の割合が高くなっています。



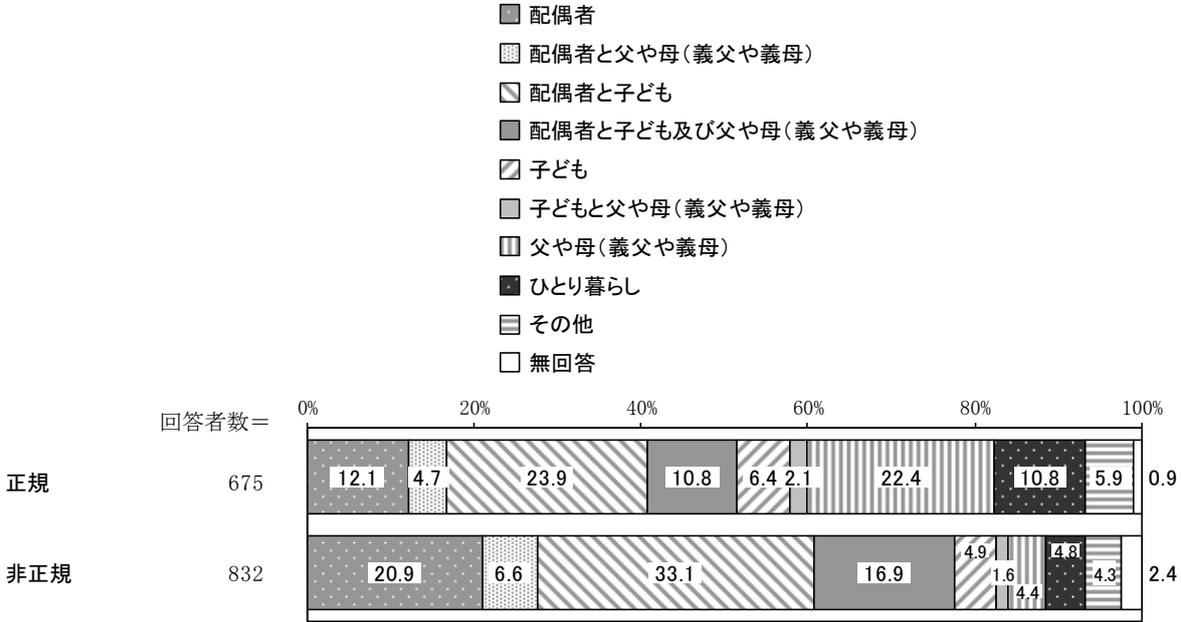
正規問 9、非正規問 10 今の事業所を選んだ理由をお答えください。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「転勤になったから」の割合が高くなっています。一方、非正規では「働き方が合っていたから」「知人・友人に誘われたから」の割合が高くなっています。



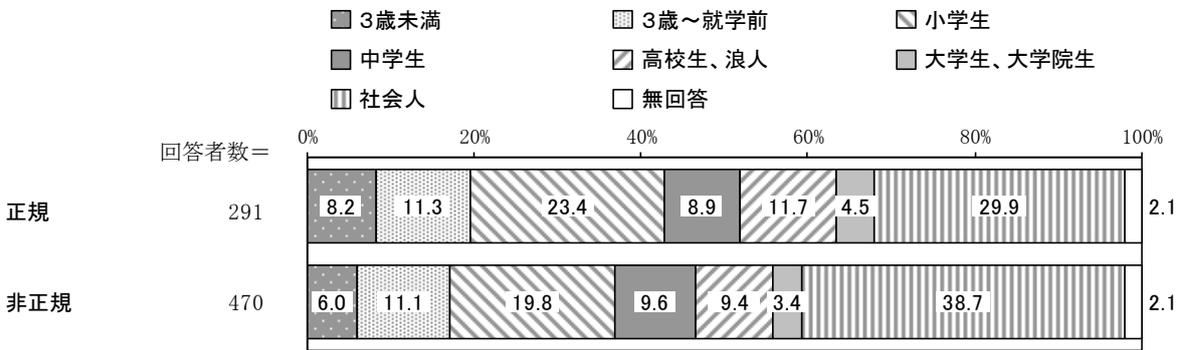
正規問 10、非正規問 11 あなたと同居している人の構成をお答えください。
(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「父や母（義父や義母）」「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。一方、非正規では「配偶者」「配偶者と子ども」「配偶者と子ども及び父や母（義父や義母）」の割合が高くなっています。



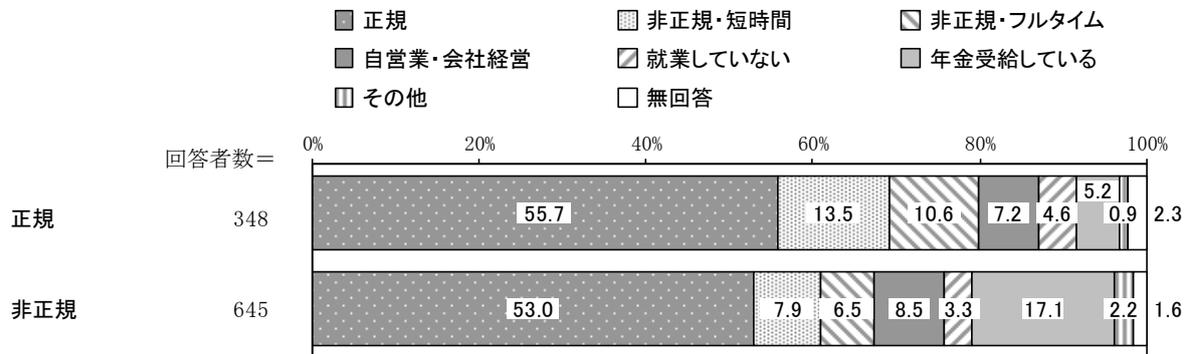
正規問 11、非正規問 12 同居しているお子様がいる方に伺います。末子はおいくつですか。
(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、非正規で「社会人」の割合が高くなっています。



正規問 12、非正規問 13 配偶者(同棲や事実婚を含む)がおられる方にお聞きします。配偶者の就業状況をお答えください。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「非正規・短時間」の割合が高くなっています。一方、非正規では「年金受給している」の割合が高くなっています。

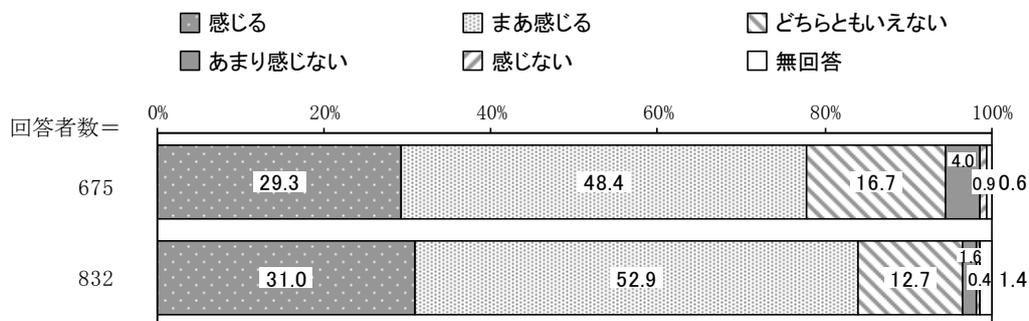


(2) 仕事に対するの感じ方や心身の状況について

正規問 29、非正規問 29 現在の業務で働くやりがいなどについて。それぞれの項目でどの程度感じていますか。もっともあてはまるものを選んでください。(回答は各一つ)

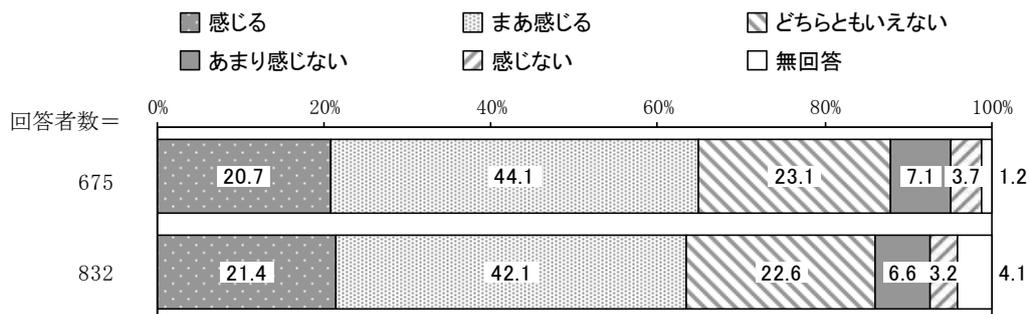
ア 人の役に立っている

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



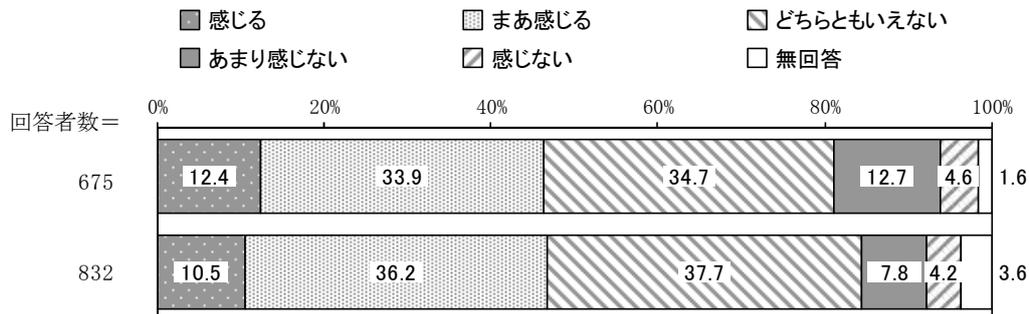
イ 自分の資格や持ち味が活かしている

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



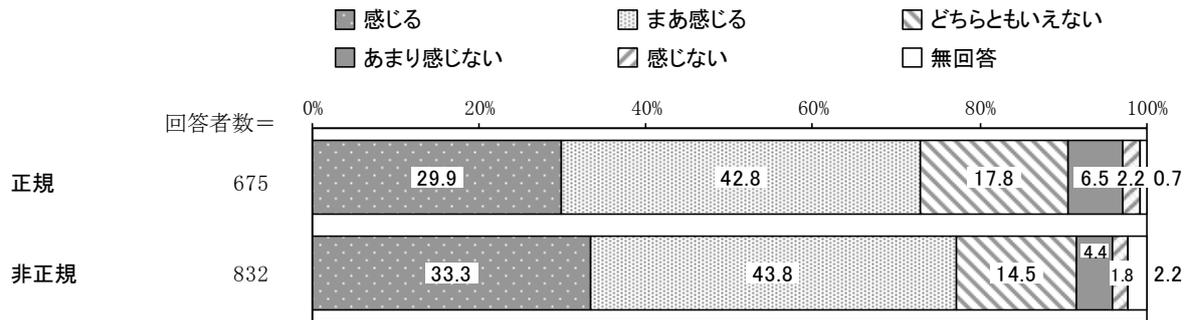
ウ 事業所の方針と自分のやりたいことが合っている

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



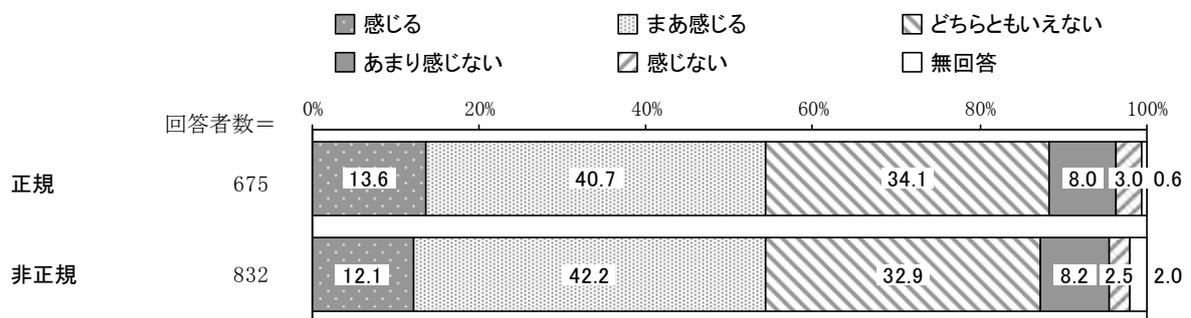
エ ユーザーと過ごす楽しさ

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



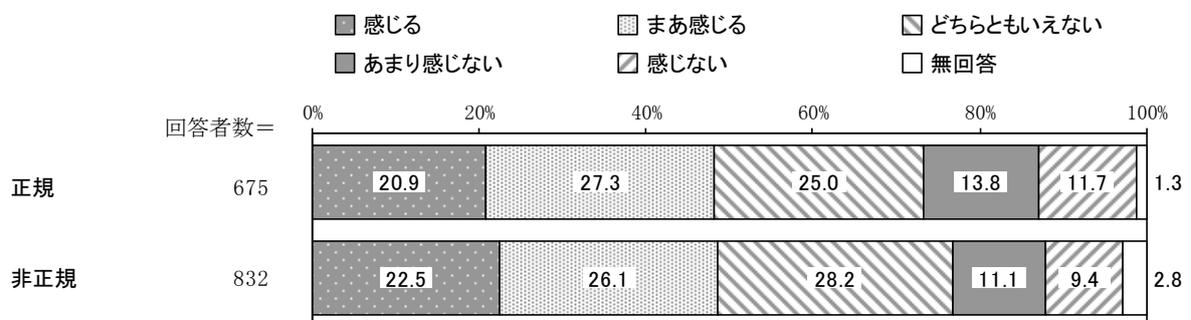
オ 職員としての自分の成長

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



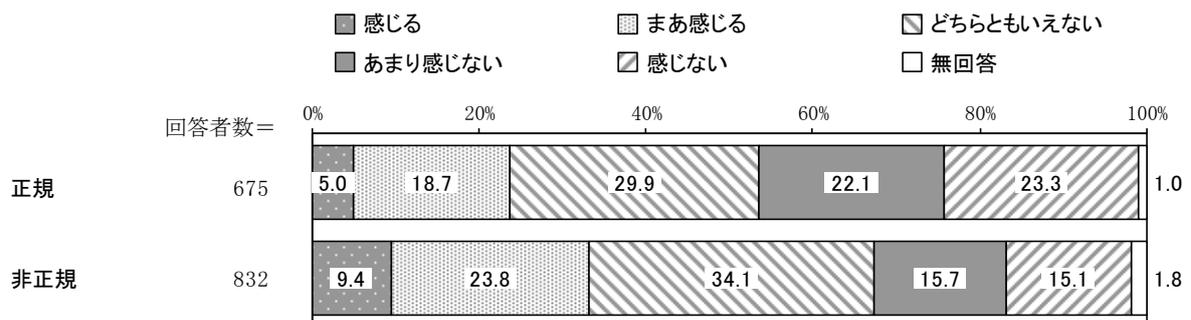
カ 目標にしたい先輩・同僚がいる

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



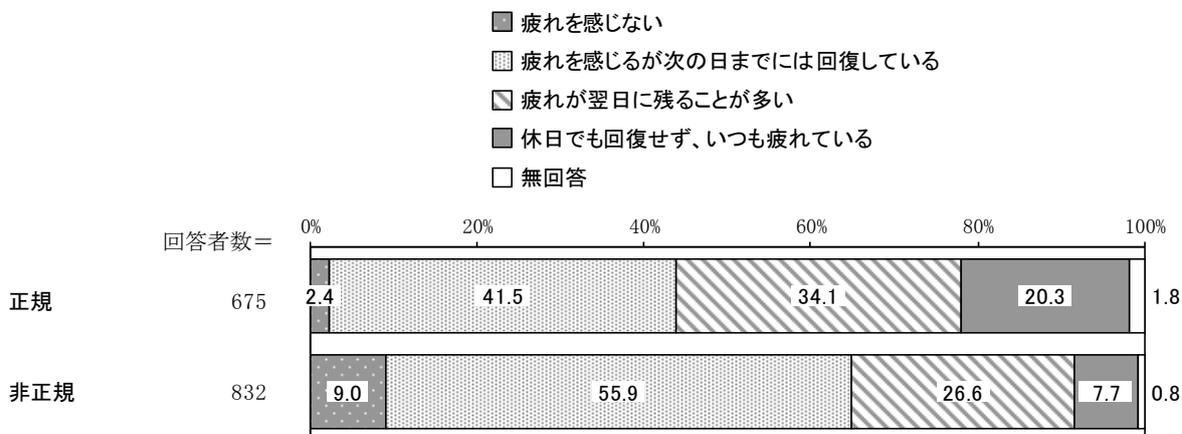
キ 賃金に見合っている

正規と非正規を比較すると、正規で「あまり感じない」「感じない」の割合が高くなっています。一方、非正規では「感じる」「まあ感じる」の割合が高くなっています。



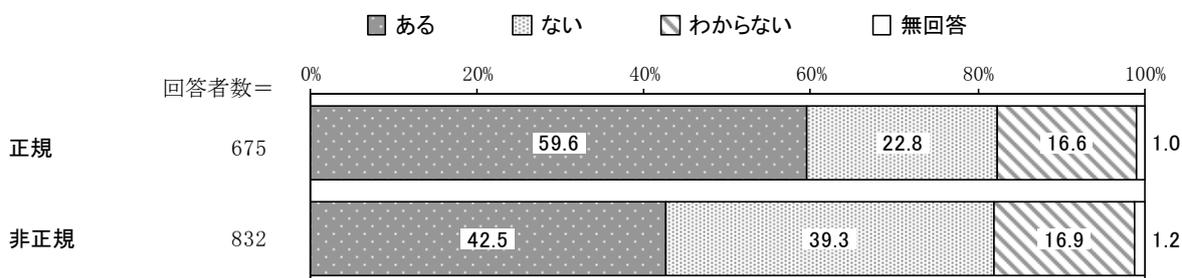
正規問 30、非正規問 30 あなたの仕事での疲れはどの程度ですか。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「疲れが翌日に残ることが多い」「休日でも回復せず、いつも疲れている」の割合が高くなっています。一方、非正規では「疲れを感じない」「疲れを感じるが次の日までには回復している」の割合が高くなっています。



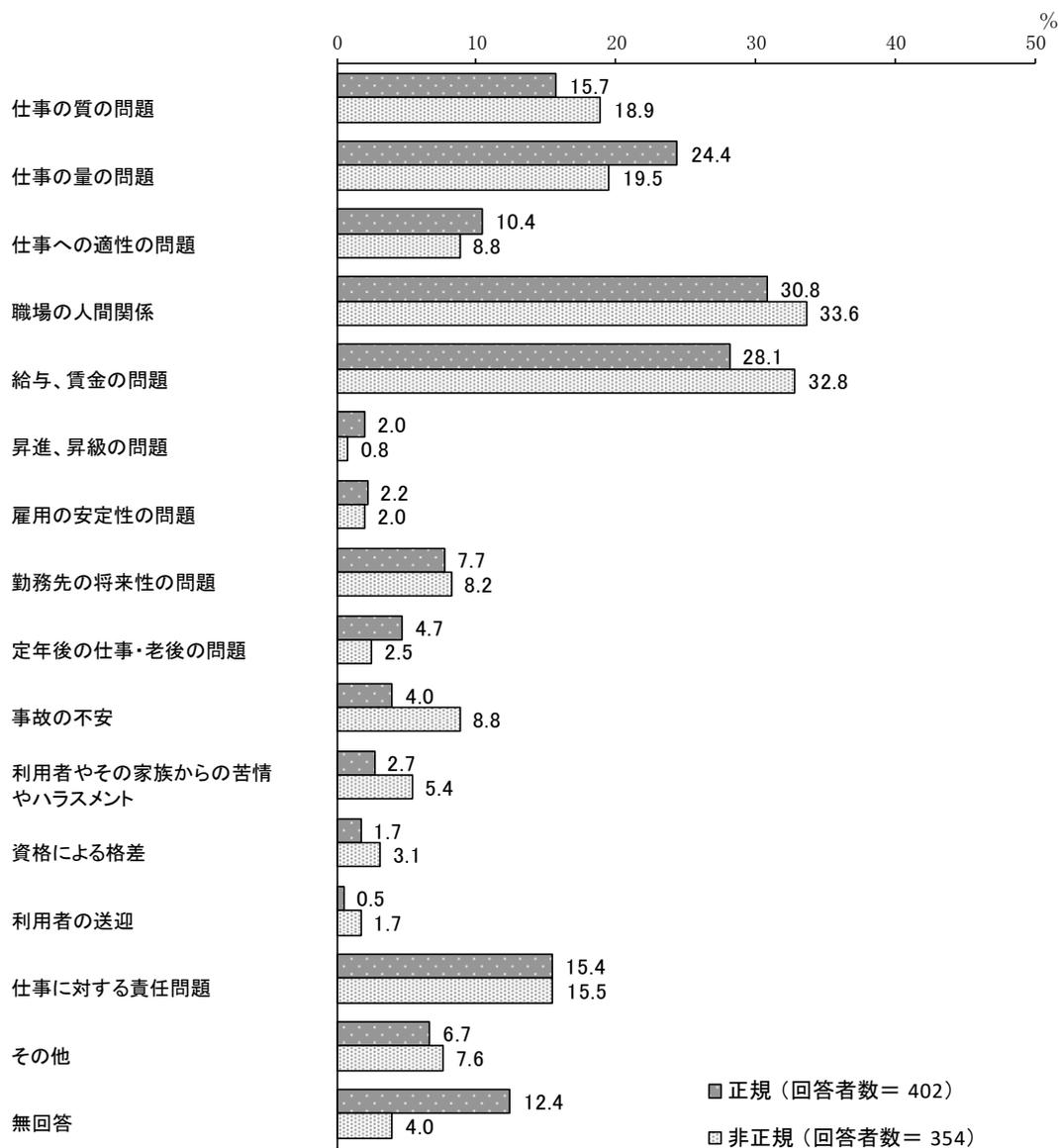
正規問 30-1、非正規問 30-1 今の仕事にあなたは強い不満、悩み、ストレスがありますか。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「ある」の割合が高くなっています。一方、非正規では「ない」の割合が高くなっています。



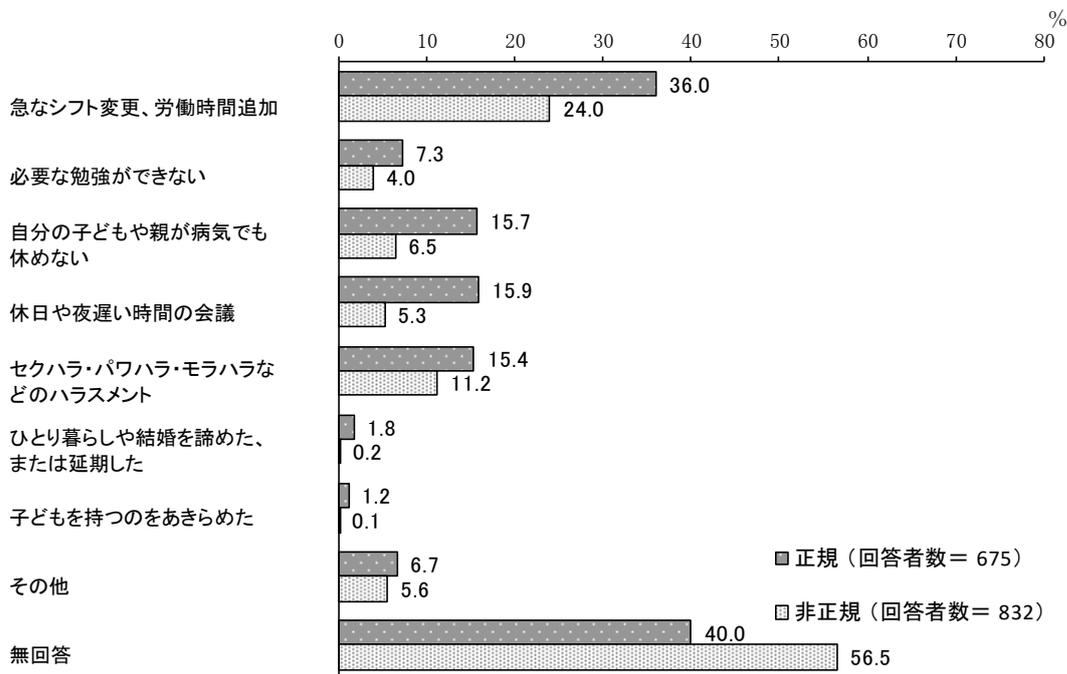
正規問 30-2、非正規問 30-2 その大きな要因はなにですか。(回答は二つまで)

正規と非正規を比較すると、大きな変化はみられません。



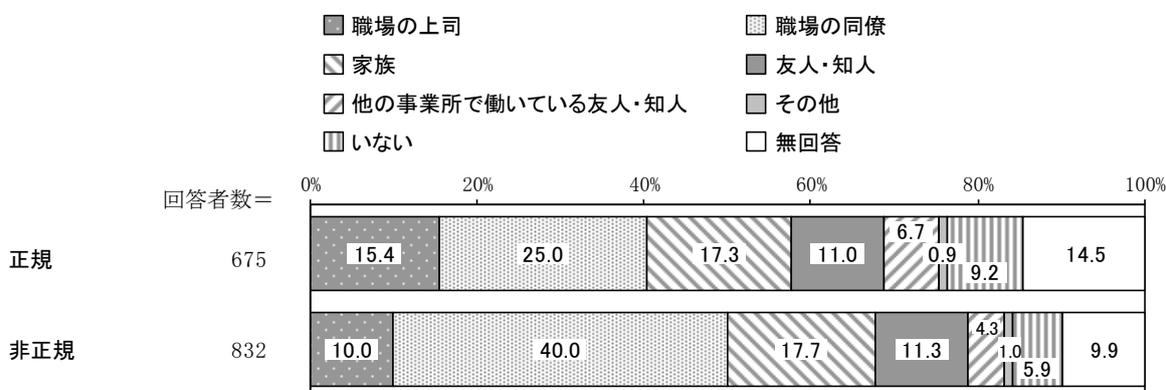
正規問 32、非正規問 32 あなたが施設で経験したことをお答えください。
(あてはまるものすべて)

正規と非正規を比較すると、正規で「急なシフト変更、労働時間追加」「自分の子どもや親が病気でも休めない」「休日や夜遅い時間の会議」の割合が高くなっています。



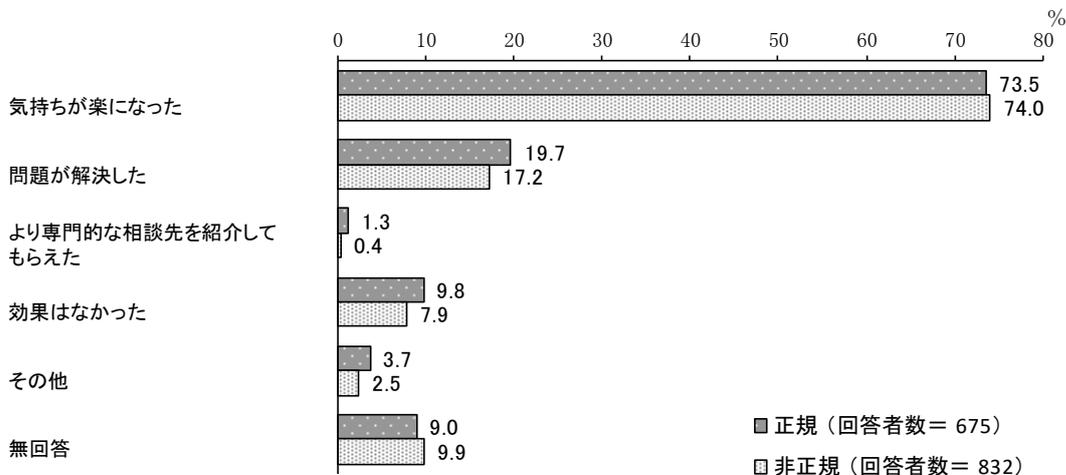
正規問 33、非正規問 33 仕事における悩みなど誰に相談することが多いですか。
(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「職場の上司」の割合が高くなっています。一方、非正規では「職場の同僚」の割合が高くなっています。



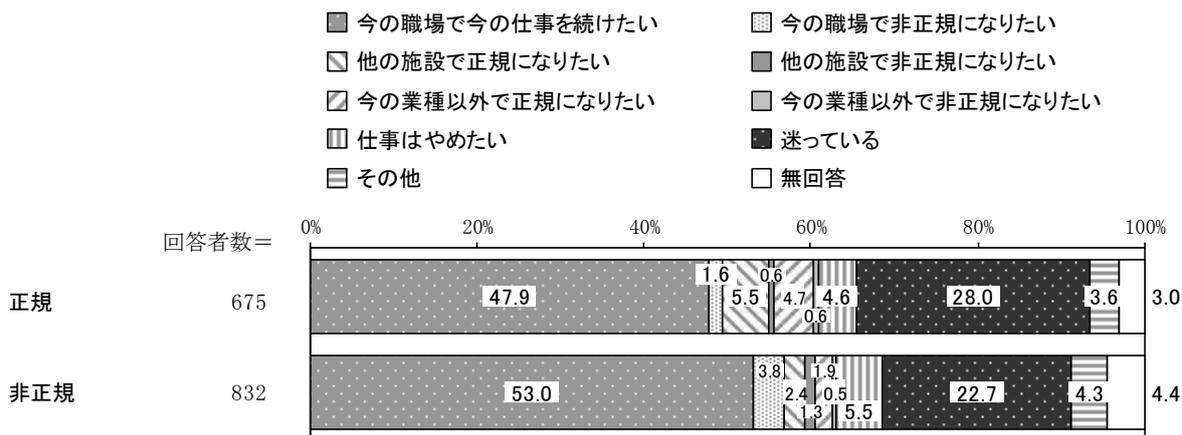
正規問 34、非正規問 34 相談してどのような効果がありましたか。
(あてはまるものすべて)

正規と非正規を比較すると、大きな差異はみられません。



正規問 39、非正規問 37 あなたは、今後も現在の業種で働き続けたいと思っていますか。(回答は一つ)

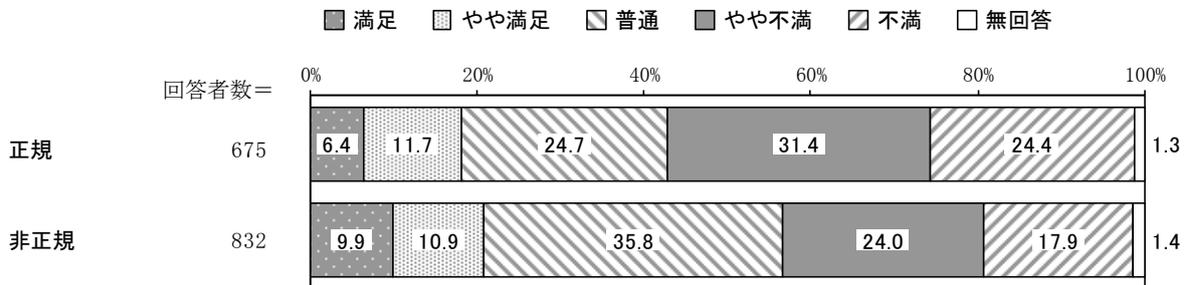
正規と非正規を比較すると、正規で「迷っている」の割合が高くなっています。一方、非正規では「今の職場で今の仕事を続けたい」の割合が高くなっています。



(3) 賃金や生計についての感じ方、現状について

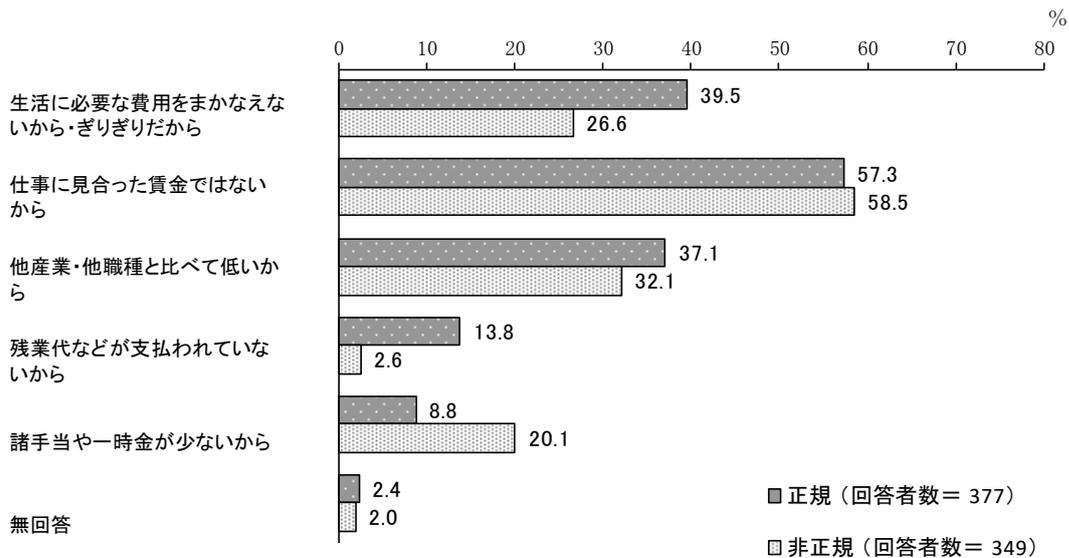
正規問 43-1、非正規問 42-1 あなたは給料・賃金は十分だと思いますか。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、正規で「やや不満」「不満」の割合が高くなっています。一方、非正規では「普通」の割合が高くなっています。



正規問 43-2、非正規問 42-2 その主な理由は次のうちどれですか。(回答は二つまで)

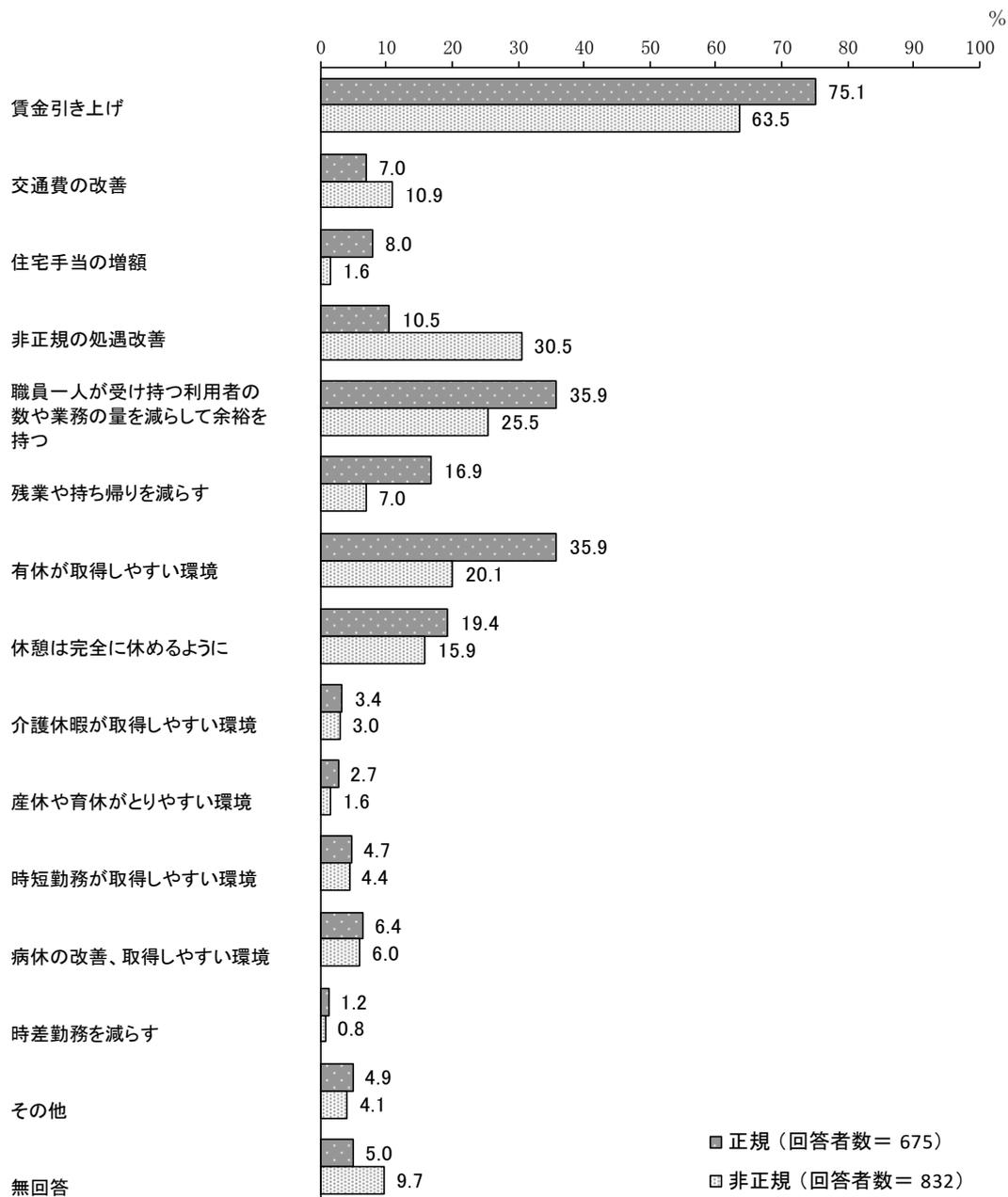
正規と非正規を比較すると、正規で「生活に必要な費用をまかなえないから・ぎりぎりだから」「残業代などが支払われていないから」の割合が高くなっています。一方、非正規では「諸手当や一時金が少ないから」の割合が高くなっています。



(4) 労働の改善について

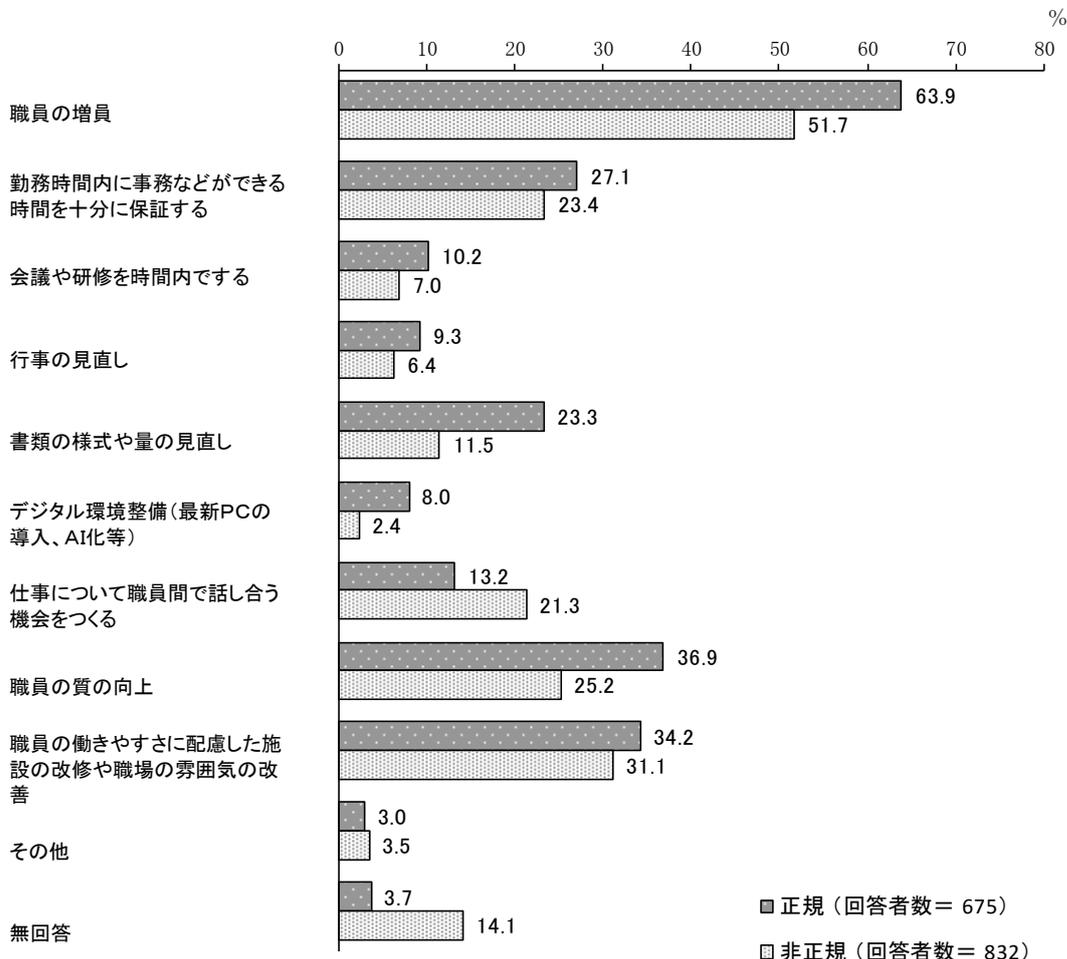
正規問 44、非正規問 43 労働条件では、どの改善が最も重要だと思いますか。
(回答は上位三つまで)

正規と非正規を比較すると、正規で「賃金引き上げ」「住宅手当の増額」「職員一人が受け持つ利用者の数や業務の量を減らして余裕を持つ」「残業や持ち帰りを減らす」「有休が取得しやすい環境」の割合が高くなっています。一方、非正規では「非正規の処遇改善」の割合が高くなっています。



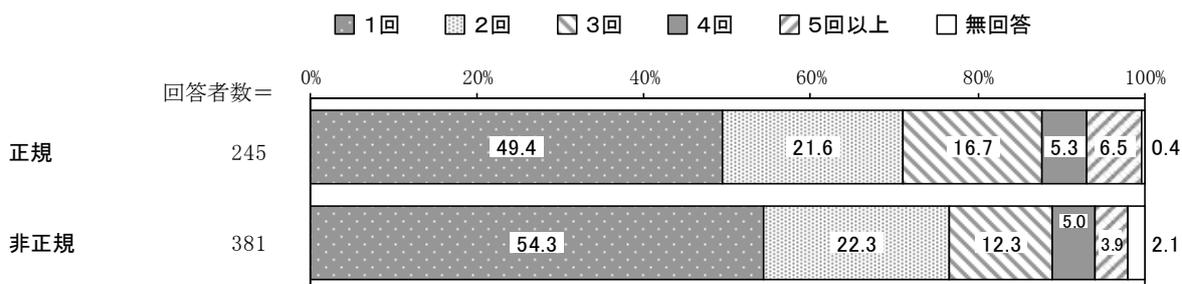
正規問 45、非正規問 44 労働改善のために、職場編成からはどんな改善が必要だと思いますか。(回答は上位三つまで)

正規と非正規を比較すると、正規で「職員の増員」「書類の様式や量の見直し」「デジタル環境整備（最新PCの導入、AI化等）」「職員の質の向上」の割合が高くなっています。一方、非正規では「仕事について職員間で話し合う機会をつくる」の割合が高くなっています。



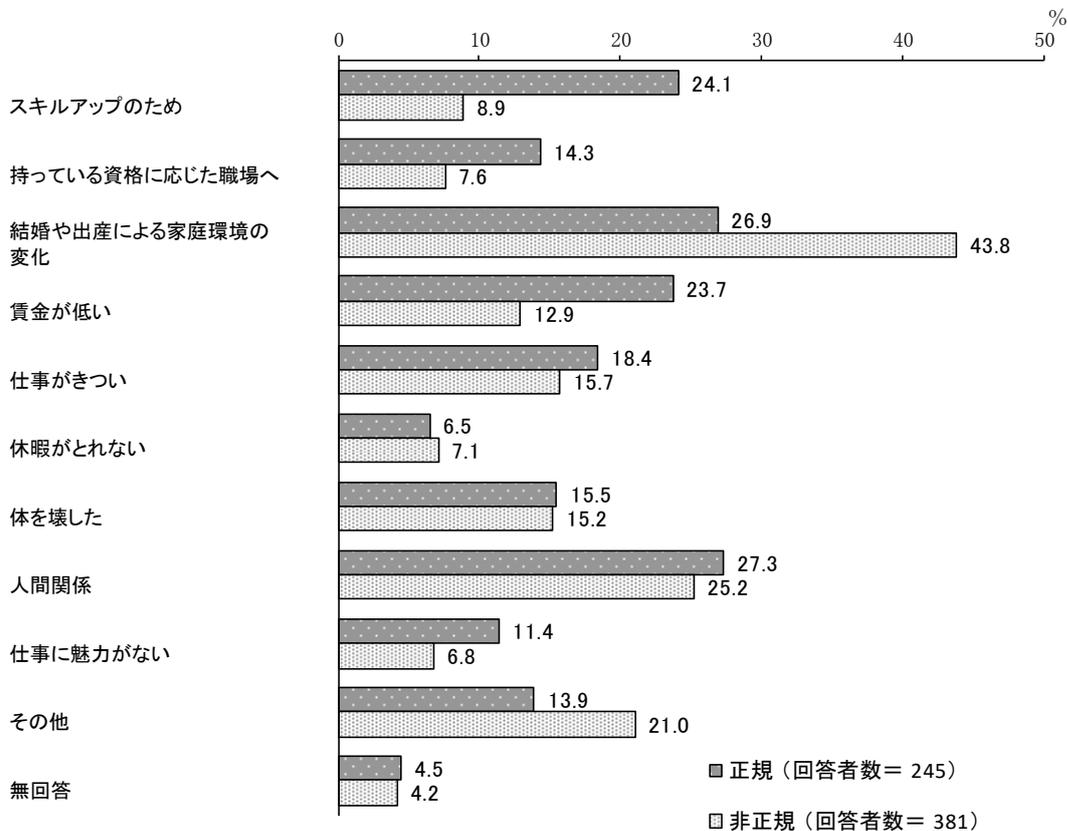
正規問 46、非正規問 45 退職・離職の回数をお答えください。(回答は一つ)

正規と非正規を比較すると、大きな差異はみられません。



正規問 47、非正規問 46 退職・離職した理由について、主なものをお答えください。
(回答三つまで)

正規と非正規を比較すると、正規で「スキルアップのため」「持っている資格に応じた職場へ」「賃金が低い」の割合が高くなっています。一方、非正規では「結婚や出産による家庭環境の変化」の割合が高くなっています。



日	曜日	時 間	行 事	場 所		
1	水		【元日】			
2	木					
3	金					
4	土	12 : 00	25歳成人式	新城	新城観光ホテル	東館
5	日					
6	月	8 : 30	仕事始め式	新城	新城市民病院	3階 講義室
		9 : 00	仕事始め式	新城	消防防災センター	2階 講堂
		9 : 30	仕事始め式	新城	本庁舎	4階会議室
		10 : 00	新年交礼会	新城	東庁舎	議場
		13 : 30	部課長会議	新城	本庁舎	4階会議室
		15 : 20	官公署 挨拶廻り	市内	市内官公署	
7	火	11 : 25	報道機関 挨拶廻り	豊橋	各報道機関	
8	水	10 : 00	新城警察署 感謝状贈呈式	新城	新城文化会館	小ホール
		11 : 00	新春初釜茶会	新城	新城文化会館	和室
		17 : 30	新城市商工会 新春懇談会	新城	新城観光ホテル	東館
9	木	14 : 30	東三河8市町村長を囲む新春懇談会	豊橋	ホテルアークリッシュ豊橋	ザ・グレイス
10	金	14 : 10	新城市公共交通会議	新城	本庁舎	4階会議室
11	土	9 : 00	新春グラウンド・ゴルフを楽しむ会	新城	八名小学校	運動場
		9 : 30	第22回 聞いてください私の話(途中出席)	新城	新城文化会館	小ホール
12	日	8 : 40	新城市消防出初式	新城	桜淵いこいの広場	(雨天時:新城市開発センター)
		13 : 30	新城市成人式	新城	新城文化会館	大ホール
		17 : 30	新城市消防団 新年座談会	新城	新城観光ホテル	本館 1階
13	月	13 : 30	新城市公共施設の「これから」を考えるシンポジウム	新城	新城文化会館	大会議室
14	火	9 : 00	当初予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
		17 : 30	県・市新春懇談会	名古屋	アイリス愛知	2階 コスモス
15	水	9 : 00	市政経営会議	新城	本庁舎	政策会議室
		12 : 00	三役会	新城	本庁舎	市長室
		13 : 00	当初予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
		17 : 30	JA愛知東 新春農政懇談会(途中出席)	鳳来	湯谷観光ホテル 泉山閣	
16	木	13 : 00	環境首都創造フォーラム 2019年度in京都	京都	しんらん交流館	
17	金	13 : 00	豊川水系総合開発促進期成同盟会 役員会	豊橋	豊橋市役所	政策会議室
		14 : 00	第6回 東三河市町村長会議	豊橋	豊橋市役所	政策会議室
		18 : 30	第52回 東三河刑事親交会 総会	豊橋	ホテルアソシア豊橋	ザ・ボールルーム
18	土	14 : 00	新城福祉会「新年の集い」講話	新城	新城商工会館	3階
19	日	9 : 00	第44回 新城マラソン大会	新城	県営新城総合公園	陸上競技場
20	月	9 : 00	当初予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
21	火	13 : 45	B&G全国サミット	東京	笹川記念会館	国際会議場
22	水	13 : 30	全国市長会 理事・評議員 合同会議	東京	全国都市会館	
23	木	10 : 00	当初予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
		18 : 00	新城労務対策協議会 新年懇談会	新城	さくら別館	
24	金	9 : 00	議員への定例報告会	新城	東庁舎	委員会室
		10 : 30	定例記者懇談会	新城	本庁舎	政策会議室
		13 : 30	国民健康保険運営協議会	新城	本庁舎	4-3会議室
		14 : 00	当初予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
		18 : 00	農業委員会意見交換会(新春懇談会)	新城	清月	
25	土	12 : 45	わかものものまちサミット2020 新城フィールドワーク	新城	本庁舎	4階会議室
		18 : 00	新城市女性防火クラブ 新年懇談会	新城	清月	
26	日					
27	月					
28	火	9 : 00	市政経営会議	新城	本庁舎	政策会議室
		13 : 30	国民健康保険運営協議会	新城	本庁舎	4-3会議室
29	水	9 : 00	3月補正予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
30	木	9 : 00	3月補正予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
		13 : 30	総合教育会議	新城	本庁舎	政策会議室
		18 : 00	新城青年会議所 新春交歓会	新城	新城観光ホテル	東館
31	金					